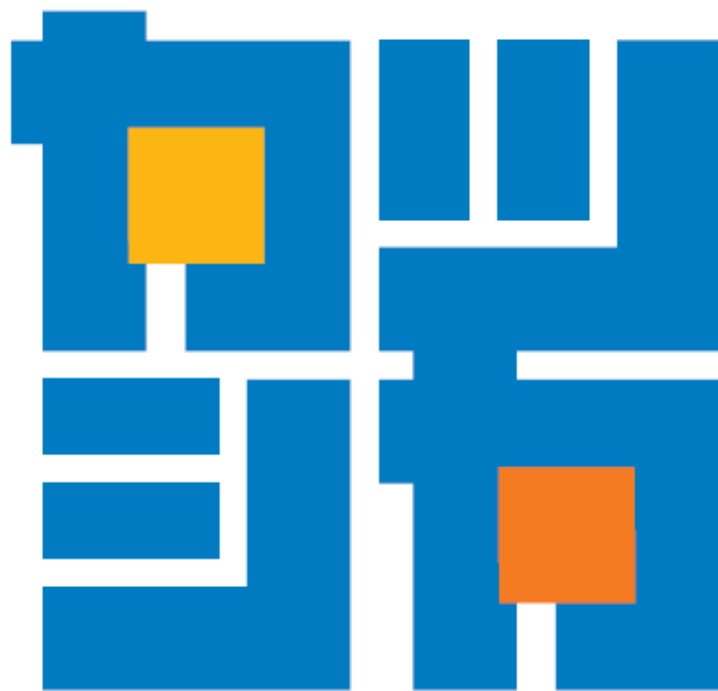


葛飾の図書館

平成25年度 事業年報



Katsushika
City Libraries

葛飾区立図書館



葛飾区立図書館

【表紙記載の「葛飾区立図書館のシンボルマーク」について】

葛飾区立図書館のシンボルマークは、「葛飾」のカタカナ表記「カツシカ」をモチーフに作成しました。

イメージは、庶民を守った火消しの絆纏（はんてん）などに使用されていた、江戸時代の「角文字」です。「葛飾区を中心となり、区を守り、葛飾区の情報発信の中心地となる図書館」、「区民のための図書館」を表現しています。

メインカラーは葛飾区のイメージカラーである、クリーンと知性を表すライト・ブルー。

2つの「カ」の中にある四角系のカラーは、それぞれいきいきとした情熱を表すオレンジ、未来をかざす光明を表すイエローです。

目 次

1	葛飾区の概要	1
2	図書館のあゆみ	
	（1）葛飾区立図書館のあゆみ	2
	（2）葛飾区立図書館 システムのあゆみ	16
3	組織図	20
4	開館時間・休館日	21
5	施設の概要	22
6	各サービスの説明	
	（1）一般サービス	26
	（2）児童サービス	27
	（3）ヤングアダルト（YA）サービス	27
	（4）視聴覚（AV）サービス	27
	（5）インターネットサービス	28
	（6）団体サービス	28
	（7）ハンディキャップサービス	29
	（8）広報活動	30
	（9）自主活動グループの支援	31
	（10）リサイクルコーナー	31
	（11）学校との連携・学校図書館支援	31
	（12）学校図書館ボランティアへの支援	32
	（13）大学図書館との連携	32
	（14）ビジネス支援サービス	32
	（15）図書館員のための新任研修・現任研修	35
	（16）かつしかデジタルライブラリーの公開	35
	（17）医療・健康情報サービス	35
	（18）図書館海援隊	36
	（19）葛飾図書館友の会	36
	（20）中央図書館及び立石図書館 年末年始試行開館の取組	36
7	25年度の事業報告	
	（1）一般サービス委員会	37
	（2）YAサービス委員会	37
	（3）児童サービス委員会	38
	（4）資料収集委員会	38
	（5）ハンディキャップサービス委員会	39
8	行事実績	
	（1）一般向け行事	40
	（2）子ども向け行事	43
	（3）中・高校生向け行事	47
	（4）子どもから大人までの行事	48
	（5）ハンディキャップ向け行事	48
	（6）ボランティア養成関連行事	49
	（7）中央図書館 4周年記念イベント	51
	（8）その他の行事	52

9 各種統計

(1) サービス実績	・	・	・	・	・	・	・	5 3
(2) 登録者所在内訳	・	・	・	・	・	・	・	5 3
(3) 図書館資料費推移（決算額）	・	・	・	・	・	・	・	5 4
(4) 登録者の推移	・	・	・	・	・	・	・	5 6
(5) 蔵書数の推移	・	・	・	・	・	・	・	5 7
(6) 資料統計 館別蔵書・所蔵数	・	・	・	・	・	・	・	5 7
(7) 館別蔵書冊数表	・	・	・	・	・	・	・	5 8
(8) 分野別蔵書冊数表	・	・	・	・	・	・	・	5 9
(9) 図書・雑誌貸出冊数の推移	・	・	・	・	・	・	・	6 0
(10) 分野別図書・雑誌貸出冊数表	・	・	・	・	・	・	・	6 1
(11) A V（視聴覚）資料利用状況	・	・	・	・	・	・	・	6 2
(12) 外国語図書 館別言語別図書蔵書数	・	・	・	・	・	・	・	6 2
(13) レファレンス受付数	・	・	・	・	・	・	・	6 2
(14) 予約・リクエスト統計	・	・	・	・	・	・	・	6 3
(15) 蔵書点検	・	・	・	・	・	・	・	6 4
(16) 図書受入・除籍数	・	・	・	・	・	・	・	6 6
(17) A V受入数	・	・	・	・	・	・	・	6 7
(18) 団体貸出の利用状況	・	・	・	・	・	・	・	6 7
(19) ハンディキャップサービスの利用状況	・	・	・	・	・	・	・	6 7
(20) 図書館別 自動貸出機利用者数	・	・	・	・	・	・	・	6 8
(21) 中央図書館個人閲覧席・ 利用者用インターネット利用者数	・	・	・	・	・	・	・	6 8
(22) メール通知サービス登録者数	・	・	・	・	・	・	・	6 9
(23) 図書館別来館者数・平均来館者数	・	・	・	・	・	・	・	6 9
(24) 利用カードパスワード登録者数	・	・	・	・	・	・	・	6 9
(25) E-mailアドレス登録者数	・	・	・	・	・	・	・	6 9
(26) 年末年始（12月31日～1月3日）開館実績	・	・	・	・	・	・	・	6 9
(27) 貸出ベスト								
一般図書	・	・	・	・	・	・	・	7 0
児童図書	・	・	・	・	・	・	・	7 1
A V（CD）	・	・	・	・	・	・	・	7 2
A V（カセット）	・	・	・	・	・	・	・	7 3
A V（DVD）	・	・	・	・	・	・	・	7 4

10 葛飾区立図書館関係例規集

葛飾区立図書館設置条例	・	・	・	・	・	・	・	7 5
葛飾区立図書館館則	・	・	・	・	・	・	・	7 6
葛飾区立図書館処務規程	・	・	・	・	・	・	・	8 0

11 葛飾区子ども読書活動推進計画

葛飾区子ども読書活動推進計画（第二次）	・	・	・	・	・	・	・	8 3
（子ども読書活動を推進するための基本的な指針）（抜粋）								

1 葛飾区の概要

○ 位置

日本橋の全国里程元表から区の中心地点(京成青砥駅)まで、およそ 10.1 キロメートル、東は江戸川を境に千葉県松戸市に、西は足立区・墨田区、南は江戸川区、北は大場川を境として埼玉県八潮市・三郷市にそれぞれ接している。

○ 地勢

地形は南北にやや長く 9.8km、東西は約 7.3km、面積は 34.84km²と 23 区中 7 番目の広さをもち、区部の約 5.8%を占めている。

区全体が平坦な土地で、海拔 2.5mの水元、柴又地区から、マイナス 1mの新小岩地区へと北から南へわずかながら傾斜している。区の北側には大場川、東には江戸川、中ほどには中川と新中川が流れ、そして西側から南側には荒川と綾瀬川が流れ、綾瀬川は東四つ木地区で中川と合流している。

○ 区の人口

448,680 人(男 224,574 人、女 224,106 人)

○ 世帯数

216,388 世帯

○ 区の花

花しょうぶ



○ 区の木

しだれやなぎ



(平成 26 年 4 月 1 日現在)

2 図書館のあゆみ

(1) 葛飾区立図書館のあゆみ

昭和	月	
24	1	本区最初の図書館として、本田町 17 番地に葛飾図書館（現・立石図書館）開設。面積 90 ㎡余、約 3,000 冊の蔵書で発足。入館料大人 2 円、子ども 1 円。（当時ハガキ 1 枚 2 円）
25	4	「図書館法」の制定により、入館料の徴収を廃止。
26	3	第 1 回レコードコンサート開始。クラシック、ポピュラーそれぞれ解説者をつけて、土曜日の夜、閉館後に開催。（現・立石図書館）
28	4	団体貸出業務開始。各分野の図書を詰め合わせた 10 冊を 1 パックとし、50 冊まで 1 ヶ月貸し出す。
30	7	隣接の旧本田職業安定所の建物を改築して現在地（立石一丁目 9 番 1 号）に移転。
35	4	夜間開館（午後 6 時まで）始まる。貸出冊数 1 人 2 冊とし、貸出期間 10 日間とする。
39	4	平日の開館時間を、午後 8 時までに延長。
42	4	旧新宿支所跡（新宿三丁目 7 番 1 号）に「葛飾区教育センター」を建設。センター内に教育研究所などと併設で、葛飾区立葛飾図書館開館（4 月 20 日）。貸出方式にブラウン方式を採用。（以後全館この方式となる） 旧葛飾図書館は「葛飾区立立石図書館」に改称。
	5	葛飾図書館内に郷土資料室を開設。
	9	団体貸出業務を立石図書館から葛飾図書館へ移管。（5 人以上を 1 団体とし、1 口 10 冊、5 口まで 1 ヶ月間貸出。） 読書週間中に、葛飾図書館で初めて講演会及び映画会を行う。（講師は、秋山ちえ子氏「家庭と読書」ほか。）（他館は昭和 54 年度から）
43	5	レコードの購入開始。16 ミリフィルム、映写機の貸出開始。葛飾図書館で土曜レコードコンサート開始。
	9	「葛飾図書館報」創刊。
44	6	団体貸出用配本車配備。「電話一本で本の出前」のキャッチフレーズにより貸出サービスの広域化を図る。午前中受けたリストに基づき午後配本。
	8	電子コピーによる複写サービス開始。
	9	読書週間行事として郷土史講座開催。以後、毎年 2 日間にわたり開催。
45	5	入館票を廃止し、入館札（プラスチック製）により閲覧室は座席指定となる。児童室は全廃。 レコードコンサートにクラシック、ポピュラー各解説者がつく。（葛飾図書館）
46	4	図書の予約制度を導入。
	7	児童向けに図書館 PR のためのキャラバン実施。（葛飾図書館）
	11	立石図書館、改築のため休館。

昭和	月	
47	7	視覚障がい者のための点字図書の収集、貸出開始。1人5冊まで1ヶ月間。 夏休み期間中、レコードの館外貸出開始。（葛飾図書館）
	8	「葛飾図書館報」の名称を、第8号から「花しょうぶ」と改名。
48	4	貸出冊数を2冊から3冊（児童室は4冊）に、貸出期間を2週間とする。
	5	立石図書館改修工事竣工、1日業務再開。旧図書館の4倍以上の規模となる。
49	6	団体貸出の電話受付を廃止し、来館選定方式となる。
51	8	高校生以上を対象にレコードの貸出開始。（葛飾図書館）1回2枚、期間1週間。
52	6	1日、お花茶屋図書館開館（お花茶屋二丁目1番15号）。障がい者用設備設置。
	10	1日、都営住宅1階に上小松図書館開館（東新小岩三丁目12番1号）。
54	4	レコードの貸出を中学生以上とする。（葛飾図書館）
55	2	「葛飾区基本計画」策定。この計画により図書館建設及び、蔵書目標の骨子固まる。 （中央館1館・16万冊、地域館6館・5万ないし7万冊） 学級招待をはじめて実施。（立石図書館）
56	7	立石図書館にレコード、カセットテープの館内利用コーナー及び参考図書コーナーを設置。
	10	1日、都営住宅1・2階に亀有図書館開館（亀有一丁目17番5号）。
57	4	カセットテープの貸出開始。1回2本、期間1週間。（葛飾図書館）
	6	1日、水元保健相談所と併設して水元図書館開館（水元一丁目7番3号）。
58	3	図書の年間個人貸出冊数、6館合計で100万冊を超える。
	5	一般室図書の貸出冊数を児童室と同様に4冊とする。期間2週間。
	9	視覚障がい者にカセットテープの貸出開始。（葛飾図書館） 連絡車による宅配。電話でも申し込みを受け付ける。
59		園招待を初めて実施。（水元図書館）
	12	葛飾区教育センターの改修工事始まる。（出張所分室、東福祉事務所の移転を機会に、葛飾図書館の拡充整備を行う。）
60	11	葛飾図書館、改修工事完了。障がい者用設備（対面朗読室、録音室等）設置。区内全域をカバーする図書館のセンターとして始動する。
	12	区立図書館の事務改善及び機械化検討委員会発足。
61	4	視覚障がい者への対面朗読サービス開始。
	10	区立図書館の電算化に向けて、システム構築部発足。
62	4	一般事務の事務事業の改善、充実を目的として、一般室事務研究会を発足。 児童事務の事務事業の改善、充実を目的として、児童室事務研究会を発足。
	6	25日、鎌倉図書館開館（鎌倉二丁目4番5号）。区立図書館で初めてCD購入。 同日、葛飾、立石、鎌倉3館によるオンラインサービス開始。23区初の利用者用端末を設置。 図書の貸出冊数を6冊までに変更。期間は従来どおり2週間。

昭和	月	
63	4	雑誌の収集分担・保存等の検討のため、雑誌担当者会を発足。 葛飾図書館以外でのCD、カセットテープ及びレコードの貸出に向けてAV担当者会を発足。
	6	1日、お花茶屋、上小松、亀有、水元各館の電算化により、葛飾区立図書館7館全館オンラインサービス開始。 16日、葛飾図書館に「葛飾区コーナー」を設置。朝日新聞に掲載される。(6月11日朝刊) 「葛飾区コーナー」には、①葛飾区についての記述のある図書、②葛飾区の地名がのっている図書、③葛飾区在住の画家、工芸家等の作品が掲載されている図書、④葛飾区内に在住している人の著作(過去に在住した人を含む)を置く。設置時約130冊。
	7	区内の小学生に対し、学校を通じて夏休み向けパンフレット、推薦図書リストを配布、図書館利用を呼びかける。
平成	月	
元	1	区立図書館全館で、CD、カセットテープ及びレコードのコンピュータによる貸し出しに向けて準備を開始。
	4	1日、葛飾図書館組織改正。奉仕係、資料係及び主査を廃止し、図書館サービス主査3人を新設。(主査3人の事務分掌は、一般奉仕、児童奉仕、電算・広報・調整とする。) 新聞の区内図書館関連記事の切り抜きを開始。 区立図書館のPR活動の促進を目的とする広報委員会を発足。 資料収集について検討する資料委員会を発足。 電算システムの改善、開発に向けて電算委員会を発足。
	7	1日、区立図書館全7館の平日の児童室開室時刻を、それまでの午後1時から、一般室と同様午前9時からとする。
	8	4日、水元図書館で、小学生が「一日図書館員」を体験。
	11	1日、区立図書館全館で、CD、カセットテープ及びレコードのコンピュータによる館外貸出を開始。(開始時の所蔵は、CD5,507枚、カセットテープ10,628巻、レコード8,356枚。)貸出点数はCD、カセットテープ合わせて1人2点まで、レコードは制限なしとした。貸出期間は図書と同じく2週間。産業経済新聞に掲載される。(10月26日朝刊) CDの貸し出しが11月1ヶ月間で1.4回と好調。 同日、葛飾図書館のCD、カセットテープ及びレコードの貸出カウンターを2階の一般図書カウンターに移し統合した。これに伴い、貸出時間を午後5時から午後8時まで延長。
2	1	区立図書館全7館に特設コーナーを設置。テーマは葛飾「地方出版物」、立石「戦争と平和」、お花茶屋「実年」、上小松「外国語」、亀有「環境問題」、水元「ヤングレファレンス」、鎌倉「消費者」。葛飾図書館の地方出版物コーナーが読売新聞に掲載される。(1月26日朝刊)

平成	月	
2	1	葛飾図書館に洋書コーナーを設置。ビジュアルなものや世界の名作、日本を紹介したものを中心に新規購入した 750 冊を加え、1,200 冊を備える。
	4	図書、雑誌の貸出冊数の制限を撤廃。CD とカセットテープの貸し出しも 4 点までに拡大。 障がい者に対する区立図書館のサービスを検討する障がい者サービス委員会発足。
	7	1 日、CD、カセットテープの予約サービスを開始。受付は、自館所蔵分のみ。
	10	区立図書館全 7 館において、蔵書の収集分担を開始。分野は、葛飾「0 類（総記）・1 類（哲学）・8 類（言語）・9 類（文学：小説を除く）」、立石「3 類（社会科学）」、お花茶屋「4 類（自然科学）」、上小松「7 類（芸術）」、亀有「5 類（技術）」、水元「2 類（歴史）」、鎌倉「6 類（産業）」。
	11	1 日、登録申し込みの際に必要な生年月日を生年のみとした。
3	1	5 日、CD、カセットテープを他の図書館から取り寄せるサービスを開始。これにより予約受付は、全館の資料が対象になると同時に、返却も任意の館にすることを可能とした。 区立図書館全 7 館において、文庫本の収集分担を開始。葛飾「ちくま文庫」、立石「P H P 文庫」、お花茶屋「福武文庫」、上小松「知的生き方文庫、講談社英語文庫」、亀有「河出文庫」、水元「同時代ライブラリー」、鎌倉「講談社学術・文芸文庫」。
	3	「郷土と天文の博物館」の開設に伴い、郷土資料室所蔵の資料を同博物館に移管することとなり、葛飾図書館内に設置されていた郷土資料室を廃止した。
	6	CD-ROM の収集を開始。
	7	ビデオソフト及びレーザーディスクの収集を開始。 ビデオ映写機を地域館 6 館にリースで設置。
	11	ビデオ映写機を教育センター第 1 会議室にリースで設置。 音訳ボランティア中級講座を開催。
4	1	葛飾図書館 2 階の郷土資料室跡を改修し、生活、学習、スポーツ、レクリエーション等区民に役立つ各種の情報資料（主として図書、雑誌）を集めた、情報コーナーを設置。資料の収集範囲と分類は、次のとおり。 (1) 情報源がのっているもの。 (2) 読書の手がかりとなるもの。 (3) 旅行案内。地図。 (4) 都内の施設、機関、情報等に関するもの。 (5) 文化、趣味、スポーツのための施設、場所案内。 (6) 学習、受験、資格取得のための施設、機関、情報等に関するもの。 (7) くらし、住まい、仕事に役立つ情報。 (8) 医療、健康についての施設、機関等に関するもの。 (9) 全国の電話帳。

平成	月	
4	12	区立図書館電算システムを新規機種へ移行。（第1回バージョンアップ）（同時に女性センター図書資料室とのオンラインを開設し、資料の相互貸借を実施）利用者開放端末「はてなくん」を設置。
5	3 7 8	葛飾図書館の児童室前庭を緑陰閲覧室として整備し、利用者へ開放。 各館代表者で構成する図書収集方針策定委員会を発足。 小学生の「一日図書館員」を全館で実施。
6	11	葛飾図書館（教育センターホール）で「図書のリサイクル市」を試行。2日間で来場者数2,973人、22,332冊（内訳：一般書14,882冊・児童書4,230冊・雑誌3,220冊）の本を提供。 地域館で、視覚障がい者に対する宅配サービスを試行実施。
7	1 5	葛飾図書館で、ビデオテープの貸出開始。新規購入200巻を加え、928巻を備える。貸し出しは1人1巻で1週間。 朗読ボランティア初級養成講座を開催。 図書館システムのバージョンアップに向けて電算委員会発足。（現状の問題点をアンケートに集約し、各メーカー及び自治体を視察。）
8	5 12	朗読ボランティア中級養成講座（全10回）を開催。 7日、四つ木地区図書館開館。（四つ木四丁目8番1号 よつぎ小学校内）葛飾図書館の分館とする。
9	8 11	葛飾図書館の2箇所目の分館として、西水元地区図書館設立工事着工。 「本のリサイクル市」を亀有図書館で単独開催。1日で来場者数820人、4,500冊（内訳：一般書2,500冊・児童書1,500冊・雑誌500冊）の本を提供。
10	4	第3日曜日を開館日とする。（地区図書館を除く） 館内整理日を第4木曜日とする。 対面朗読と肢体不自由者への宅配を開始。 視覚障害者・音訳ボランティア・点訳ボランティア・図書館職員による四者懇談会を開催。 文庫目録、要項を作成。
11	1 6	電算システム新機種へ移行。（第2回バージョンアップ） ソフトは2000年対応を含め、部分開発をする。 AVマーク（AV-NOCS）の導入及び図書マーク（日販マーク）のバージョンアップ。 ISBN総合目録に加わり、相互協力を強化した。各館にPCを設置し、都立図書館蔵書目録（METLICS）が検索可能になる。 1日、西水元地区図書館開館。（西水元二丁目2番8号 西水元あやめ園内）葛飾図書館の分館とする。
12	4	葛飾図書館の組織を改正。（管理係・一般サービス係・児童サービス係から、管理係・調整係・図書館サービス係となる。）

平成	月	
12	4	四つ木・西水元地区図書館の第3日曜日を開館し、土曜・日曜の開館時間を午前10時から午後5時までとする。 返却期限の過ぎている資料がある場合は、新たに資料の貸し出しは行わないこととする。 ビデオソフトの貸出期間を2週間とする。 葛飾図書館において、国会・都立図書館等の蔵書がインターネットで検索可能になる。 組織改正に伴い、各館で行っていた資料の選定を、葛飾図書館における集中選定とし、事務の効率化を図る。 資料の装備を委託から直営に切り替える。 一般公募による非常勤職員を初めて採用。（24名）
	9	利用案内の英語版を改定。中国語版・ひらがな版を新たに作成。 お花茶屋図書館耐震及び空調設備改修工事実施。（9/20～11/24 休館）
	11	子ども読書年企画事業として、連続講演会を開催。（高樓方子氏 10/29・松岡佑子氏 11/18・小林衛己子氏 11/26）また、「むぎわらぼうしの12年展」を葛飾図書館ロビーにて同時開催。（10/29～11/26） 子ども読書年記念リーフレット「いっぽ いっぽ」を作成。
13	3	教育研究所が、旧明石小学校へ移転。 かつしかFMで、月2回（第2・第4水曜日）図書館の放送時間を新設。
	4	教育研究所移転により図書館単独施設となる。教育センターの名称を変更し、葛飾図書館とする。 地域館・地区館において、葛飾図書館所蔵のビデオテープの予約による貸出開始。 地域館・地区館において、国会・都立図書館等の蔵書がインターネットで検索可能になる。 葛飾区音訳ボランティア作成・校正済の録音テープを初めて都立図書館に登録。
	6	亀有図書館冷暖房設備改修工事実施。（6/5～7/9 休館） 障がい者サービスの利用案内（墨字版）を作成。
	7	1日から葛飾図書館1階エントランスにて、検定前の小・中学校教科書の展示会を開催。 19日、葛飾ゆかりの作家 中島梓氏の御母堂よりその著作の寄贈を受ける。
	9	録音図書全国総合目録への参加。5作品を登録。
	10	庁内レファレンスサービス事業を開始。 葛飾ケーブルテレビで、新刊本の紹介開始。 紛失・汚破損マニュアルを改訂。
	12	葛飾区立図書館の所蔵するレファレンスブック（参考図書）一覧を改訂。 障がい者サービスの利用案内（点字版）を作成。
14	1	葛飾図書館三階の行政資料室を旧教育研究所資料室に移設し、行政資料・郷土史料の収集を強化し充実を図る。 利用案内のハングル語版を新たに作成。

平成	月	
14	3	総合的な学習や調べ学習を支援するため、「図書館利用案内小中学校版」を作成。
	4	「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年12月公布・施行）に定められた「子ども読書の日」（4月23日）にあわせ、絵本やおすすめ本の展示会などを各館で開催。
	5	図書館システムのリース期間満了（平成15年12月）による、新システム導入の委託事業者の選定について、プロポーザル方式により、事業者からの技術提案を募集。（7月に図書館オンラインシステム開発委託業者選定委員会において、推薦事業者を決定。）
	6	「第1期 読み聞かせボランティア講座（初級）」を開催。（受講定員25名に対し、95名の応募。）
	7	中学生、高校生向きの図書リスト「D o g e a r s（ドッグ イアーズ）」を作成し、区立中学校全生徒に配布。
	9	葛飾図書館耐震及びエレベータ設置工事实施。（9/2～11/30 休館）併せて、葛飾図書館の2階にレファレンスカウンター、1階に総合カウンターを設置。葛飾図書館にBDS（ブック・ディレクション・システム - 葛飾図書館資料無断持ち出し検知システム）を設置。
	10	区制70周年記念行事の一つとして、「シルバー図書館員」を実施。その他、翌年3月までに区制70周年記念行事として、講演会（林あまり氏 1/18・あきやただし氏 1/25）、人形劇、葛飾昔話紙芝居会、16mmフィルム上映会、区制70年と葛飾区立図書館あゆみ展、文学で見る葛飾区展などを開催。
15	2	「第2期 読み聞かせボランティア講座（初級）」を開催。（応募者が多数のため第1期を受講できなかった方々の要望に応え、第2期を開催。受講定員25名に対し105名の応募。） 「葛飾区立図書館基本計画」を策定。計画期間を10年間とし、図書館サービスの計画的な充実を図る。
	4	開館日及び開館時間を拡大する。（地区図書館を除く。）（祝日（1月1日を除く）も開館し、月曜日が祝日にあたる場合は、月曜日を開館し、翌火曜日を休館とする。祝日の開館時間は、午前9時～午後5時まで。また、土曜日の開館時間を午後5時から午後8時までに延長する。） AV資料の利用状況を見直し、レコードの収集、貸出等を休止。 各地域図書館に専用レファレンスカウンターを設置。（地区図書館を除く。葛飾図書館は平成14年12月に設置。） 平成16年開館予定の青戸地区図書館の資料の収集を開始。
	6	水元図書館で初めて公共図書館・学校図書館連絡会を開催。
	8	多くの子どもたちが参加できるよう、「一日図書館員」の開催日を増やす。
	9	9月5日、葛飾区基本計画に位置づけられた新中央図書館整備に向け、第1回葛飾区中央図書館建設検討委員会（庁内検討組織）を開催。

平成	月	
15	9	9月27日から、前年の初級読み聞かせボランティア講座に続き、「第1期 中級読み聞かせボランティア講座」を開催。
	12	図書館システムの入替え工事開始。全館12月22日から翌年1月9日まで休館。 入替え工事時期に併せ、全館で蔵書点検を実施。（全職員を対象に新システムの操作研修を実施。） 葛飾図書館にパソコン利用者のためのパソコンルームを設置。（8席）
16	1	全館1月10日に開館。新システムによる業務開始。 10日、葛飾区立図書館ホームページを開設。 10日より、インターネットによる図書館資料の検索サービス開始。 17日より、館内利用者開放端末からの予約受付開始。 28日より、インターネットによる予約受付開始。 新システムによる業務開始に伴い、これまで無制限であった貸出冊数及び予約冊数を変更。図書、雑誌の貸出冊数については、合わせて30冊まで、予約冊数については合わせて20冊までとする。AV資料については変更なし。 リクエストの受付については、区内在住、在勤、在学及び近隣区に在住の利用者のみとする。 葛飾図書館に持ち込みパソコン室を設置し、館内で電算機器が使用可能になる。
	4	1日、葛飾図書館の一部組織改正を行い、新中央図書館の計画を担当する整備担当係を新設。 文部科学省から今までの児童サービスについての功績に対して、表彰を受ける。
	5	12日、青戸地区図書館開館。（青戸五丁目20番6号 青戸地区センター内）葛飾図書館の分館とする。 新中央図書館の基本設計に向けた図書館内検討チーム発足。 水元保健センター管内の児童館・保育園・図書館による子育て支援機関連絡会に参加。（水元） 本年度から導入された、学校図書館支援指導員の導入に伴う、研修を図書館で実施。 新中央図書館整備にあたり、区民が参加する「中央図書館開設懇談会」を設置。
	6	新中央図書館整備に向けて、「新中央図書館開設にあたっての基本的な考え方」をとりまとめる。
	7	「葛飾区子ども読書活動推進計画」の策定に向けて、検討委員会発足。
	8	お花茶屋図書館で公共図書館・学校図書館連絡会を開始。 居場所作りの一環として、会議室の利用がない時に中学生のグループ学習に開放。（上小松）
	10	お花茶屋図書館において、ビジネス支援コーナー（Wコーナー）を設ける。
	11	葛飾図書館においてDVDの貸し出し開始。 葛飾図書館において、ビジネス支援コーナー（Wコーナー）を設ける。
		金町保健センター管内の児童館・保育園・図書館子育て支援機関連絡会に参加。（葛飾）

平成	月	
16	11	葛飾図書館で公共図書館・学校図書館連絡会を開始。
	12	1 日、千葉商科大学との連携事業開始。（図書館が発行した紹介状を持参した区民は千葉商科大学付属図書館の利用カードが発行される。）
17	2	上小松図書館で公共図書館・学校図書館連絡会を開始。 ブックスタート事業開始に向けた、ブックスタート準備会発足。 金町保健センター管内子育て支援機関による「子育てらんらんフェスティバル」を開催。（葛飾）
	3	利用者の登録更新期間を 3 年から 5 年に延長。 亀有図書館で公共図書館・学校図書館連絡会を開始。
	4	非常勤図書館専門員の導入。（葛飾区立図書館での経験 5 年の者は非常勤図書館専門員として最大 3 年間まで雇用継続。） ヤングアダルト向け図書館利用案内「ようこそ葛飾区の図書館へ」を作成。 区内小・中学校への図書配送サービスを開始。 図書館への来館が困難な高齢者への宅配サービスを開始。 「お気に入りの本を絵にしよう」を実施。（優秀作品は表彰の後、全館を巡回展示。）
	5	区内中学校の生徒に利用カードを配布。 葛飾区子ども読書活動推進計画の策定。 ブックスタートボランティア講習会を実施。 鎌倉図書館で公共図書館・学校図書館連絡会を開始。 ヤングアダルトサービスマニュアルの作成。 パソコンを使った手づくり絵本教室開催。 「中央図書館開設懇談会」の公募委員を募集。（18 名応募の中 7 名選定）
	6	葛飾図書館において利用者パソコンを 2 台設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。 庁内向けに業務用新着図書リストを作成。グループウェアに掲示を始める。
	8	ブックスタート事業の開始。（図書館でのブックスタートパックの配布と絵本読み。） 立石図書館の改築を目的とした、P F I 可能性調査を実施。
	12	12 月 28 日と 1 月 4 日を開館日とする。
18	1	葛飾区関連新聞記事検索システムの公開を開始。（インターネットでも公開。） ホームページアクセス数 100 万件を超える。 文字・活字文化振興法施行記念講演会「子どもと本の架け橋に」を実施。（島 多代氏）（読み聞かせボランティア講座中級の公開講座をかねて。）
	3	新中央図書館実施設計完成。 利用者アンケートの実施。
	4	葛飾図書館でカウンター業務の一部委託が始まる。 葛飾図書館のみ月曜日を開館とする。

平成	月	
18	4	メールレファレンス受付をホームページ上で開始。 メール督促を開始。 ブックスタート事業の開催場所が、各図書館から各保健所、保健センターへ変更。 保健所、保健センターで実施される3・4ヶ月健診時に実施。
	5	お花茶屋、上小松、鎌倉図書館に利用者インターネットパソコン各2台を設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。 病院・施設入所者への宅配サービス開始。 点字プリンターを設置。
	6	亀有図書館において、ビジネス支援コーナー（Wコーナー）を設置。
	8	ホームページデザインをリニューアル。デザインを変更。
	9	ビジネス関連コーナーを拡充。（葛飾）
	11	再開発ビル起工。 障がい者サービスボランティア入門講座実施。
19	3	中央図書館開設懇談会を終了し、（仮称）図書館友の会準備会へ移行する。
	5	（仮称）図書館友の会準備会発足。
	6	立石、亀有、水元図書館に利用者インターネットパソコン各2台を設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。 図書館ボランティア基礎講座開催。
	8	ホームページにヤングアダルトコーナー開設。
	10	I C タグシステムの導入決定。
20	2	21 年秋に稼働予定の新システムプロポーザルの公募開始。
	3	ホームページアクセス数 300 万件を超える。
	6	次期システムプロポーザル実施・決定。 葛飾図書館友の会設立。
	11	I C タグ貼付開始。（葛飾図書館、立石図書館を除く全館、全資料。）
21	3	立石図書館が建替え工事のため、休館。立石サービスコーナー開設。
	4	図書マークを、ニッパンマーク（N S）から T R C マーク（T R C）に移行。
	5	葛飾区立中央図書館窓口業務プロポーザルの公募開始。
	6	「葛飾図書館さよならリサイクル市」開催。 葛飾図書館は縮小運営。一階部分で図書館サービスを開始。
	7	再開発ビル中央図書館部分引き渡し。 中央図書館窓口業務プロポーザル業者決定。（委託期間平成 21 年 9 月から 24 年 8 月）
	8	葛飾図書館引越し開始。
	9	葛飾区立図書館メールマガジン登録開始。 中央図書館を除くすべての館で新システム稼働、I C タグを使用した貸出、返却サービスを開始。各地域図書館にて自動貸出機各 1 台が稼働。（地区図書館は除く。） 図書館メールアドレスの変更。

平成	月	
21	9	図書館ホームページデザインのリニューアル。 Webからの未所蔵資料の予約、登録、メールマガジンを含むメールサービスを開始。 「葛飾区視聴覚ライブラリーに関する規則」及び「16ミリフィルム等に関する規則」の廃止を文教委員会に提出。
	10	17日、葛飾区立中央図書館開館。23区内でワンフロアとしては最大の図書館として開設。自動貸出機、自動返却仕分機、予約資料コーナーの稼働。ユニバーサル・デザインを採用。 中央図書館でビジネス支援サービスの一環として「ビジネス相談会」を開催。 中央図書館でオリジナル図書館バッグを販売。 葛飾図書館は新宿図書センターに名称を変更。区内図書館ストックヤードの保存庫機能と地区図書館としての機能を併設させるための準備を開始。
	11	図書館ホームページの「葛飾文学散歩」が稼働。
22	2	Eメールレファレンスを利用者ログイン画面からログインして確認できるように変更。 文部科学省が立ち上げた「図書館海援隊プロジェクト（図書館による貧困・困窮者支援）」の参加を中央図書館が表明。
	3	平成22年度前期中央図書館ビジネス相談会の定期的開催を決定。 16ミリフィルム及び16ミリ映写機の貸出を終了。
	4	南奥戸小学校内に開設する奥戸地区図書館の開設準備を開始。 立石図書館リニューアル開館のための開設準備を開始。 新宿図書センターに区内図書館のストックヤードとして保存庫を開設。 国会図書館、各大学図書館所蔵の相互貸借資料の有料化を図る。
	6	新宿図書センター内の学校図書配送エリアの運用及びレイアウトの検討のため、児童サービス委員会からPTを設立。
	8	葛飾区ゆかりの作家「栗本薫」氏のご遺族から、直筆原稿他約297点の寄贈の申し入れ。 中央図書館一周年記念事業として、図書館所蔵資料の葛飾コレクション図録の作成と葛飾区ゆかりの作家の資料展を開催。
	9	新宿図書センターの1階部分について、図書館機能と学校図書館支援機能を持たせるため、改修工事を実施。（9月27日から1月4日） 改修工事中は2階をサービスコーナーとして縮小開設。
	10	ヴィナシス金町（再開発ビル）一周年記念行事に図書館も参加し、ブックトークを行う。 新立石図書館の特別資料は、かつしかエコライフプラザとの併設のため「環境」とする。

平成	月	
23	1	新宿図書センター内図書館リニューアルオープン。
	2	子ども読書活動推進計画（第二次）子ども読書活動を推進するための基本的な指針（素案）の報告、検討、確定を行う。
	3	東日本大震災発生。（3月11日） 被害状況確認のため、全図書館を17時に閉館。（3月11日） 13日の開館に向け、全図書館を休館。（3月12日） 12日の休館に伴い、資料の取り置き期限が3月11日、12日までの利用者の方の資料の取り置き期限を、15日まで延長。 全図書館で、節電協力のため閉館時間を午後5時に縮小して開館。（3月13日以降） 全図書館で「地震」の緊急特設及び特集展示を開始。（3月13日） 地震発生に伴う省エネ、節電のため、中央図書館を17時で閉館。（3月14日） 安全確保のため、各図書館の一部の行事の中止を決定。（3月15日） 利用者の方の資料の取り置き期限を、15日から16日に延長。 全図書館の開館時間を当面の間17時までに短縮する縮小開館を決定。（3月15日） 縮小開館に伴い、資料の取り置き期限が3月11日から18日までの利用者の方の取り置き期限を、18日まで延長。 安全確保のため、各図書館の一部の行事の中止を決定。（3月18日） 災害発生時の安全を考慮し、中央図書館及び西水元地区図書館で一部の行事の中止を決定。（3月19日） 震災の影響で葛飾区内に避難されている方の利用登録及び貸出を開始。（3月23日） 水元学び交流館に避難されている方へ、団体貸出を開始。貸出資料約50冊。（3月25日） 水元学び交流館において、読み聞かせを実施。参加者は一般5名、児童6名。（3月25日） 水元学び交流館への団体貸出を実施。貸出資料約80冊。（3月30日）
	4	2日、奥戸地区図書館開館（奥戸三丁目5番1号 南奥戸小学校内）。 12日より30日まで、館内を消灯し、カウンター業務を一部縮小して夜間開館を行う。 （縮小夜間開館中にご利用いただいたサービス：予約で取り置いている資料の貸出、受取館の変更、貸出中資料の延長、再貸出、資料の予約、資料の返却、新規の利用登録、住所・電話等の変更登録） ・中央図書館の夜間開館時間：午後5時から午後8時まで ・地域図書館の夜間開館時間：（日曜日・祝日を除く）午後5時から午後8時まで ・地区図書館の夜間開館時間：（金曜日のみ）午後5時から午後8時まで

平成	月	
23	5	中央図書館で、開館時間を午後 8 時まで短縮した上で、通常のサービスを開始。(6 月 30 日に開館した立石図書館でも同様。) また、地域図書館及び地区図書館で通常のサービスを開始。(5 月 1 日から 9 月 11 日まで)
	6	立石図書館がかつしかエコライフプラザとの複合施設として開館。(6 月 30 日) 中央図書館に次いで、自動貸出機、予約資料コーナーを設置。また、新たに簡易自動返却機によるシステムを開始。 「葛飾区子ども読書活動推進計画(第二次)～子ども読書活動を推進するための基本的な指針～」を策定。おおむね 5 年間を計画期間とし、子どもの読書活動の推進のための充実を図る。 図書館ホームページのコンテンツ「区民がつくる葛飾百科」が稼働。
	7	各地区図書館で行っていた学校への団体貸出用のパックを、新宿図書センターに設けた団体貸出エリアからの団体貸出・返却として一元化に変更した。
	8	葛飾区ゆかりの作家「栗本薫」氏の寄贈直筆原稿を含め、葛飾区関連の地域資料のデジタル化のためシステム開発準備開始。
	9	中央図書館及び立石図書館で、10 日より通常の開館時間でサービスを開始。 新宿図書センター3 階部分の閲覧席 80 席を開設。
	10	新宿図書センターに設けた学校図書館支援コーナーを開設。小中教科書を含み、主に学校図書館関係者に参考になる資料を中心に収集する。
24	2	ホームページアクセス数 1,000 万件を超える。
	3	寄贈直筆原稿及び葛飾区関連資料のデジタル化した地域資料の納品完了。 「葛飾区立図書館利用に障害のある人へのサービス実施要綱」改正。
	4	図書館が所蔵する葛飾ゆかりの作家の自筆原稿を始めとする館内の地域資料を 23 年度にデジタル化したのを受けて、一般公開を行うためにシステム改修とデジタル地域資料の図書館ホームページコンテンツの作成に着手。 上記作業を目的とする図書館内検討チームを発足。 「一年生事業」開始。
	5	「葛飾区立図書館の基本的な考え方(取組方針)」策定に向けた図書館内検討チームを発足。 全国視覚障害者情報総合ネットワーク「サピエ」に加入。 葛飾区立中央図書館窓口プロポーザルの公募開始。
	7	葛飾区子ども読書活動推進計画(第二次)に基づき、「セカンドブック」事業の準備を開始。 中央図書館窓口業務プロポーザル業者決定。(委託期間平成 24 年 9 月～27 年 8 月)
	8	図書館利用者アンケートを区内全図書館、区役所、図書館ホームページにて実施。 (10 日から 31 日まで)

平成	月	
24	10	改修工事のため、水元図書館業務縮小開館実施。(10月1日から19日まで) 業務縮小開館中は、月曜日に加え土曜日、日曜日、祝日を休館日とし、閉館時刻を午後5時とした。 また、水元図書館は10月20日から25日まで特別整理期間として休館した。 中央図書館開館3周年記念として5つの講演会、大人のための職場体験、図書館見学ツアー、おはなし会等子どもから大人まで楽しめるイベントを多数実施。 「葛飾区子ども読書活動推進計画(第二次)」に基づいた多文化サービスの一環として、「いろんなことばのおはなし会」を実施。年4回の定例化とした。
	12	葛飾区立図書館の利用に関するアンケート報告作成。
25	3	24年8月に実施した葛飾区立図書館の利用に関するアンケート結果概要版を公表。 4月1日から「かつしかデジタルライブラリー」として公開するため、館内OPAC、図書館ホームページ及び中央図書館の専用パソコンで閲覧できるよう、図書館システムへのデジタル画像約18,000点のデータ取り込みを実施。
	4	「かつしかデジタルライブラリー」の公開を、図書館ホームページ、館内OPAC、及び中央図書館に設置したデジタルライブラリー専用パソコンで開始。
	5	セカンドブック事業開始。(ブックスタート以降の年齢の子どもに読書の習慣を身につけさせることを目標として) 東京理科大学葛飾図書館と葛飾区立図書館の連携を開始。18歳以上の葛飾区民は、身分証明書と葛飾区立図書館利用カードの持参により、図書館からの紹介状不要で東京理科大学葛飾図書館の利用が可能となった。
	10	お花茶屋図書館は、10月1日から12月13日まで照明設備取替工事のため業務を縮小し開館。また、12月14日から19日まで特別整理期間として休館。 中央図書館4周年記念として、10月17日から27日までの間に、東京理科大学教授を招いての講演会、データベース講習会、大人のための職場体験、図書館見学ツアー、おはなし会などのイベントを多数実施。
	11	大学連携の一環として、東京聖栄大学との定例会を開始。
	12	中央図書館において、26年夏に稼働予定の新座席管理システムに関するプロポーザルの公募開始。
26	2	中央図書館において、新座席管理システムプロポーザル実施・決定。
	3	「葛飾区立図書館の基本的な考え方(取組方針)」の素案を策定。

(2) 葛飾区立図書館 システムのあゆみ

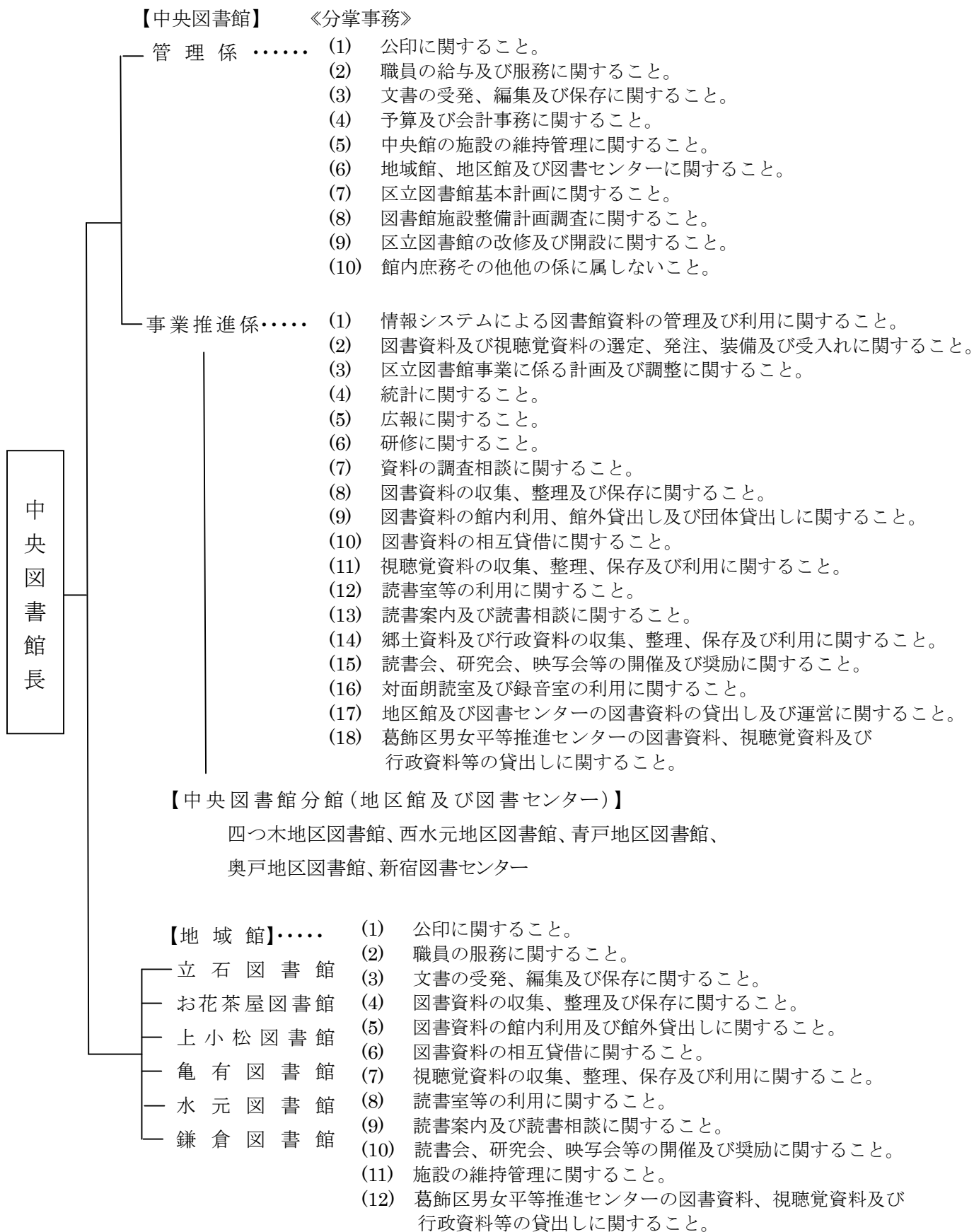
昭和	月	
60	12	区立図書館の事務改善及び機械化検討委員会発足。
61	10	区立図書館の電算化に向けて、システム構築部発足。
62	6	葛飾、立石、鎌倉 3 館によるオンラインサービス開始。23 区初の利用者用端末を設置。利用者用端末は、タッチ式キーボードでかなとローマ字のオーバーレイを切り替えて使用する方式だった。
63	6	1 日、お花茶屋、上小松、亀有、水元各館の電算化により、葛飾区立図書館 7 館全館オンラインサービス開始。
平成		
元	4	電算システムの改善、開発に向けて電算委員会を発足。
2	11	1 日、登録申し込みの際に必要な生年月日を生年のみとした。
4	12	区立図書館電算システムを新規機種へ移行。（第 1 回バージョンアップ）（同時に女性センター図書資料室とのオンラインを開設し、資料の相互貸借を実施） タッチパネル方式の利用者開放端末「はてなくん」を設置。 新システムでは利用者開放端末が業務系と切り離されたため業務系への負担が減少。
7	5	図書館システムのバージョンアップに向けて電算委員会発足。（現状の問題点をアンケートに集約し、各メーカー及び自治体を視察。）
8	12	7 日、四つ木地区図書館（四つ木四丁目 8 番 1 号 よつぎ小学校内）開館。葛飾図書館の分館とする。
11	1	電算システム新機種へ移行。（第 2 回バージョンアップ） ソフトは 2000 年対応を含め、部分開発をする。 AVマーク（AV-NOCS）の導入及び図書マーク（日販マーク）のバージョンアップ。 ISBN総合目録に加わり、相互協力を強化した。各館にPCを設置し、都立図書館蔵書目録（METLICS）が検索可能になる。 館指定予約リストの出力を開始。
	6	1 日、西水元地区図書館（西水元二丁目 2 番 8 号 西水元あやめ園内）開館。葛飾図書館の分館とする。
12	4	葛飾図書館において、事務用インターネットパソコン設置。ISDN回線使用。国会・都立図書館等の蔵書がインターネットで検索可能になる。
13	4	地域館、地区館において、事務用インターネットパソコン設置。ISDN回線使用。国会・都立図書館等の蔵書がインターネットで検索可能になる。

14	5	図書館システムのリース満了（平成 15 年 12 月）による、新システム導入の委託事業者の選定について、プロポーザル方式により、事業者からの技術提案を募集。（7 月に図書館オンラインシステム開発委託業者選定委員会において、推薦事業者を決定。） ・汎用機からクライアントサーバーへ移行 ・WebOPAC 公開 ・メール送信機能
	9	葛飾図書館に BDS（ブック・ディレクション・システム - 葛飾図書館資料無断持ち出し検知システム）を設置。
15	12	図書館システムの入替え工事開始。全館 12 月 22 日から翌年 1 月 9 日まで休館。 入替え工事時期に併せ、全館で蔵書点検を実施。（全職員を対象に新システムの操作研修を実施。） 葛飾図書館にパソコン利用者のためのパソコンルームを設置。（8 席） 全館のインターネットパソコンの回線を ADSL に変更。
16	1	全館 1 月 10 日に開館。新システムによる業務開始。 10 日、葛飾区立図書館ホームページを開設。 10 日より、インターネットによる図書館資料の検索サービス開始。 17 日より、館内利用者開放端末からの予約受付開始。 28 日より、インターネットによる予約受付開始。 新システムによる業務開始に伴い、これまで無制限であった貸出冊数及び予約冊数を変更。図書、雑誌の貸出冊数については、合わせて 30 冊まで、予約冊数については合わせて 20 冊までとする。AV 資料については変更なし。 リクエストの受付については、区内在住、在勤、在学及び近隣区に在住の利用者のみとする。 葛飾図書館に持ち込みパソコン室を設置し、館内で電算機器が使用可能になる。
	5	12 日、青戸地区図書館開館。（青戸五丁目 20 番 6 号 青戸地区センター内）葛飾図書館の分館とする。
	10	ホームページアクセス数が 30 万件を超える。
17	3	利用者の登録更新期間を 3 年から 5 年に延長。 ホームページアクセス数が 50 万件を超える。
	6	葛飾図書館において利用者パソコンを 2 台設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。
18	1	葛飾区関連新聞記事検索システムの公開を開始。（インターネットでも公開。） ホームページアクセス数が 100 万件を超える。
	4	メールレファレンス受付をホームページ上で開始。 メール督促を開始。

18	5	お花茶屋、上小松、鎌倉図書館に利用者インターネットパソコン各2台を設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。 点字プリンターを設置。
	8	ホームページデザインをリニューアル。デザインを変更。
19	6	立石、亀有、水元図書館に利用者インターネットパソコン各2台を設置し、インターネット・有料データベースの利用を提供する。
	8	ホームページにヤングアダルトコーナー開設。
	10	I C タグシステムの導入決定。
20	2	21 年秋に稼働予定の新システムプロポーザルの公募開始。
	3	ホームページアクセス数が 300 万件を超える。
	6	次期システムプロポーザル実施・決定。I C タグ、自動返却仕分機、I C 予約棚、自動貸出機を検討。
	11	I C タグ貼付開始。（葛飾図書館、立石図書館を除く全館、全資料。）
21	4	図書マークを、ニッパンマーク（N S）から T R C マーク（T R C）に移行。
	9	葛飾区立図書館メールマガジン登録開始。 中央図書館を除くすべての館で新システム稼働、I C タグを使用した貸出、返却サービスを開始。各地域図書館にて自動貸出機各1台が稼働。（地区図書館は除く。） 図書館メールアドレスの変更。 図書館ホームページデザインのリニューアル。 W e b からの未所蔵資料の予約、登録、メールマガジンを含むメールサービスを開始。
	10	17 日、葛飾区立中央図書館開館。23 区内でワンフロアとしては最大の図書館として開設。自動貸出機、自動返却仕分機、予約資料コーナーの稼働。ユニバーサル・デザインを採用。
	11	図書館ホームページの「葛飾文学散歩」が稼働。
22	2	E メールレファレンスを利用者ログイン画面からログインして確認できるように変更。
23	1	新宿図書センター内図書館リニューアルオープン。
	3	東日本大震災発生。（3 月 11 日）。システムは通常どおり稼働。
	4	南奥戸小学校内に奥戸地区図書館が開館。（4 月 2 日）
	6	立石図書館がかつしかエコライフプラザとの複合施設として開館。（6 月 30 日） 中央図書館に次いで、自動貸出機、予約資料コーナーを設置。また、新たに簡易自動返却機によるシステムを開始。 図書館ホームページの「区民がつくる葛飾百科」が稼働。
	8	葛飾区ゆかりの作家「栗本薫」氏の寄贈直筆原稿を含め、葛飾区関連の地域資料のデジタル化のためシステム開発準備開始。
24	2	ホームページアクセス数が、1,000 万件を超える。
	8	男女平等推進センターの全資料に I C タグを貼付。

25	3	4月1日から「かつしかデジタルライブラリー」として公開するため、館内OPAC、図書館ホームページ及び中央図書館の専用パソコンで閲覧できるよう、図書館システムへのデジタル画像約18,000点のデータ取り込みを実施。
	4	AVマークを、日図協マーク（ライト版）から日図協マーク（スタンダード版）に移行。「かつしかデジタルライブラリー」の公開を、図書館ホームページ、館内OPAC、及び中央図書館に設置したデジタルライブラリー専用パソコン（4台）で開始。
	12	中央図書館において、26年夏に稼働予定の新座席管理システムに関するプロポーザルの公募開始。
26	2	中央図書館において、新座席管理システムプロポーザル実施・決定。

3 組織図（館・係名及び分掌事務）

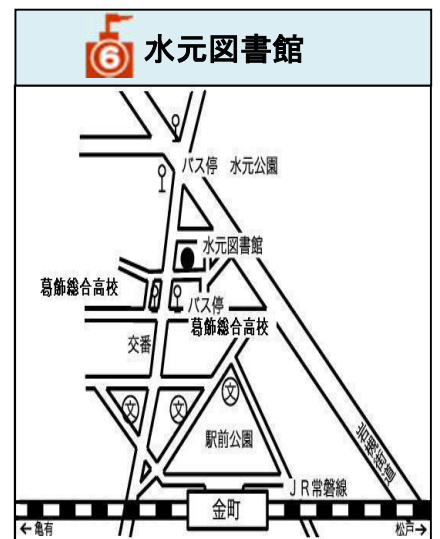


4 開館時間・休館日

館 名		開 館 時 間		休 館 日
中央 立石	一 般 室	月～土 日・祝 12/29-30 年末年始 (12/31-1/3)	午前 9 時～午後 10 時 午前 9 時～午後 8 時 午前 9 時～午後 5 時	館内整理日(毎月第 4 木曜日) 特別整理期間(年 1 回、各館 4 日間)
	児 童 室	月～日 祝 年末年始 (12/31-1/3)	午前 9 時～午後 6 時 午前 9 時～午後 5 時	
お花茶屋 上小松 亀有 水元 鎌倉	一 般 室	火～土 日・祝	午前 9 時～午後 8 時 午前 9 時～午後 5 時	毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 館内整理日(毎月第 4 木曜日) 特別整理期間(年 1 回、各館 4 日間) 年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)
	児 童 室	火～日 祝	午前 9 時～午後 5 時	
四つ木 西水元 青戸 奥戸 新宿		火～木 土・日 金	午前 10 時～午後 5 時 午前 10 時～午後 8 時	毎週月曜日(祝日の場合は翌日) 館内整理日(毎月第 4 木曜日) 特別整理期間(年 1 回、各館 2 日間) 年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日) 国民の祝日(祝日が月曜または 館内整理日の場合は翌日も)

5 施設の概要





各館の概要

	 中央図書館	 立石図書館	 お花茶屋図書館	 上小松図書館	 亀有図書館	 水元図書館
創 立 年 月 日	H.21.10.17	S.24.1.10 (S.48.5.1及び H.23.6.30 全面改装開館)	S.52.6.1	S.52.10.1	S.56.10.1	S.57.6.1
所 在 地	〒125-0042 金町6-2-1 ヴィナシス金町 ブライコート3階       (有料)	〒124-0012 立石1-9-1    	〒124-0003 お花茶屋2-1-15   	〒124-0023 東新小岩 3-12-1 (都営住宅1階)  	〒125-0061 亀有1-17-5 (都営住宅1・2階)  	〒125-0033 東水元1-7-3    
電 話 番 号	03-3607-9201	03-3696-4451	03-3690-7661	03-3696-7901	03-3690-1901	03-3627-3111
F A X 番 号	03-3607-9200	03-3696-3750	03-3838-5771	03-5698-1755	03-3838-5772	03-3627-3114
閲 覧 座 席 数	450 席	180 席	58 席	64 席	80 席	78 席
パソコン持込可能席数	42 席	5 席	6 席	6 席	0 席	0 席
インターネットコーナー席数	15 席	10 席	2 席	2 席	2 席	2 席
敷 地 面 積	—	614.13 m ²	911.09 m ²	—	—	2,982.81 m ² (区の複合施設)
延 床 面 積	5,077.85 m ² (図書館部分)	1,426.00 m ²	1,754.80 m ²	1,030.90 m ² (図書館部分)	1,472.60 m ² (図書館部分)	1,735.00 m ² (図書館部分)
蔵 書 数	371,570 冊	89,758 冊	109,819 冊	102,941 冊	109,989 冊	99,389 冊
(一 般 書)	(320,076 冊)	(68,906 冊)	(82,227 冊)	(80,409 冊)	(81,432 冊)	(71,665 冊)
(児 童 書)	(51,494 冊)	(20,852 冊)	(27,592 冊)	(22,532 冊)	(28,557 冊)	(27,724 冊)
雑 誌 タ イ ト ル 数	384 種	166 種	169 種	159 種	161 種	163 種
新 聞 タ イ ト ル 数	39 種 (うち東日本大震災被災地の新聞3種)	16 種 (うち東日本大震災被災地の新聞2種)	15 種 (うち東日本大震災被災地の新聞2種)	15 種	12 種	14 種
A V 資 料 数	11,678 点	3,580 点	3,203 点	4,348 点	3,635 点	3,233 点
〔 CD・カセット・ ビデオ・DVD 〕						
開 館 日 数	349 日	349 日	290 日	291 日	291 日	291 日
職 員 数	26 人	4 人	4 人	4 人	4 人	4 人
(司書・司書補)	(4 人)	(1 人)	(1 人)	(2 人)	(1 人)	(2 人)
非 常 勤 職 員 数	11 人	24 人	12 人	11 人	12 人	12 人
(司書・司書補)	(8 人)	(11 人)	(9 人)	(6 人)	(12 人)	(7 人)
委 託 職 員 数	37 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
(司書)	(21 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)

* 司書・司書補は職員の内数。

* 閲覧席数・蔵書数・雑誌タイトル数・新聞タイトル数・AV資料数は平成26年4月1日現在。

* 職員数・非常勤職員数は平成26年4月1日現在、開館日数は平成25年度実績。

* 雑誌タイトル数・新聞タイトル数の合計欄の数は区立図書館の全タイトル数。

* 中央図書館、立石図書館、及びお花茶屋図書館の新聞タイトル数には、東日本大震災被災地の新聞(それぞれ3種、2種、2種)を含む。

* 新宿図書センターの蔵書数及びAV資料数には、支援(学校図書館支援コーナー及び学校図書団体貸出エリア)所蔵分を含む。

 鎌倉図書館	 四つ木地区図書館	 西水元地区図書館	 青戸地区図書館	 奥戸地区図書館	 新宿図書センター	合 計
S.62.6.25	H.8.12.7 (中央図書館分館)	H.11.6.1 (中央図書館分館)	H.16.5.12 (中央図書館分館)	H.23.4.2 (中央図書館分館)	H.21.10.17 (中央図書館分館)	
〒125-0053 鎌倉2-4-5  	〒124-0011 四つ木4-8-1 よつぎ小学校内 	〒125-0031 西水元2-2-8 西水元あやめ園内 	〒125-0062 青戸5-20-6 青戸地区センター内   	〒125-0022 奥戸3-5-1 南奥戸小学校内   	〒125-0051 新宿3-7-1    	
03-3650-7741	03-5670-3321	03-5660-2201	03-3838-1273	03-3696-2781	03-3607-9105	
03-5694-4421	03-5670-3422	03-5660-2203	03-3838-1269	03-3696-2785	03-3607-9209	
96 席	10 席	14 席	6 席	3 席	114 席	1,153 席
2 席	0 席	0 席	0 席	0 席	0 席	61 席
2 席	0 席	0 席	0 席	0 席	0 席	35 席
1,591.52 m ²	—	—	—	—	3,995.69 m ²	
1,827.40 m ²	230.40 m ²	303.76 m ²	219.56 m ²	306.00 m ²	5,524.05 m ² (図書館部分は 2,406.53 m ²)	17,790.80 m ² (図書館部分)
112,231 冊	37,209 冊	37,704 冊	32,503 冊	32,446 冊	91,895 冊	1,227,454 冊
(83,730 冊)	(24,674 冊)	(24,543 冊)	(20,040 冊)	(22,482 冊)	(29,802 冊)	(909,986 冊)
(28,501 冊)	(12,535 冊)	(13,161 冊)	(12,463 冊)	(9,964 冊)	(62,093 冊)	(317,468 冊)
147 種	67 種	62 種	74 種	60 種	61 種	1,673 種
13 種	8 種	8 種	9 種	8 種	8 種	165 種
3,733 点	1,553 点	1,470 点	1,296 点	1,248 点	849 点	39,826 点
291 日	279 日	279 日	279 日	279 日	279 日	3,547 日
4 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	50 人
(2 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(13 人)
11 人	5 人	5 人	6 人	5 人	10 人	124 人
(7 人)	(3 人)	(2 人)	(4 人)	(2 人)	(5 人)	(76 人)
0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人	37 人
(0 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(0 人)	(21 人)

* パソコン持込可能席・インターネットコーナーは閲覧席数の内数。

* 立石図書館には、車椅子専用駐車スペース(1台分)がある。

*  だれでもトイレ  おむつ台  ベビーキープ
 授乳室  エレベーター  駐車場

6 各サービスの説明

(1) 一般サービス

①図書・雑誌の貸出

図書の貸出は、区内に在住・在勤・在学及び葛飾区近隣の区・市に在住し、「利用カード」の交付を受けている方が対象。「利用カード」は、区内全 12 館で共通して利用できる。

貸出や検索等は、オンラインのコンピューターシステムにより行われている。貸出期間は 2 週間、貸出冊数は図書、雑誌合わせて 30 冊までである。

また、中央図書館及び各地域館に自動貸出機を設置し、中央図書館に自動返却仕分機を、立石図書館に簡易自動返却機を設置した。さらに、中央図書館と立石図書館には予約棚を導入した。予約棚は、利用者自身で予約本を受け取る仕組みとなっている。書架案内パソコンから予約資料の置いてある棚を確認し、職員を介さずに予約資料の受け取りをすることができる。

②閲覧

館内では、自由に図書を閲覧できるようになっているほか、コピーサービスも行っている。館内での閲覧には、住所要件などの利用制限はなく、誰でも自由に利用できる。

また、各館には参考図書(調べものの本)コーナーや新聞・雑誌コーナーが設けられている。中央図書館には閲覧室 1・2 のほか、利用カード登録者が自分で予約する個人閲覧席が 42 席ある。インターネットや商用データベースを利用できる席が中央図書館に 15 席、立石図書館に 10 席、他の地域館に各 2 席ある。

③予約・リクエストサービス

1. 予約・リクエストサービス

図書館の蔵書には限度があり、その中で利用者の資料要求に応えるために予約・リクエストサービスがある。利用者の求める資料が貸出中、または自館で所蔵していない場合、図書・雑誌合わせて 20 冊を限度に予約・リクエストとして受け付け、主に次のような方法で提供している。

区内で所蔵している資料については、予約をいただき他の館から取り寄せ、到着後予約者に連絡している。なお、図書・雑誌・AV 資料等の運搬のため専用の交換車が毎日運行している。

区内未所蔵資料については、他区・市の図書館や都立図書館(館内閲覧の場合あり)・国会図書館(館内閲覧のみ)などから借りて提供するほか、選定会で検討し、購入して提供している。(ただし、他自治体からの取り寄せ、新規購入のリクエストサービスについては、近隣市在住の方には提供していない。また、国会図書館からの取り寄せは、区内在住で 18 歳以上の方のみ。)いずれの方法についても CD・カセット・ビデオ・DVD 及び漫画のリクエストサービスは行っていない。

2. 館内検索機(OPAC)及びインターネットサービスを用いた予約・リクエストサービス

館内検索機(OPAC)及び図書館ホームページからも予約・リクエストサービスを受け付けている。ただし未所蔵資料については、3 冊を限度とし、区内在住の中学生以上の方のみ予約を受け付けている。

④レファレンスサービス

レファレンスとは、図書館に来館する利用者の様々な相談に応じることである。このレファレンス業務は、図書の貸出とならぶ図書館の重要な業務である。

例えば、「老人介護のことについて調べたい」あるいは、「オリンピックの歴史を知りたい」といった

質問に対し、インターネット検索や図書資料を探して提供することで、利用者の要求に応じている。
また、図書館ホームページ上からもレファレンスを受け付けている。レファレンスの回答が用意できた旨をメールでお知らせし、回答は図書館ホームページの個人ログインページにて閲覧いただく。

(2) 児童サービス

平成 21 年 3 月に東京都が「第二次東京都子供読書活動推進計画」を策定し、葛飾区においても平成 23 年 6 月に「葛飾区子ども読書活動推進計画(第二次)」を策定した。これに基づき、子どもが読書を通じて読解力や想像力、思考力、表現力等の生きる力を育み、多くの知識を得ることができるよう様々な事業を行っている。

子ども対象の事業としては、おはなし会等を開催し、0 歳から小学 6 年生までの年齢別のお薦めの図書リストを発行している。また、乳幼児対象の事業として、平成 17 年度より開始した「ブックスタート事業」に続き、平成 25 年度から 3 歳児を対象に「セカンドブック事業」を開始した。新小学1年生対象の事業として、従来から行っている1年生推薦図書リスト「いちねんせいになったらよんでみよう」の全児童への配付に加え、平成 24 年度からは、そのリストを図書館に持参するとスタンプを押してもらえる「一年生事業」を開始した。

また、保育園訪問・招待や小学校学級訪問・招待等で子どもに関わる機関や団体と連携したり、読書活動を推進するボランティアの育成をして、読書活動を広く普及、啓発している。

小中学校に対しては、新宿図書センター内に「学校図書団体貸出エリア」を設置し、一元的に団体貸出を行っている。また、小中学校関係者向けに「学校図書館支援コーナー」を設置し、学校図書館の選書や調べ学習に役立つ図書を集め、閲覧及び貸出を行っている。

(3) ヤングアダルト(YA)サービス

小学校高学年から青年期の「大人と子ども」の境界にいる世代をYA(ヤングアダルト)と位置付け「読書の楽しみ」を知ってもらうこと、様々な資料を使い問題を解決していく力を身につけてもらうことを目的として、この世代に向けたサービスを行っている。

平成 16 年 6 月に出された「葛飾区社会教育委員の会議」(青少年が読書に親しむ環境を整備するために)の答申では、区立図書館における中・高校生世代の利用の促進が大きな課題となっており、葛飾区では、中・高校生世代の居場所として図書館にYAコーナーを設置し、担当者が充実を図っている。

サービスとしてはYA世代向けの本のリスト「Dog ears」(ドッグイアーズ)や「鉄板本」、また、新中学 1 年生向け利用案内「ピカ☆イチ」を作成し、配布を行った。さらに、学校での読書活動促進のための団体貸出の充実や、YA世代向けホームページの作成を行った。

各図書館では、中学校の団体利用、職場体験、ボランティアの受け入れ、ブックトーク(テーマに沿った本の紹介)の実施、学校図書館支援指導員との交流や情報交換など様々な形で学校との連携を図っている。また、各図書館独自にYA世代に向けての情報誌などを作成し、配布している。

(4) 視聴覚(AV)サービス

視聴覚サービスとしてCD、カセットテープ、ビデオテープ、及びDVDの貸出を行っている。貸出対象は中学生以上、貸出期間は2週間、貸出点数はCD・カセットテープ合せて4点まで、ビデオテープ・DVDは合せて1点までとしている。16 ミリフィロムの貸出の事業は平成 21 年度をもって終了した。

中央図書館では、隔月で第 4 土曜日午後に映画会を実施した(また、8 月第 1 日曜日に子ども映画

会を実施した)。立石、お花茶屋、上小松、亀有、鎌倉の各図書館では、月 2 回～隔月で映画会を実施した。

(5) インターネットサービス

図書館ホームページでは、利用案内、行事予定、ベストリーダー、ベストオーダーなど図書館の様々な情報を提供している。各種情報提供はもちろんのこと、その他以下のサービスを提供している。

①資料の検索、予約

インターネット上で図書館資料を検索し、検索した資料をそのまま予約することが出来る。また、資料情報の幅広い提供を目的として、区内図書館未所蔵資料の検索ができる。区内在住の中学生以上の利用者のみ、未所蔵資料へ 3 件まで予約ができる。さらに、検索した資料をまとめて予約をする機能である予約かごを使った予約サービスも提供している。

ただし、個人情報保護のため、資料の予約や個人情報の確認には、パスワードの登録が必要となる。パスワードは各図書館の窓口で直接本人に交付する。(窓口で仮パスワードを交付し、利用者が館内検索機(OPAC)や図書館ホームページでパスワードを変更し、利用する。)

②メールサービス

予約した資料が到着した旨の連絡をする「予約確保連絡メール」、延滞の方へ送信する「督促連絡メール」がある。また、利用者の希望に応じて送信する「貸出情報お知らせサービス」、「返却期限お知らせサービス」、「新着図書お知らせサービス」、「メールマガジン送付サービス」がある。「メールマガジン送付サービス」は、パソコン版、携帯版を選択することができる。「新着図書お知らせサービス」では、利用者が希望する新着図書をキーワード、分類から選んで登録ができる。

③メールレファレンスサービス

ホームページ上からメールレファレンスの受付を行っている。メールレファレンスの回答が用意できた旨をメールでお知らせし、回答は図書館ホームページの個人ログインページにて閲覧いただく。

④利用者登録事前申請

区内在住の方を対象に利用登録申請を事前にインターネット上で受け付ける。この登録を行うと、本登録を行う前に、3 件まで区内所蔵資料への予約ができ、本登録の際に予約した資料が用意できていれば、本登録と同時に予約した資料を受け取ることができる。

⑤館内でのインターネットサービス

中央図書館及ぶ立石図書館では座席管理システムを導入し、従来の調査・研究支援サービスを強化するだけでなく、商用データベースを拡充して、ビジネス支援サービスの強化を図っている。そのほか、中央図書館の一般書エリアには検索コーナーを設置し、短時間のインターネット検索用のパソコンを用意している。

また、児童書エリアには、児童向けにカスタマイズされたインターネット検索用パソコンと、調べ学習用の商用データベースがある。

各地域館においても、利用者用のインターネット検索パソコンを配置し、調査・研究のためのインターネットサービスを行っている。

(6) 団体サービス

図書と区民とをより一層結びつける手段として、登録要件を満たした団体に、1 ヶ月間 50 冊まで貸し出せる団体貸出を行っている。

ここでいう団体とは、活動の場所が区内にある、読書サークル・地域文庫などの一般の団体のほか、

幼稚園・保育園・学校・児童館・学童保育などの施設や、読み聞かせボランティアグループなど子どもの読書活動推進に関わるグループ、葛飾図書館友の会などの自主グループなどであり、図書館ではレファレンスや予約を含めて、それらの団体へのバックアップを行っている。特に各図書館で行っている保育園招待、小学校訪問・招待の際には、紹介した図書等の団体貸出を行っている。

学校への団体貸出サービスについては、新宿図書センター内の配送エリアを拠点としている。小・中学校向け「学習用図書」「読書活動支援図書」の各パックと学校からの「調べ学習」の要望に応じた図書を集め、学校の長期休みを除く毎週、小・中学校へ図書運搬車を運行し団体貸出用図書を配送している。

(7) ハンディキャップサービス

葛飾区立図書館では、通常の印刷文字による読書が困難な方、来館が困難な方など、図書館の利用に支障がある方を対象に次のようなサービスを行っている。

① 対面朗読

利用者からの申し込みにより、図書館は音訳ボランティアに依頼をし、その利用者に最寄りの図書館または、自宅等で資料を朗読している。1回の利用時間は2時間以内で、月4回までである。また、中央図書館、立石図書館、及び新宿図書センターに対面朗読室がある。

② 録音図書の作成及び収集

文字で書かれた資料を音訳して、CDに録音したものを録音図書という。作成は区内の音訳ボランティア団体に委託している。デジタル録音図書(デージー録音図書ともいわれ、国際標準規格で50時間以上の収録が可能で、目次から読みたい章や節、任意のページに飛ぶことができる)やマルチメディア化したデージー図書(音声にテキスト及び画像をシンクロ(同期)させ、音声を聞きながらハイライトされたテキストを読み、同じ画面上で絵をみることができる)を収集している。

③ 点字図書の収集

点字図書については、日本点字図書館から購入したもののほか、区内の点訳グループが作成し、寄贈を受けたものを所蔵している。

④ 点訳絵本、布絵本の収集

点訳絵本については、区内の点訳ボランティアグループが市販の絵本に点訳し、作成を行っている。布絵本は、区内の布絵本ボランティアグループが作成している。

⑤ 郵送及び宅配サービス

点字図書や音訳資料などの図書館資料の貸出については、視覚障害者から電話にて申し込みを受け、盲人郵便(盲人の方のみ無料で利用)により郵送を行っている。

また肢体不自由の方、高齢で図書館に来館することが困難な方に対してはご希望により、職員が宅配をしている。

⑥ 点字版資料リストの設置

中央図書館では、ハンディキャップコーナーに『点字図書資料リスト』『朗読CDリスト』『演歌CD&カセットリスト』の点字版を設置し、閲覧に供している。

⑦ 点字及び録音図書、プレクストークの貸出

視覚障害者の方向けに、点字図書及び録音図書を貸し出している。また、デージー図書専用再生機であるプレクストークを1か月間貸し出している。区内に所蔵していない点字及び録音図書は全国の図書館から取り寄せて、利用者の要望に応じている。

また、「サピエ図書館(視覚障害者のための電子図書館)」にあるデータをダウンロードして提供

することもできる。

⑧音訳者養成講座及び点訳者養成講座の実施

区内で活動している音訳・点訳ボランティア向けに、音訳・点訳ボランティア養成講座を実施している。

⑨四者懇談会

年に1回、利用者、ボランティア(音訳・点訳)、図書館職員が集い、情報交換を行い相互理解を深めながら、サービスの向上を図っている。

⑩『かつしかアイ・リブ通信』の発行

ハンディキャップサービス情報として、テープ版・デイジー版・点字版・FD版(点字)・墨字版を発行し、利用者の方々にお知らせしている。ご要望により、「白黒反転版」も提供できる。

(8) 広報活動

図書館の行事、利用案内などを「広報かつしか」に掲載しているほか、25年度は以下のような印刷物を作成し、広報活動を行った。

(一般対象)

印刷物名	作成・配布館	発行回数	発行部数
館報「としょかんだより」	各館共通	年2回	各回13,000部
事業年報	各館共通	年1回	250部
雑誌・新聞目録	各館共通	年1回	60部
図書館行事案内	各館共通	毎月1回	各館必要部数
各館だより(一般向け)	各館独自	館により 月刊・隔月・季刊	各館 100～200部
各館だより(ヤングアダルト向け)	各館独自	館により 月刊・隔月・季刊	各館 150～200部
ヤングアダルト図書リスト 「Dog ears(ドッグイアーズ)」	各館共通	年1回	17,000部
新中学1年生向け利用案内 「ピカ☆イチ」	各館共通	年1回	3,000部
25年度用図書館カレンダー	各館共通	年1回	60,000部

(児童対象)

印刷物名	作成・配布館	発行回数	発行部数
夏休み推薦図書リスト 「むぎわらぼうし」 (1,2年・3,4年・5,6年用の3種類)	全館共通	年1回	27,000部 (3種類× 9,000部)
1年生推薦図書リスト 「いちねんせいになったらよんでみよう」	全館共通	年1回	7,000部
乳幼児向け推薦図書リスト 「FIRST BOOK」	全館共通	隔年	10,000部

3歳から6歳向け推薦図書リスト 「SECOND BOOK」	全館共通	年1回	4,000部
児童室だより	各館独自	館により 月刊・隔月・季刊	各館 150～350部
小・中学校教員向け利用案内 「ライブラリー・インフォメーション」	全館共通	年1回	50部
児童向け利用案内「ほんはともだち」	全館共通	隔年	16,000部
図書館見学・学級招待時の配布資料	各館独自	年1回	各館必要部数

(9) 自主活動グループの支援

①一般の団体

文学研究・郷土史研究・読書に関わるボランティアをしている団体など生涯学習活動を行っているグループに対して、会議室の貸出やボランティア活動に必要な機器(点字プリンター他)の利用貸出等を含め、様々な活動の支援を行っている。

②子どもの読書活動に関わる団体

子どもの読書活動を進める上で、読み聞かせグループや学校での読書活動を推進するボランティアの活動を支援・育成している。

これらのボランティアグループが子どもの読書推進において地域の力として積極的に活かせるよう支援している。

(10) リサイクルコーナー

図書館で除籍した本・雑誌、区民の方が不要になった本(リサイクル本)を無料提供することで図書の再利用を図っている。各館にリサイクルコーナーを設けて、随時リサイクル本を提供している。

また、図書館の児童図書のリサイクル本に関しては、区内の児童館、幼稚園、保育園、小学校、中学校、支援学校等の子どもに関わる施設に優先的に譲渡し、児童図書の再活用を行っている。

(11) 学校との連携・学校図書館支援

子どもの読書活動の普及・推進や学校図書館の支援を目的に、小学校・中学校の学校図書館司書教諭及び学校図書館支援指導員と図書館職員、学校図書館で活動する図書ボランティアとの「学校図書館・公共図書館連絡会」を中央図書館と地域図書館ごとに立ち上げ、情報交換や連絡調整を平成16年度から継続して行っている。また、資料提供・読書活動の支援に力を入れている。

平成23年9月、新宿図書センター内に学校図書団体貸出エリアを設け、これまで、各地域図書館で行っていた団体パックの配送を一元化し、学校への読書と調べ学習の支援を行っている。また、10月に開設した学校図書館支援コーナーでは区内の各図書館との連携を図りながら、学校図書館の選書のための参考となる資料を積極的に収集し、情報提供を行っている。

各図書館では、学級招待・訪問などの事業に取り組み、公共図書館の利用案内・ブックトーク・読み聞かせ・お話(ストーリーテリング)などを行い、図書館の利用促進を図るとともに、読書推進を行っている。

また、学校図書館支援指導員と図書ボランティアへの研修会を指導室と共催で開催し、新任教員研修の中では、読書活動に関する内容を学ぶ事を目的に区立図書館での実習を実施している。

(12) 学校図書館ボランティアへの支援

平成 14 年に主に小学校などで読み聞かせを行っている読書ボランティアに「読み聞かせボランティア講座(初級)」を開始。平成 15 年からは「読み聞かせボランティア講座(中級)」を開始し読書活動への支援を行っている。

平成 16 年に「葛飾学校図書館ボランティア連絡会」が発足し、ボランティア同士の情報交換・読み聞かせや読書活動についての技術や資質向上・学校図書館の機能についての学び・中学校の課題をテーマに研修会や学習会を重ね、平成 17 年からは、「子ども夢基金」の助成を受けフォーラムや講演会などを開催している。

図書館は、個々のボランティアを支援していくとともに、連絡会に対しても情報や資料の提供などで支援している。

(13) 大学図書館との連携

東京理科大学葛飾キャンパスの開学を機に、中央図書館では区内大学図書館の関連資料を集めたキャンパスコレクションの充実などを通して、専門分野への関心を高め、大学図書館が区民にとって身近なものになるよう努めている。

東京理科大学葛飾図書館と中央図書館では、連携のために定例会を設け、18 歳以上の区民は身分証明書と葛飾区立図書館利用カードの持参により紹介状なしで利用できるよう利用条件を整えた。これからも区立図書館及び大学図書館双方の利用の充実を図っていくために連携を重ねていく。

また、近隣の千葉商科大学付属図書館利用については、葛飾区立図書館において紹介状を交付している。さらに、東京聖栄大学とは、専門分野である「健康・栄養・食育」などと図書館事業との連携を見すえた定例会を実施した。

(14) ビジネス支援サービス

起業・開業に関する情報、仕事のスキルアップや経営改善に関する情報、就職・転職情報など、仕事に役立つ情報を提供して、働く世代の課題解決を支援する。平成 21 年度の中央図書館開館以降は、ビジネス支援セミナーやデータベースセミナー、ビジネス相談会等なども実施している。主なサービスと実施館は次のとおり。

①ビジネスコーナーの設置

資料を効率よく探せるよう、出版年の新しいビジネス関連資料や基本的な資料を、9 つのテーマに分けて配架。(中央・立石・お花茶屋・亀有の各図書館)※以下図書館は略

②インターネットパソコンの設置

インターネット検索ができるパソコンを設置。(中央・立石・お花茶屋・上小松・亀有・水元・鎌倉)

③持ち込みパソコン席の設置

利用者の持ち込みパソコンが利用できる席を設置。(中央・立石・お花茶屋・上小松・亀有・水元・鎌倉)

④オンラインデータベースの提供

図書館が契約したオンライン(商用)データベースを無料で提供。(中央 12 種、立石 7 種、インターネットパソコン設置館で 1~2 種)

※上記の内、②③④は基本的には利用登録のある方に向けてのサービス。ただし、中央図書館にはだれでも使えるインターネット検索機がある。

各図書館において利用できるデータベースは以下の通り。

中央図書館	朝日新聞 聞蔵Ⅱビジュアル for Libraries
	日経テレコン 21(図書館限定版)
	ヨミダス歴史館
	D1-Law.com(判例体系全法編・法律判例文献情報・現行法及び履歴検索)
	Lexis AS ONE
	人物・文献情報 WHOPLUS
	雑誌・論文情報 MAGAZINEPLUS
	官報情報検索サービス
	JapanKnowledge +
	JDreamⅢ
	Mpac(マーケティング情報パック)
	ポプラディアネット
立石図書館	朝日新聞 聞蔵Ⅱビジュアル for Libraries
	日経テレコン 21(図書館限定版)
	Lexis AS ONE
	人物・文献情報 WHOPLUS
	JapanKnowledge +
	官報情報検索サービス
お花茶屋図書館	ルーラル電子図書館
上小松図書館	日経テレコン 21(図書館限定版)
	人物・文献情報 WHOPLUS
亀有図書館	聞蔵Ⅱテキスト(朝日新聞記事検索)
水元図書館	ヨミダス文書館(読売新聞記事検索)
鎌倉図書館	聞蔵Ⅱテキスト(朝日新聞記事検索)
	ヨミダス文書館(読売新聞記事検索)

●朝日新聞 聞蔵Ⅱビジュアル for Libraries(朝日新聞記事検索)

朝日新聞の 1879 年創刊号以降の新聞記事(紙面イメージ)、1985 年以降の記事テキストを収録。「AERA」(1988 年 5 月創刊号～)、「週刊朝日」(2000 年 4 月～)の記事検索もできるほか、人物情報、歴史写真、現代用語事典「知恵蔵」も利用できる。

●聞蔵Ⅱテキスト(朝日新聞記事検索)

朝日新聞の 1985 年以降の記事テキストを収録。「AERA」(1988 年 5 月創刊号～)、「週刊朝日」(2000 年 4 月～)の記事も検索できる。

●日経テレコン 21(図書館限定版)

日経 4 紙(日本経済新聞・日経産業新聞・日経流通新聞・日経金融新聞)の記事データベース。企業情報、人事情報、統計情報、POS ランキングなども閲覧できる。

●ヨミダス歴史館(読売新聞記事検索)

読売新聞の1874年創刊号以降の新聞記事(紙面イメージ)、1986年以降の記事テキストを収録。1989年以降の英字新聞 *The Daily Yomiuri*(2013年4月から *The Japan News*)の記事テキスト、「現代人名録」も利用できる。

●ヨミダス文書館(読売新聞記事検索)

1986年以降の記事テキストを収録。1989年以降の英字新聞 *The Daily Yomiuri*(2013年4月から *The Japan News*)の記事テキスト、「現代人名録」も利用できる。

●D1-Law.com(判例体系全法編)

公刊、民刊の判例誌(約100誌)に公表された判例及び第一法規独自入手判例より、判例書誌、判例要旨、判例本文、及び判例タイムズ解説を収録している。

●D1-Law.com(法律判例文献情報)

幅広い収録対象(図書・雑誌・研究紀要等)から選んだ法関連文献と判例を内容に即して分類し、独自のキーワードを加えて提供している。

●D1-Law.com(現行法規[履歴検索・現行法検索])

現行法令を集大成した、総合法令データベース。指定日の時点で有効な条文のほか、新旧対照表、条文時点比較などを表示できる。

●Lexis AS ONE

広範な法律情報を収録したデータベース。法令(現行法令に加え、改正履歴情報・廃止法令等も含む)、判例、判例解説、法律関連書誌・文献情報などを収録している。

●人物・文献情報 WHOPLUS

人物・文献情報のデータベース。人物のプロフィール情報、関連図書・記事・論文や文献などを一括検索できる。

●雑誌・論文情報 MAGAZINEPLUS

国立国会図書館(NDL)の「雑誌記事索引」ファイルのほか、論文集・学会年報・研究報告・一般誌・総合誌・ビジネス誌・海外産業誌紙・企業雑誌・国内経済専門業界誌等を収録している。

●官報情報検索サービス

昭和22年5月3日日本国憲法施行日以降から当日分までの官報(本紙、号外、政府調達公告版、資料版、目録)を閲覧、検索できる。

●JapanKnowledge +

百科事典、辞書、叢書、ニュース、企業情報、学術サイトなど、40以上ものコンテンツを収録した知識データベース。「日本大百科全書」「日本国語大辞典」「会社四季報」など多数の参考資料を、見出し、全文、用例、方言など多彩な機能で検索できる。

●JDreamIII

科学技術や医学・薬学関係の国内外文献を網羅的に検索できる日本最大級の科学技術文献データベース。海外文献に関しては、日本語による抄録(要約文)も掲載している。

●Mpac(マーケティング情報パック)

食品・化粧品・IT 産業・サービス産業ほか多数の領域における個別市場調査と、コンビニ POS、家計調査、消費者アンケートなどのマーケティング情報が検索できるデータベース。

●ポプラディアネット

子どもの調べものや学習に役立つ「総合百科事典ポプラディア」をもとに、最新の情報を追加、更新しているオンライン百科事典。(中央図書館児童コーナーで利用できる。)

●ルーラル電子図書館

「食と農」をテーマにした農文協の出版物などをデジタルデータで豊富に収録している。フリーワード全文検索や専用目次をクリックでたどるだけで、データを探することができる。

(15) 図書館員のための新任研修・現任研修

図書館では、職員に対し公立図書館職員としての資質向上のための研修を実施している。

新任研修は、新しく図書館職員となった職員を対象に、ベテラン職員が講師となって「図書館員としての心構え」「図書館システム」からはじまり図書館の全般的な業務のほか、児童、ハンディキャップ、レファレンス、YAなど分野別にサービスの講義や実習など年4回実施した。

現任研修は、図書館運営やサービスに求められるテーマを決め実施している。平成25年度は外部から講師を招き、9月に「科学技術関連データベース研修」、1月に「インターネットで使えるレファレンスツール～国立国会図書館のデータベースを中心として～」というテーマで行った。

(16)「かつしかデジタルライブラリー」の公開

葛飾ゆかりの作家の自筆原稿、葛飾の古い写真や地図等の、デジタル化された地域の貴重資料を、オンライン上で公開している。

閲覧方法	閲覧可能範囲
館内検索機(OPAC)	一部のデジタル画像のみ閲覧が可能 (著作権の関係により)
図書館ホームページ	
デジタルライブラリー専用パソコン	全デジタル画像の閲覧が可能

(17)医療・健康情報サービス

闘病記、薬、診療ガイドライン、病院情報を中心とした医療・健康に関する資料の提供を行っている。平成25年度は、中央図書館で順天堂大学医学部教授の樋野興夫氏を招いて「がん哲学外来―良い読書との出会い」というテーマで医療・健康情報に関連する講演会を開催した。

各館の医療・健康情報サービスは以下のとおり。

・闘病記

患者さん本人やその家族が病気と闘ってきた貴重な記録である闘病記を収集し、病名別に分類、病気についての情報を必要としている方々に提供。(中央図書館・お花茶屋図書館)

・医療・健康情報コーナー

医療・健康に関する資料のうちよく使うものを中心に、5つの分野に分類し配架。(中央図書館・立石図書館)

・パンフレット

NPO法人等と協働し、平成25年7月より「がんと暮らす情報コーナー」を設置、がんや健康に関連するパンフレットやフリーペーパーを無料で配布。(中央図書館)

(18) 図書館海援隊

中央図書館では、平成 22 年 1 月に有志の図書館により結成された「図書館海援隊プロジェクト」の趣旨に賛同し、平成 22 年 2 月からプロジェクトに参加している。実施しているサービスは以下のとおり。

(「図書館海援隊」とは、文部科学省の呼びかけに応じ、有志の公立図書館が関係部局と連携しながら、貧困・困窮者支援をはじめとした、地域が抱える様々な課題の解決を支援する取り組みのこと。)

①職業訓練・資格取得情報の提供

厚生労働省の「求職者支援制度」(雇用保険を受給できない方への就労援助)を活用している方に対し、無料の職業訓練・資格取得講座の案内チラシを、ハローワーク経由で収集し提供している。

②インターネットサービスの提供

「ビジネスITコーナー」で、ハローワークインターネット情報を提供している。また、オンラインデータベースで、新聞記事やマーケティングなどのビジネス情報を提供している。

③「暮らしに役立つ法律情報コーナー」の設置

労働・生活に関する身近な法情報関連図書を 12 のテーマに分けて配架している。また、日本司法支援センター「法テラス」発行のテーマ別のリーフレットなど、トラブル解決に役立つ資料を提供している。

④「ビジネスコーナー」の設置

＜就職活動＞＜資格試験＞情報として、各業種・会社情報、履歴書・エントリーシートの書き方、面接の受け方、資格検定試験テキスト等を配架・提供している。また、＜起業・開業＞情報として、起業・開業のための基本的な案内書や様々な業種の起業・開業紹介本を配架・提供している。

(19) 葛飾図書館友の会

「中央図書館開設懇談会」の有志が平成 19 年 5 月「(仮称)図書館友の会準備会」を発足した。そして、図書館ボランティア基礎講座を開催し、図書館について学びながら平成 20 年 5 月に「葛飾図書館友の会」を設立した。

当初総務委員会、広報委員会、事業委員会の 3 つの委員会で活動を開始した。

現在では、総務委員会、広報委員会、イベント委員会、ナイトシアター委員会、児童サービス応援委員会、展示・企画委員会及びCD・DVDコンサート委員会の 7 つの委員会で活動をしている。また、毎年総会を開き、委員会活動も幅広くなっている。

平成 25 年度「友の会ウィーク」(11/2～11/17)には区内で読書活動する団体が参加し、20 イベント 627 名の参加者があった。

(20) 中央図書館及び立石図書館年末年始試行開館の取組

平成 25 年 12 月 31 日から平成 26 年 1 月 3 日にかけて、中央図書館及び立石図書館で平成 24 年度に引き続き年末年始試行開館を実施した。両館とも開館時間は午前 9 時から午後 5 時までとし、通常の開館期間と同じサービスを提供した。

7 25 年度の事業報告

平成 25 年度は、各図書館から選出された代表者によって構成されている以下の委員会において、各分野の検討を行った。

		(部会名)	職員数(人)
中央図書館長	館長・係長会	一般サービス委員会	9
		YA サービス委員会	14
		児童サービス委員会	10
		資料収集委員会	9
		障がい者サービス委員会	9

(1) 一般サービス委員会

- ①各館申し合わせ事項の見直し。
- ②カウンターマニュアルの見直し。
- ③弁償基準の見直し。
- ④団体貸出基準の見直し。
- ⑤「図書館関係申請書」等の管理表の見直し。
- ⑥各種マニュアルの整理。
- ⑦「としょかんだより」第 79 号及び第 80 号の発行。
- ⑧一般サービス委員会主催講演会の開催。

(2) YA サービス委員会

- ①平成 25 年度「Dog ears」を作成し、区内の中学校及び高等学校に配布。
- ②新中学 1 年生向け利用案内「ピカ☆イチ」を作成し、区内の中学校に配布。
- ③図書リスト「鉄板本」を作成し、区内の中学校に配布。
- ④YA 雑誌リストを改訂し、館内の YA コーナーに設置。
- ⑤中学校からのブックトークの依頼にそなえて、ブックトーク研修を定期的実施。
- ⑥毎月持ち回りで 3 館ずつ、ホームページ上でオススメ本を紹介。
- ⑦秋の読書週間にともない、本のおたのしみ袋「はてなぶつくす？」を実施。
- ⑧「葛飾区立図書館 ビブリオバトル(カツビブ)」を実施。(3/16)
- ⑨「ティーンズ向けイラスト講座」を実施。(1/25)

(3) 児童サービス委員会

- ①子ども読書の日を記念して「としょかんのおすすめの本のなかのこの本が好き！」を実施。合わせて各図書館で記念おはなし会や特別展示などを実施。
- ②5月1日より3歳児を対象にセカンドブック事業を開始。対象は平成22年4月1日以降生まれの子。
- ③各図書館で一日図書館員を実施。(7/26、7/31、8/2)
- ④読み聞かせボランティア講座(初級)を開催。(6/2、6/5、6/12、6/19の全4回。第1回目は、公開講座とした。講師:大井むつみ氏)
読み聞かせボランティア講座(乳幼児編)を開催。(9/28、10/4、10/11、10/18の全4回。第1回目は、公開講座とした。講師:落合美知子氏)
- ⑤ブックスタート公開講座を開催。(2/16、講師:中多泰子氏)
- ⑥児童講演会を開催。(7/28、講師:大竹英洋氏 10/26、講師:なかがわちひろ氏) また、講演会に併せ、中央、立石、及び上小松の各図書館でパネル展示及びスタンプラリーを実施。
- ⑦「ライブラリーインフォメーション」の改定、配付。
- ⑧お薦めの図書リスト「むぎわらぼうし」「いちねんせいになったらよんでみよう」及び「ファーストブック」の作成、配布。
- ⑨児童弁償の運用の検討とカウンターマニュアルにおける「児童弁償」項目の追加。
- ⑩団体基準の見直しと、利用者向け「団体利用のご案内」の見直し。

(4) 資料収集委員会

- ①月例で除籍選定を行い、図書 22,000 冊の内 1,059 冊を復活資料として選定。(復活率 4.81 パーセント)
- ②東京都発行有償刊行物の選定、購入。
- ③都立再活用資料の選定(今年度移管資料なし)。
- ④コミック(購入及び寄贈)の受け入れ選定。
- ⑤休廃刊雑誌・新規購入雑誌の情報提供及び受け入れ雑誌の選定。
- ⑥次年度購入雑誌の選定と見直しを行い、「2014 葛飾区立図書館雑誌・新聞目録」を編集・作成。
- ⑦旅行ガイドブック購入分担館の見直し。
- ⑧予約多数図書の複本購入選定。
- ⑨ホームページ掲載用レファレンス事例(7 件)の作成。
- ⑩DVD計 212 点を選定購入。
- ⑪DVD、CD-ROMの付録のついた白書等に貼付する表示の文言について検討。
- ⑫江東ブロック雑誌保存分担について見直し。
- ⑬加除式図書の収集等について見直し。
- ⑭図書、雑誌に掲載、貼付されているQRコードの取り扱いについて検討。
- ⑮資料収集・除籍マニュアルに記載されている「各館文庫・新書分担選定収集・特設コーナー(Z)」についての変更確認。
- ⑯著作権の明確でない資料の扱いについて検討。

(5) ハンディキャップサービス委員会

①四者懇談会(四者:利用者、音訳・点訳ボランティア、図書館職員)の開催

10月23日に四者懇談会を開催し、ハンディキャップサービスに対しての質問や意見、情報交換を行った。

②朗読CD及びデージー図書の選定購入

朗読CD34タイトル、デージー図書6タイトルを選定し、購入した。

③音訳ボランティア養成講座の開催

今までに音訳や朗読講座を受講したことがある方、またはボランティア経験のある方を対象に、区内の図書館で活動する新たな音訳者を養成するため、講師に松井進氏他3名を招き、音訳ボランティア養成講座を開催した。

全6回、それぞれ、9月19日、10月4日、10月29日、11月1日、2月10日、2月17日に開催した。

④ハンディキャップ講演会の開催

3月29日に中央図書館で、視覚障害者である演奏家の増田太郎氏を招き、講演会を開催した。参加した視覚障害の方は、講師のヴァイオリン生演奏を楽しんだ。晴眼者を含め53名の方が参加した。

⑤点訳体験講座の開催

点訳を体験することで、視覚障害者の方の読書環境についての理解を深めていただくとともに、ボランティア活動参加へのきっかけとした。

視覚障害について関心のある方を対象に行ったこの講座は、年1回の開催であり、親子の参加も多く見られた。ボランティアグループ「かつしか点訳の会」との共催により、活動の紹介、点訳についての講義、実際に簡易点字板にて点字を打っての名刺作成を行った。10月27日に開催し、13名の方が参加した。

⑥音訳資料の製作

デージー図書(こちら葛飾区亀有公園前派出所)を7タイトル、文学作品他を15タイトル、葛飾区についての情報冊子(かつしかまちナビ)を3タイトル作成した。

さらに、マルチメディアデージー図書を、音訳ボランティアから音源の提供を受け、2タイトル製作した。

8 行事实績

(1) 一般向け行事

① 一般映画会、1日映画会、バリアフリー映画会

おもに中学生以上を対象とし、名作・芸術映画・文学作品などを上映した。また、芸術作品を深く味わっていただくため、1日映画会を実施した。さらに、見ること、聞くことに不便な方も、そうでない方と一緒に来場して楽しめるよう、「バリアフリー映画会(場面の变化を説明する副音声と、日本語字幕が付けられた映画の上映会)」を実施した。

◇一般映画会

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	鎌倉	合計
回 数	6	4	7	12	12	6	47
参加人数	234	121	333	306	499	194	1,687

◇1日映画会

	立石	お花茶屋	合計
回 数	1	1	2
参加人数	114	100	214

◇バリアフリー映画会

	立石	合計
回 数	1	1
参加人数	14	14

②「かつしかデジタルライブラリー」公開記念講演会

館名	開催日	内容(テーマ)	講 師	参加人数
中央	4月28日	書くことは生きること	今岡清氏(天狼プロダクション社長)	83
中央	5月12日	かつしかデジタル散歩	橋本直子氏(葛飾区立郷土と天文の博物館学芸員)	25
合計				108

③一般講演会

館名	開催日	内容(テーマ)	講 師	参加人数
立石	5月25日	立石図書館講演会 「昭和の流行歌を懐かしむ」	立石一夫氏(ヒーロー研究家)	33
上小松	10月6日	上小松図書館講演会 「池波正太郎の世界」	鶴松房治氏(池波正太郎記念文庫指導員)	39
水元	11月2日	水元図書館講演会 「水と緑豊かな水元地域を探る！」	橋本直子氏(葛飾区立郷土と天文の博物館学芸員)	29
鎌倉	12月7日	鎌倉図書館講演会 「みんなでつくる未来の図書館」	内山雅人氏 (一般社団法人学びコミュニケーション協会 代表理事)	31
中央	2月9日	暮らしに役立つ法律セミナー 「成年後見と相続」	水島俊彦氏(法テラス東京法律事務所常勤弁護士) 馬場真由子氏(法テラス東京法律事務所常勤弁護士)	49
お花茶屋	2月15日	お花茶屋図書館講演会 「冬こそ気をつけたい心臓病！ ～狭心症・急性心筋梗塞の最新治療～」	吉田成彦氏(新葛飾病院院長)	19
中央	2月23日	中央図書館医療・健康情報講演会 「がん哲学外来～良い読書との出会い～」	樋野興夫氏(順天堂大学医学部病理・腫瘍学教授、 NPO法人「がん哲学外来」理事長、医学博士)	93
立石	3月8日	立石図書館講演会 「昭和のプロレスをヒーロー研究家が語る」	立石一夫氏(ヒーロー研究家)	31
合計				324

④ビジネス支援セミナー

ビジネスのスキルアップに役立つセミナーを、講師を招いて開催した。

館名	開催日	内容(テーマ)	講 師	参加人数
中央	6月22日	中央図書館ビジネスセミナー 「葛飾版夢起業セミナー ～1DAY集中で事業計画を考えよう～」	森尾浩司氏(中小企業診断士) 新井秀樹氏(日本政策金融公庫国民生活事業本部 東京地区総括こくさん創業支援センター東京所長)	25
立石	7月21日	立石図書館ビジネスセミナー 「今さら聞けないネットのビジネス活用法」	長島孝善氏(中小企業診断士)	28
中央	9月22日	中央図書館ビジネスセミナー 「これで決まり！売上アップの方程式 ～小さなお店の原理・原則～」	増田憲二氏(中小企業診断士)	32
立石	10月20日	立石図書館ビジネスセミナー 「知って得する創業時の資金調達」	新井秀樹氏(日本政策金融公庫)	10
立石	11月24日	立石図書館ビジネスセミナー 「これだけは知っておきたい取引先の見分け方～ 使える情報はこれだ」	田中正浩氏(中小企業診断士)	25
中央	11月30日	中央図書館ビジネスセミナー 「地域密着の小さなお店、会社の作り方 ー地域の『これ欲しい！』を発掘する」	越山陽子氏(中小企業診断士)	30
立石	12月14日	立石図書館ビジネスセミナー 「私は夢中で夢を見た～ 奈良『くるみの木』から学ぶこと」	石村由起子氏(「くるみの木」オーナー)	56
中央	1月19日	中央図書館ビジネスセミナー 「日本で働くのは、本当に損なのか」	海老原嗣生氏(株式会社ニッチモ 代表取締役)	40
立石	1月26日	立石図書館ビジネスセミナー 「ビジネス相談で不安を解消、成功確率を高めよう」	越山陽子氏(中小企業診断士)	23
中央	2月2日	中央図書館ビジネスセミナー 「会社勤めをしながら始める起業準備術」	本多素子氏(中小企業診断士)	55
合計				324

⑤データベース講習会

データベース利用促進及びビジネス支援、並びに学習支援を目的として開催した。

館名	開催日	内容(テーマ)	講 師	参加人数
立石	7月25日	立石図書館 データベース操作講習会 「レクシス アズ ワン」	湯川明子氏(レクシスネクシス・ジャパン)	10
中央	8月6日	「ポブラディアネット」親子セミナー(1回目)	飯田建氏(株式会社ポブラ社ポブラディア事務局)	11
中央	8月6日	「ポブラディアネット」親子セミナー(2回目)	飯田建氏(株式会社ポブラ社ポブラディア事務局)	11
立石	8月22日	立石図書館 データベース操作講習会 「ジャパンナレッジ」	山本京子氏(ネット・アドバンス)	12
中央	9月26日	科学技術関連データベース研修	図書館職員	28
中央	10月10日	中央図書館 ビジネスに役立つデータベースセミナー 「日経テレコン21」	宮下牧子氏(日経メディア・マーケティング)	10
中央	10月11日	中央図書館 ビジネスに役立つデータベースセミナー 「マーケティング情報バック(Mバック)」	椎野由大氏(富士グローバルネットワーク)	8
立石	10月24日	立石図書館 データベース講習会 「日経テレコン21」	宮下牧子氏(日経メディア・マーケティング)	9
合計				99

⑥ビジネス相談会

ビジネス支援サービスの一環として、中小企業診断士による起業・開業・経営改善等の相談会を実施した。
23年度からは立石図書館でもビジネス相談会を開催した。

【会場:中央図書館】

開催日	参加人数	開催日	参加人数
4月20日	4	10月19日	6
5月18日	6	11月16日	3
6月15日	4	12月21日	3
7月20日	6	1月18日	3
8月17日	6	2月15日	4
9月21日	5	3月15日	5
合計			55

【会場:立石図書館】

開催日	参加人数	開催日	参加人数
4月7日	2	10月6日	5
5月12日	1	11月3日	3
6月2日	4	12月1日	6
7月7日	4	1月5日	4
8月4日	6	2月2日	5
9月1日	5	3月2日	4
合計			49

⑦その他一般向け行事

行 事 名	館 名	回数	参加人数
OPAC検索のコツ・ミニ	中央	5	9
初春朗読会	中央	1	60
はてなぶつくす？大人版	中央	1	108
はてなぶつくす？おとな版	立石	1	110
大人のための語りの会～ジーンと心に染みる話～	お花茶屋	1	27
おとなの職場体験 in 図書館	立石	1	15
カスリーン台風を語り合おう	鎌倉	1	20
あやめ園お話し会	西水元	4	47
合計		15	396

(2)子ども向け行事

①子ども映画会

子どもたちが本や図書館に興味を持つことを目的に、児童書を原作とする映画や名作アニメなどを上映した。

	中央	立石	お花茶屋	上小松	合計
回 数	1	3	2	12	18
参加人数	49	111	38	228	426

②児童室講演会

館名	開催日	内容(テーマ)	講師	参加人数
中央	7月28日	大竹英洋氏講演会 「ノースウッズの森で」 (講演会のために、世田谷文学館の協力を得て 中央・立石・上小松の各館で写真展及びスタンプラリーを実施。 実施期間:中央及び上小松 6月28日～7月28日 立石 7月1日～7月28日)	大竹英洋氏(写真家)	110
中央	2月16日	ブックスタート公開講座講演会 「あかちゃんからの読み聞かせ～家庭でも地域でも～」	中多泰子氏(NPOブックスタート理事)	53
合計				163

③おはなし会

子どもと本を結びつける手段として、「おはなし会」を行った。

また、まだ小さい子どもたちでも楽しめるよう、絵本の読み聞かせを中心にした「絵本読み聞かせ」、
わらべうたなども取り入れ、0～3歳くらいの子と保護者の方を対象にした「おひぎにだっこのおはなし会」など、
対象別におはなし会を開催した。

◇おはなし会

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	西水元	新宿	合計
回 数	31	21	24	20	18	11	21	9	9	164
参加人数	838	387	272	190	158	84	283	71	88	2,371

◇絵本読み聞かせ

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	新宿	合計
回 数	410	71	19	24	50	39	51	4	668
参加人数	4,465	819	204	140	451	326	786	13	7,204

◇おひぎにだっこのおはなし会

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	青戸	新宿	合計
回 数	24	47	41	58	21	24	12	11	7	245
参加人数	1,066	838	1,020	809	399	377	261	263	35	5,068

◇特別おはなし会(夏のこわいおはなし会、食育のおはなし会、クリスマスのおはなし会など)

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	西水元	青戸	新宿	合計
回 数	9	3	2	2	2	4	2	2	4	2	32
参加人数	213	139	23	42	43	143	114	45	120	51	933

④いろんなことばのおはなし会

多文化サービスのひとつとして外国語で書かれた絵本の読み聞かせを行うことにより、原語と翻訳された絵本の違いを伝え、
外国人ボランティアや外国に居住経験のある日本人ボランティアと一緒に、その国の歌や文化を楽しむことを目的とした。

	中央	合計
回 数	4	4
参加人数	124	124

⑤「子ども読書の日」記念行事

4月23日の「子ども読書の日」及び5月12日までの「子どもの読書週間」に合わせ、より本に親しんでもらうために、記念おはなし会や、読み聞かせ、展示などを行った。

◇記念おはなし会・読み聞かせ

館名	開催日	内容(テーマ)	参加人数
中央	4月27日	小学生による絵本読み	25
立石	4月27日	子ども読書の日 記念おはなし会	14
立石	4月28日	子どもによるおはなし会	20
お花茶屋	4月20日	子ども読書の日 記念おはなし会	16
上小松	4月27日	子ども読書の日 記念おはなし会(3歳以上の子対象)	16
上小松	4月27日	子ども読書の日 記念おはなし会(小学生対象)	2
水元	4月27日	子ども読書の日 記念おはなし会	39
鎌倉	4月27日	子ども読書の日 記念おはなし会	38
西水元	4月27日	「よい絵本」の読み聞かせ ※「よい絵本」とは全国学校図書館協議会で選定された絵本	8
青戸	4月20日	小さい子向きのおはなし会	14
青戸	4月20日	子ども読書の日 記念おはなし会	7
新宿	4月20日	子ども読書の日 記念おはなし会	14
合計			213

◇記念展示

館名	開催日	内容(テーマ)
中央	4月26日～ 5月22日	「ぐりとぐら」50周年の展示
上小松	4月26日～ 5月22日	「よい絵本」の展示
水元	4月26日～ 5月22日	「子どもの本のむかし・いま」の展示
鎌倉	4月2日～ 5月22日	「おすすめの新しい本」の展示
四つ木	4月26日～ 5月22日	「よい絵本」の展示
奥戸	4月26日～ 5月22日	「奥戸地区図書館員のオススメ子どもの本」

◇記念イベント

館名	開催日	内容(テーマ)	参加人数
全館	4月2日～ 5月31日	としょかんおすすめの本のなかのこの本がすき！ (葛飾区立図書館お薦めの図書リスト「ファーストブック」「いちねんせいになったらよんでみよう」「むぎわらぼうし」の中から好きな本を投票してもらい、結果を各図書館で掲示する。)	42
中央	3月29日～ 4月24日	ランドセルクイズ	12
中央	4月27日～ 5月5日	ぐりとぐらの衣装を着て、写真を撮ろう！	13
立石	4月8日～ 5月31日	ランドセルビンゴ	60
お花茶屋	4月24日～ 4月26日	ぬいぐるみの図書館おとまり会	25
亀有	4月26日～ 5月22日	おたのしみボックス	267
西水元	4月26日～ 5月22日	おたのしみボックス	42
合計			461

⑥人形劇

ボランティアグループの人形劇団による名作などの上演を通して、本への関心を高めてもらうきっかけづくりを児童館やボランティアグループとの共催により実施した。

館名	開催日	内 容	劇団名	参加人数
立石	7月7日	ばけくらべ 他	柴又おはなしころりん(ボランティアグループ)	48
水元	12月14日	まんまるパン 他	柴又おはなしころりん(ボランティアグループ)	58
西水元	2月2日	おはながわらった 他	柴又おはなしころりん(ボランティアグループ)	16
合計				122

⑦保育園・幼稚園招待・訪問

保育園・幼稚園児を図書館に招待又は訪問し、絵本の読み聞かせ、ストーリーテリング、パネルシアターなどで本の紹介をし、団体貸出なども行い、本に親しむ機会をつくった。

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	新宿	合計
回 数	46	77	56	73	60	61	40	41	10	31	23	22	540
参加人数	1,163	1,821	1,864	2,073	1,634	1,971	1,194	795	257	922	611	854	15,159

⑧児童館訪問

児童館に集まる子どもたちを対象に、本の読み聞かせや紙芝居などを行った。

	お花茶屋	上小松	水元	鎌倉	西水元	青戸	合計
回 数	15	6	4	4	3	3	35
参加人数	457	213	120	131	48	231	1,200

⑨学級招待

小学生を対象に学級単位で図書館に招待し、館内見学、ブックトーク(本の紹介)などを行い、本に親しむ機会をつくった。

	中央	立石	お花茶屋	上小松	水元	鎌倉	四つ木	西水元	合計
回 数	6	2	3	3	9	5	1	3	32
参加人数	452	143	168	282	794	227	28	123	2,217

⑩学級・学校訪問

学校に訪問し、学級や学校単位で図書館の利用方法について説明し、ブックトーク(本の紹介)や読み聞かせなどを行い、本に親しむ機会をつくった。

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	四つ木	青戸	奥戸	合計
回 数	14	19	10	9	36	4	33	3	9	137
参加人数	670	613	426	510	1,530	374	920	252	322	5,617

⑪一日図書館員

小学4～6年生を対象に、図書の受入・装備、カウンター業務(資料の貸出・返却・配架)などの図書館の仕事を体験することにより、図書館への関心を深め、本に親しむ機会をつくった。

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	新宿	合計
回 数	3	3	3	3	3	3	3	1	1	1	1	1	26
参加人数	21	18	23	23	24	24	24	3	4	4	3	5	176

⑫保健所訪問・招待

乳幼児健診等で保健所・各保健センターに集まった乳児と保護者を対象に、保健所・保健センターや図書館で乳幼児からの絵本の紹介、読み聞かせ等についての話や絵本の紹介を行った。

	中央	立石	水元	鎌倉	合計
回 数	12	2	6	6	26
参加人数	286	75	226	104	691

⑬ブックスタート

赤ちゃんと保護者が絵本を介して言葉と心を通わす、そのかけがえのないひとときを応援する事業として、絵本、イラストアドバイス集などの入った「ブックスタートパック」を手渡し、絵本の読み聞かせを行った。

平成18年4月から、保健センターで実施される「4か月児健康診査」で行っている。

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	合計
回 数	24	16	12	12	17	13	12	106
パック配布数	880	493	424	433	572	470	345	3,617

⑭セカンドブック

3歳児を対象として絵本を手渡すことで、子どもの読書活動を推進し、かつ図書館の利用促進を図る事業として、5種類の絵本の中から1冊を選んでもらい、「セカンドブック・リーフレット」と共に手渡し、図書館の案内を行った。

平成25年5月から、全図書館で引き換えを開始。(対象は平成22年4月1日以降に生まれた子)

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	新宿	合計
配布数	290	241	138	152	124	282	118	0	3	61	6	32	1,447

⑮障がい児学校訪問・招待

障がいのある児童・生徒を図書館に招待又は訪問し、ブックトーク(本の紹介)、絵本の読み聞かせ、ストーリーテリングなどを行い、本に親しむ機会をつくった。

	中央	西水元	合計
回 数	7	2	9
参加人数	177	37	214

⑯その他こども向け行事

◇かみしばいの会

	中央	立石	お花茶屋	水元	合計
回 数	17	4	4	11	36
参加人数	462	108	63	138	771

◇科学絵本・工作の会

	中央	立石	お花茶屋	亀有	水元	合計
回 数	1	2	3	1	4	11
参加人数	22	20	51	41	166	300

◇ブッククラブ

	立石	水元	鎌倉	合計
回 数	7	10	38	55
参加人数	54	67	124	245

◇その他の行事

行 事 名	館 名	回数	参加人数
ブックトークの会	中央	2	23
むぎわらぼうしクイズ	中央	1	42
夏休み かつしか地図散歩〜かつしかの今と昔をいろいろな地図で比べてみよう〜	中央	1	25
らんらんフェスティバル	中央	1	79
パソコンを使った手作り絵本教室	中央	5	140
パソコンを使った絵本ボランティア養成講座	中央	3	45
開館特別イベント「ぐりとぐら」になろう！」	お花茶屋	1	21
わくわくチャレンジ広場でのおはなし会	お花茶屋	8	106
上小松図書館管轄の保育園・児童館・保健センターへリサイクル本の提供	上小松	1	9
ブックジャングル探検！〜クイズに答えて、お宝発見〜	亀有	1	61
図書館ビンゴ	水元	1	46
かみしばいまつり	水元	1	52
わらべうたの会	水元	1	13
ブッククラブによるおはなし会	水元	1	17
青戸保育園父母会	青戸	2	88
合計		30	767

(3) 中・高校生向け行事

①図書館deビンゴ！？

本の分類を基にした、クイズ形式のイベントを実施した。

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	新宿	合計
回 数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
参加人数	1	0	3	2	9	0	3	26	9	12	40	0	105

②はてなぶっくす？

中高生向けにテーマに沿っておすすめの本を選び、英字新聞で本を包装してタイトルが分からないようにして貸出をした。

	中央	立石	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	新宿	合計
回 数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
参加人数	30	30	23	14	3	12	13	17	5	15	7	169

③葛飾区立図書館 ビブリオバトル

中高生が中心となり、知的書評合戦(読んで面白かった本を1冊ずつ持ち寄って紹介し、見学者の投票によりチャンプ本(最高得票の本)を決定するイベント)を行い、本と親しむ機会をつくった。

	中央	合計
回 数	1	1
参加人数	28	28

④ティーンズ向けイラスト講座～風景イラストのコツ、お話します～

「職業」や「イラストの描き方」について中高生向けの講座を行い、図書館への関心を深め、本と親しむ機会をつくった。

	中央	合計
回 数	1	1
参加人数	34	34

⑤職場体験、職場インタビュー

図書館の仕事の体験や見学を通して、図書館への理解を深めてもらうとともに、本に親しむ機会をつくった。

◇職場体験

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	青戸	合計
回 数	7	4	3	4	3	3	3	1	28
参加人数	27	13	14	10	10	14	11	2	101

◇職場インタビュー

	西水元	合計
回 数	1	1
参加人数	1	1

⑥YA学級・学校訪問、YAブックトーク

学校に訪問の上、学年や学級単位での図書館の利用方法についての説明、ブックトーク(本の紹介)、及び読み聞かせなどを行い、本に親しむ機会をつくった。

◇YA学級・学校訪問

	上小松	合計
回 数	1	1
参加人数	141	141

◇YAブックトーク

	お花茶屋	上小松	亀有	水元	合計
回 数	4	3	2	2	11
参加人数	259	380	282	264	1,185

(4) 子どもから大人までの行事

①かるた大会

「かつしか郷土かるた」などを用いたかるた大会を行い、楽しみながら郷土かつしかや日本の伝統行事に親しむ機会をつくった。
また、絵本をかるたに見立てた「かるた大会」も行い、楽しみながら絵本や読書に親しむ機会をつくった。

行 事 名	館 名	回数	参加人数
絵本かるた	中央	2	17
かつしか郷土かるた	立石	1	39
新春かるた大会 ～かつしか郷土かるたを楽しもう～	立石	1	28
えほんかるたの会	亀有	1	6
お正月えほんカルタ会	水元	1	23
合計		6	113

(5) ハンディキャップ向け行事

①障害者週間関連行事

点訳体験や、マルチメディアデイズの実演など、障害をお持ちでない方に、ハンディキャップサービスに親しんでいただくためのイベントを開催した。

◇障害者週間関連行事「～共生社会を目指して～『電子図書&点訳』を体験してみよう！」

	中央	合計
回 数	1	1
参加人数	141	141

②ハンディキャップサービス講演会

ハンディキャップサービスの啓発のため、利用者に親しみやすいヴァイオリン演奏を含めた講演会を開催した。

館名	開催日	内容(テーマ)	講 師	参加人数
中央	3月29日	ハンディキャップサービス講演会 「毎日が歌ってる」	増田太郎氏(ヴァイオリニスト)	53

(6)ボランティア養成関連行事

①読み聞かせボランティア講座

◇読み聞かせボランティア講座(初級)

幼稚園・保育園・小学校などで読み聞かせをしている方、又はする予定のある方を対象に

子どもの読書活動を推進するボランティアを養成するため、読み聞かせ講座を開催した。

	開催日	会場	内 容	参加人数
第1回	6月2日	中央	公開講座「よみきかせ・いろはのい」 講師 大井むつみ氏(中部学院大学講師)	47 (22)
第2回	6月5日	中央	ボランティア経験者の話と実演 講師 読み聞かせの会「おはなしたまごの会」「ひよこの会」の皆様	28 (21)
第3回	6月12日	中央	読み聞かせ 指導・発表準備 講師 図書館職員	21
第4回	6月19日	中央	受講生 発表会 講師 図書館職員	20
合計				116(43)

*第1回及び第2回の公開講座の()の数は、参加人数の内の受講者数

◇読み聞かせボランティア講座(乳幼児編)

「子ども読書活動の推進に関する法律」及び「葛飾区子ども読書活動推進計画(第二次)」に基づき、

子どもの読書活動を推進していくためのボランティアを養成するための講座を開催した。

	開催日	会場	内 容	参加人数
第1回	9月28日	立石	公開講座「子どもの心に灯をともしわらべうた」 講師 落合美知子氏(子どもの本研究家)	43 (23)
第2回	10月4日	立石	(1) 講義「子どもとたのしむ絵本とわらべうた」 講師 落合美智子氏(子どもの本研究家) (2) 班の顔合わせ	58 (26)
第3回	10月11日	立石	読み聞かせ指導及びおはなし会の企画・実演 講師 図書館職員	24
第4回	10月18日	立石	受講生による発表会 講師 図書館職員	24
合計				149(49)

*第1回および第2回の()の数は、参加人数の内の受講者数

②マルチメディアデジター講習会

視覚障害者、聴覚障害者等様々な人が利用できるデジタル図書作成の講習会を区民向けに開催した。

回 期	開催日	会場	内 容	参加人数
第1回	9月24日	中央	1 AMIS再生 2 XHTML Converter セクションごとにページ作成 3 Sigtuna DAR3(教材:ハイテク図書) プロジェクトの作成 QA Player 録音設定 音声のキャリブレーション 音声のインポート 編集 プロジェクトのクリーンアップ 書誌情報 エクスポート プロジェクトの結合 4 Sigtuna Correction 5 Daisy 2.02 Validator 6 DI Maker 7 CD書き込み	4
第2回	9月25日	中央	1 実習(マルチメディアデジター「こどものころにみた夢」作成) 2 質疑応答	4
第3回	10月9日	中央	1 実習(マルチメディアデジター「こどものころにみた夢」作成) 2 質疑応答	3
第4回	10月30日	中央	応用・実践編 「見知らぬ町」「こどものころにみた夢」 マルチメディアデジター作成	4
合計				15

③音訳ボランティア養成講座

区内の図書館で音訳ボランティアの活動をしている方を対象とし、技術の向上を図り、様々なジャンルの資料を音訳できる方を養成するため、前期と後期に分け、講座を開催した。

回 期	開催日	会場	内 容	参加人数
前期 第1回	9月19日	中央	講演会「視覚障害者の読書の現状と展望」 講師 松井進氏(NPO・バリアフリー資料リソースセンター副理事長)	45
前期 第2回	10月4日	中央	「古典を読む 第1回」 講師 鈴木三枝氏(元高校国語科講師)	16
前期 第3回	10月29日	中央	講演会「盲学校に学ぶ生徒たち」 講師 三谷照勝氏(東京都立文京盲学校長)	29
前期 第4回	11月1日	中央	「古典を読む 第2回」 講師 鈴木三枝氏(元高校国語科講師)	12
後期 第1回	2月10日	中央	「高校入試問題 数式の読み方」 講師 野本浩作氏(元中学校数学教師)	13
後期 第2回	2月17日	中央	「高校入試問題 数式の読み方」 講師 野本浩作氏(元中学校数学教師)	15
合計				130

④四者懇談会

ハンディキャップサービスの向上のため、ハンディキャップサービス利用者、音訳ボランティア、点訳ボランティア、及び図書館員が、意見交換を行った。

	中央	合計
回 数	1	1
参加人数	46	46

⑤その他ボランティア養成関連行事

◇学校図書館ボランティア講座

	中央	立石	上小松	亀有	合計
回 数	1	1	1	1	4
参加人数	28	10	14	15	67

◇ボランティア連絡会

	中央	立石	上小松	亀有	水元	鎌倉	合計
回 数	1	1	1	1	2	1	7
参加人数	11	7	7	10	28	4	67

◇中学生・高校生向けの、ボランティア体験及びボランティア研修

行 事 名	館 名	回数	参加人数
新宿区立戸山高校1年生によるボランティア体験	水元	2	2
葛飾総合高校2年生によるボランティア体験	水元	2	8
ボランティア研修	鎌倉	1	7
合計		5	17

(7)中央図書館 4周年記念イベント

①講演会

開催日	内容(テーマ)	講 師	参加人数
10月20日	図書館には魅力がいっぱい ～広げよう、読書の輪～	松本和子氏(東京理科大学教授)	30
10月26日	子どもの本の幸せ ～私の本たちの舞台裏～	なかがわちひろ氏(絵本作家・翻訳家)	55
合計			85

②図書館と親しくなるイベント

開催日	時間	内容(テーマ)	参加人数
10月19日	10時30分から11時	データベース クイック講習会 「日経テレコン」と「Mバック」の使い方	4
10月23日	10時30分から11時30分	初心者向け図書館資料検索ミニ講習会 * 検索機(OPAC)の使い方編 * かつしかデジタルライブラリー編	6
10月26日	10時30分から11時30分	図書館見学ツアー	8
10月27日	10時30分から11時30分		8
10月27日	13時30分から16時	大人のための職場体験講座 ～図書館員トライアル～	5
10月27日	14時から16時	点訳体験講座 ～点字でオリジナル名刺を作ろう～	13
合計			44

③児童記念おはなし会

開催日	時間	内容(テーマ)	参加人数
10月13日	15時30分から16時	育児パパあつまれ！ 「男性図書館員によるおはなし会」	25
10月17日	10時30分から11時	たんじょうびの絵本読み	8
	15時30分から16時		8
合計			41

(8)その他の行事

①学校図書館・公共図書館連絡会

地域の学校と公立図書館との連携を推進するために、担当教諭・支援指導員・ボランティア等の出席のもと連絡会を行った。

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	合計
回 数	3	3	3	5	5	4	3	26
参加人数	53	83	21	54	37	56	37	341

②図書館見学

学校からの依頼により、図書館職員が児童・生徒に館内案内や利用案内を行い、図書館に親しむ機会をつくった。

	立石	亀有	水元	鎌倉	西水元	青戸	奥戸	新宿	合計
回 数	1	3	2	6	3	1	2	1	19
参加人数	24	168	12	51	66	28	66	38	453

③展示等

行 事 名	館 名	回数	参加人数
(展示イベント)すばらしきSFの世界展	中央	1	
(展示イベント)葛飾をめぐる川展	中央	1	
(展示イベント)おもちゃ展	中央	1	
(展示イベント)新春かつしか街めぐり	中央	1	
(展示イベント)マナーキャンペーン	立石	1	
(展示イベント)～立石図書館を利用されるみなさまへ～わたしからオススメする本	立石	1	
(展示イベント)川柳グランプリ	立石	1	
(展示イベント)図書館SELECTS part2	立石	1	
立石図書館『葛飾、わたしの好きな場所』写真作品募集及び展示	立石	1	13
(展示イベント)かつしかけいた かつしかの景展	鎌倉	1	
(展示イベント)ラジオの魅力 かつしかFMの秘密を探る	鎌倉	1	
(展示イベント)おおむらしげる 絵本の世界	鎌倉	1	
合計		12	13

④葛飾図書館友の会共催の行事

行 事 名	館 名	回数	参加人数
ナイトシアター	中央	12	546
CD・DVDコンサート	中央	11	360
16ミリ映画会	中央	2	106
友の会ウィーク 区民劇団「Katsushika-H.A.M」公演	中央	1	40
友の会ウィーク 特別セミナー「大学の今を語る」	中央	1	38
友の会ウィーク ザ・マジック(マジックショー)	中央	1	44
友の会ウィーク DVD上映「かつしか 時の風景」「綾小路きみまろライブ」	中央	1	27
友の会ウィーク 特別講演会「頼朝・尊氏・信長～歴史家だから語れる人物像」	中央	1	95
友の会特別イベント 新春かるた会～百人一首とかつしか郷土かるたで迎春を～	中央	1	25
合計		31	1,281

9 各種統計

(1) サービス実績

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	23区平均
区民一人当りの蔵書数	蔵書総数／人口 (図書)	2.52	2.43	2.65	2.71	2.74(冊)	2.98(冊)
区民一人当りの貸出冊数	貸出冊数／人口 (図書・雑誌 含団体)	6.79	7.57	7.96	7.88	7.50(冊)	7.81(冊)
登録者一人当りの貸出冊数	個人貸出冊数 (図書・雑誌)／登録者数	16.58	18.16	18.65	18.20	16.15(冊)	19.89(冊)
区民一人当りの資料購入費	図書館資料費／人口	305	458	260	250	256(円)	325(円)
区民一人当りの購入冊数	購入冊数／人口 (図書)	0.15	0.11	0.12	0.11	0.11(冊)	—
登録率	登録者数／人口*100 (個人)	39.34	40.11	41.33	41.82	44.76(%)	38.12(%)
全蔵書の平均貸出回数	貸出冊数／蔵書冊数 (図書・雑誌 含団体)	2.56	2.89	2.86	2.77	2.61(回)	—
開館日一日当りの貸出冊数	館ごとの「貸出冊数(図書・雑誌 含団体)／開館日数」の合計	11,101	11,233	11,563	11,532	10,839(冊)	—

注：人口、蔵書総数は、平成26年4月1日現在。登録者数は、25年度の延べ登録者数。

その他は、各年度の実績。登録者には区内在勤・在学・近隣区市を含む。

図書資料費は、雑誌、新聞、官報、視聴覚資料など全ての資料を含む。

登録者数・貸出冊数・図書館資料費・購入冊数・開館平均日数については、男女平等推進センター分及びAV資料を除く。

「区民一人当りの資料購入費」について、葛飾区の数値は25年度の決算額を葛飾区の人口で割ったもの、23区平均の数値は、26年度の予算額を23区の人口で割ったものである。

(2) 登録者所在内訳

	一般室登録者	児童室登録者	合計	構成比
区内在住	152,412	20,398	172,812	85.7%
足立区	5,700	297	5,997	2.97%
江戸川区	6,290	581	6,871	3.41%
墨田区	788	13	801	0.40%
江東区	443	3	446	0.22%
その他の都内	691	0	691	0.34%
都内計	166,324	21,292	187,616	93.01%
埼玉県三郷市	3,892	252	4,144	2.05%
千葉県松戸市	6,547	193	6,740	3.34%
その他	3,145	73	7,362	3.65%
合計	179,908	21,810	201,718	100.00%

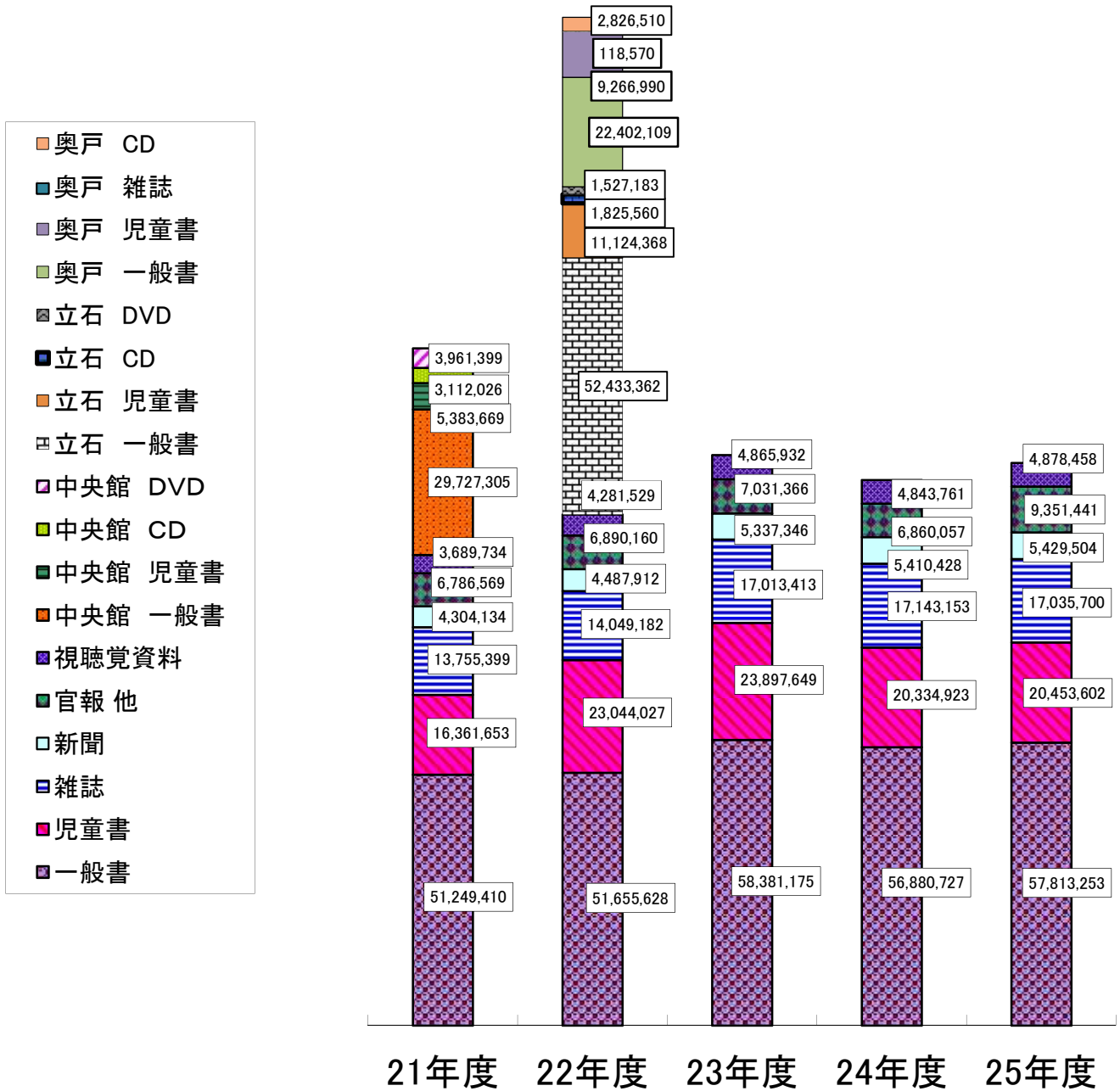
注：登録者数は、平成26年4月1日現在。(男女平等推進センターの登録者を含む。)

(3) 図書館資料費推移(決算額)

(単位:円・%)

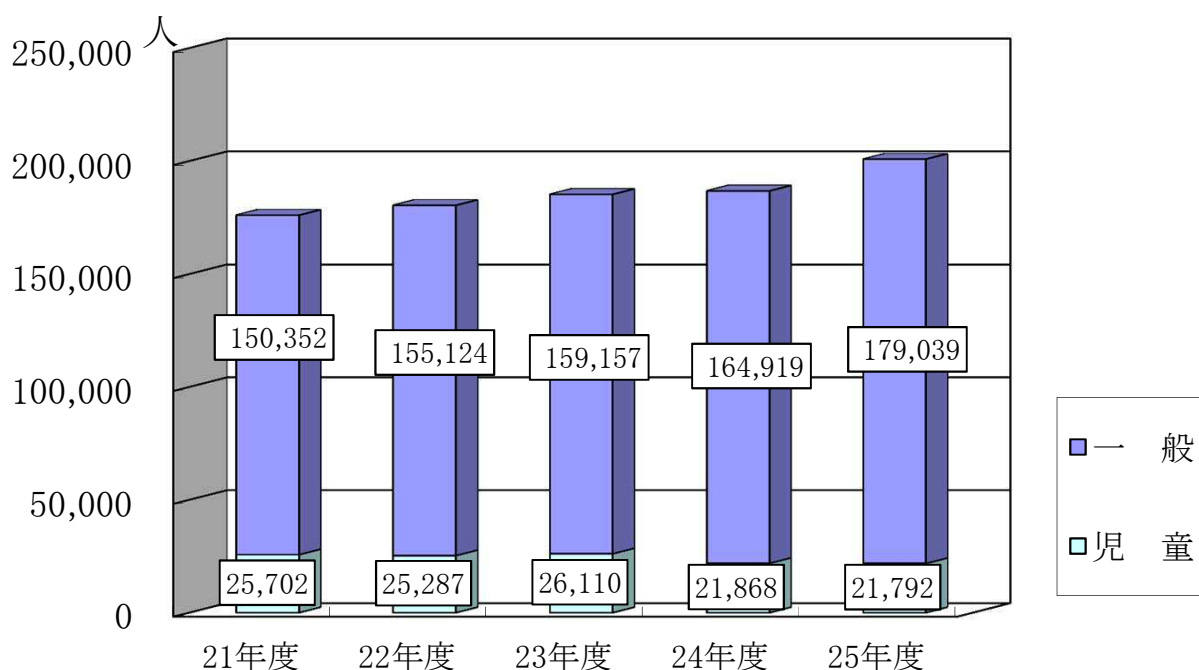
種 別		24 年 度	25 年 度	前年度比
図 書 (計)		77,111,711	78,159,580	1.4
	一 般 書	56,776,788	57,705,978	1.6
	児 童 書	20,334,923	20,453,602	0.6
雑 誌		17,143,153	17,035,700	-0.6
新 聞		5,410,428	5,429,504	0.4
官 報		314,160	345,892	10.1
追 録		4,190,350	4,060,030	-3.1
C D - R O M		103,939	107,275	3.2
ブックスタート図書資料費		2,355,547	2,355,585	0.0
セカンドブック図書資料費			2,589,934	—
図書等購入費の計 [A]		106,629,288	110,083,500	3.2
	コンパクトディスク (計)	2,858,902	2,861,754	0.1
	カセットテープ (計)	0	0	—
	デジター図書	60,500	88,200	45.8
	ビデオソフト	0	0	—
	DVD	1,924,359	1,928,504	0.2
視聴覚資料費の計 [B]		4,843,761	4,878,458	0.7
図書館資料費の合計[A]+[B]		111,473,049	114,961,958	3.1

図書館資料費推移(決算額)



* CD-ROMの購入費は一般書に含む。

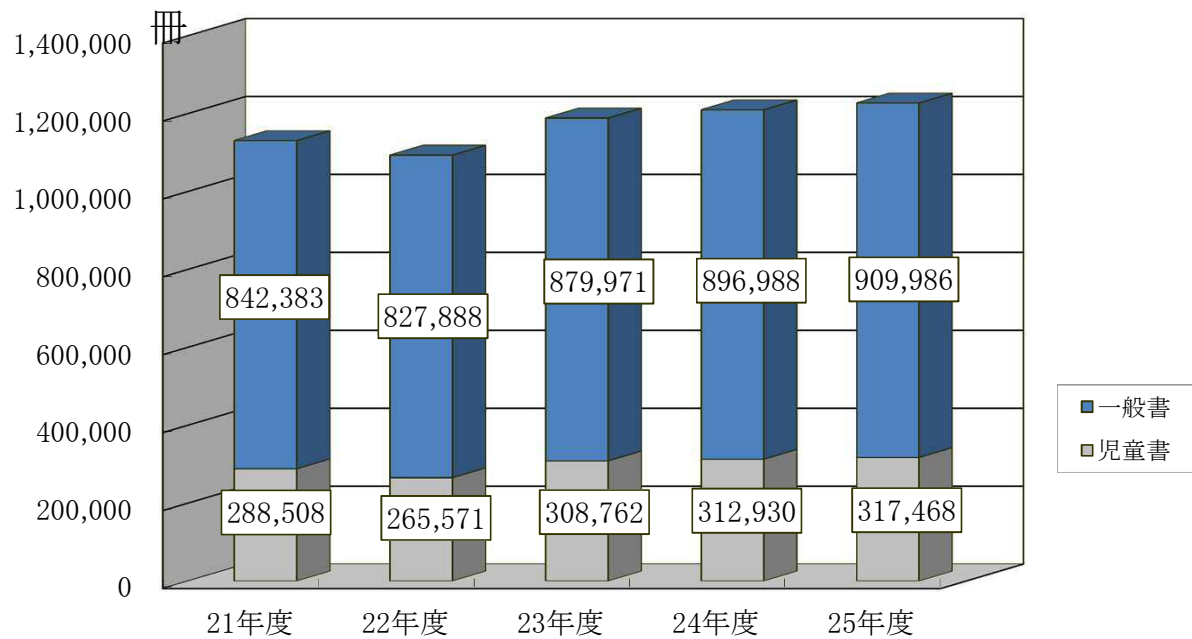
(4) 登録者の推移



		中 央	立 石	お 花 茶 屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥 戸	新 宿	合 計	男女 センター
新 規 登 録 者	一 般	5,503	1,544	690	851	701	447	725	136	105	385	168	272	11,527	8
	児 童	713	462	334	353	252	295	358	113	115	157	123	131	3,406	2
	合 計	6,216	2,006	1,024	1,204	953	742	1,083	249	220	542	291	403	14,933	10
	H S	10	4	1	0	0	1	2	0	0	0	0	1	19	0
	団 体	18	26	8	13	15	57	19	0	0	0	0	0	156	0
	相 互	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
開 館 日 数		349	349	290	291	291	291	291	279	279	279	279	279	3,547	—
1日平均登録者数		18	6	4	4	3	3	4	1	1	2	1	1	47	—
登 録 者 延べ人数	一 般	58,000	18,837	19,369	18,516	13,838	17,076	18,141	4,085	4,199	4,630	1,053	1,295	179,039	379
	児 童	4,715	2,317	2,498	2,350	1,734	2,700	2,315	587	614	880	589	493	21,792	8
	合 計	62,715	21,154	21,867	20,866	15,572	19,776	20,456	4,672	4,813	5,510	1,642	1,788	200,831	387
	H S	167	65	74	43	28	49	25	10	16	10	4	5	496	4
	団 体	440	181	307	288	232	332	237	32	41	14	9	47	2,160	0
	相 互	271	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	274	0

*「HS」はハンディキャップサービスの登録者数。学校図書館支援コーナーにおける登録団体数は新宿に含める。

(5)蔵書数の推移



(6)資料統計
館別蔵書・所蔵数

平成26年4月1日現在

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	新宿	支援	合 計
図 書	371,570	89,758	109,819	102,941	109,989	99,389	112,231	37,209	37,704	32,503	32,446	50,629	41,266	1,227,454
一 般 書	320,076	68,906	82,227	80,409	81,432	71,665	83,730	24,674	24,543	20,040	22,482	25,672	4,130	909,986
(大活字・点字資料)	5,149	658	595	751	1,340	968	886	192	161	55	126	138	0	11,019
(地域資料)	24,989	3,366	3,544	1,900	2,818	1,933	1,636	621	603	642	530	632	239	43,453
(外国語資料)	5,587	132	572	1,111	1,271	899	771	31	64	0	4	0	3	10,445
児 童 書	51,494	20,852	27,592	22,532	28,557	27,724	28,501	12,535	13,161	12,463	9,964	24,957	37,136	317,468
(紙芝居)	1,275	499	451	524	596	695	662	422	279	237	227	547	0	6,414
(絵 本)	21,286	9,030	9,830	8,784	10,457	10,920	11,452	4,709	5,497	5,502	4,236	9,223	12,097	123,023
新 聞	39	16	15	15	12	14	13	8	8	9	8	8	0	165
雑 誌	384	166	169	159	161	163	147	67	62	74	60	61	0	1,673
C D	7,706	3,319	2,807	3,179	2,898	2,640	2,984	1,420	1,202	1,272	1,239	791	0	31,457
カ セ ッ ト	554	25	300	1,086	631	547	689	119	243	2	0	48	0	4,244
ビ デ オ	164	6	54	43	37	0	15	0	9	7	2	2	1	340
D V D	3,254	230	42	40	69	46	45	14	16	15	7	7	0	3,785
16ミリフィルム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- * ()は内数
- * 新聞・雑誌はタイトル数
- * ビデオは旧葛飾図書館(2009年10月17日から貸出停止)のみ、その他の図書館は広報ビデオ。保存庫のビデオ所蔵数は中央に含める。旧葛飾図書館のビデオ所蔵数は中央に含める。

(7)館別蔵書冊数表

一 般 書

単位:冊

		中 央	立 石	お花茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥戸	新宿	支援	合 計
0	総 記	9,539	1,825	2,072	2,183	2,630	1,513	1,630	362	480	467	550	670	13	23,934
1	哲 学	12,114	1,972	2,418	2,980	2,625	2,092	2,175	573	546	441	632	697	2	29,267
2	歴 史	26,146	5,315	7,203	7,405	6,093	6,077	6,848	1,615	1,497	1,654	2,167	1,975	252	74,247
3	社会科学	45,756	8,284	9,160	9,778	9,161	7,193	7,821	1,909	1,910	1,659	2,171	2,086	416	107,304
4	自然科学	18,511	4,007	5,768	5,389	3,972	3,913	5,443	1,535	1,380	1,129	1,462	1,793	9	54,311
5	技 術	21,006	7,020	5,359	6,060	5,528	5,220	7,040	2,657	1,986	2,727	2,805	3,069	0	70,477
6	産 業	9,781	2,554	2,440	2,567	2,320	2,092	3,318	838	573	592	711	916	1	28,703
7	芸 術	25,227	5,302	7,099	7,866	6,882	5,831	6,605	1,550	1,562	1,483	1,674	2,119	14	73,214
8	言 語	4,839	1,190	1,193	887	1,112	1,248	1,410	359	305	405	360	555	0	13,863
9	文 学	58,200	10,972	16,000	17,725	18,787	14,066	18,828	4,403	8,889	3,801	4,390	4,305	52	180,418
K	郷土・行政資料	23,283	3,366	3,544	1,900	2,818	1,933	1,636	621	603	642	530	632	239	41,747
KC	かつしかコレクション	1,706	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,706
X	点字資料	2,769	26	66	21	16	16	20	4	2	6	3	10	0	2,959
L	大活字資料	2,380	632	529	730	1,324	952	866	188	159	49	123	128	0	8,060
R	参考図書	17,586	2,437	3,070	2,471	2,777	2,694	2,097	176	261	196	204	283	0	34,252
B	文 庫	19,829	7,072	7,716	5,534	6,853	6,875	8,990	4,342	2,546	2,899	2,566	3,306	0	78,528
G	外国語資料	5,787	177	580	1,086	1,310	912	784	31	64	0	5	0	3	10,739
Y	ヤングアダルト	12,372	4,858	5,638	3,993	5,261	6,195	5,625	2,444	1,464	1,483	1,625	2,797	3,089	56,844
Z	特集本等	765	364	1,541	1,230	1,334	1,546	993	30	20	12	16	26	36	7,913
M	マンガ	2,480	1,533	831	604	629	1,297	1,601	1,037	296	395	488	305	4	11,500
合 計		320,076	68,906	82,227	80,409	81,432	71,665	83,730	24,674	24,543	20,040	22,482	25,672	4,130	909,986

児 童 書

単位:冊

		中 央	立 石	お花茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥戸	新宿	支援	合 計
0	総 記	482	100	168	119	160	223	170	86	84	52	63	121	380	2,208
1	哲 学	186	99	123	59	99	108	86	52	43	40	58	143	53	1,149
2	歴 史	1,512	570	1,094	824	1,043	1,045	1,186	417	504	441	255	946	2,099	11,936
3	社会科学	2,030	927	1,430	1,007	1,282	1,198	1,314	647	685	463	392	1,216	1,592	14,183
4	自然科学	2,693	1,597	2,667	1,749	2,356	2,294	2,467	867	1,237	1,001	743	2,056	2,388	24,115
5	技 術	1,254	898	1,354	823	1,320	1,100	1,091	558	533	415	332	1,030	828	11,536
6	産 業	238	113	293	211	244	212	213	104	88	79	43	184	172	2,194
7	芸 術	1,532	709	1,281	906	1,527	1,080	1,090	521	546	498	322	982	646	11,640
8	言 語	299	159	203	196	254	188	192	128	159	79	82	201	191	2,331
9	文 学	15,676	4,570	7,357	6,134	7,813	7,062	7,277	3,121	2,868	2,806	2,371	6,431	14,891	88,377
P	紙 芝 居	1,275	499	451	524	596	695	662	422	279	237	227	547	0	6,414
E	絵 本	21,286	9,030	9,830	8,784	10,457	10,920	11,452	4,709	5,497	5,502	4,236	9,223	12,097	123,023
R	参考図書	670	200	282	348	383	264	234	98	119	187	182	342	138	3,447
B	文 庫	2,046	720	844	723	846	1,093	858	684	421	577	592	1,257	1,452	12,113
Z	特集本等	314	272	182	125	149	151	176	92	88	85	66	161	200	2,061
M	マンガ	1	389	33	0	28	91	33	29	10	1	0	117	9	741
合 計		51,494	20,852	27,592	22,532	28,557	27,724	28,501	12,535	13,161	12,463	9,964	24,957	37,136	317,468

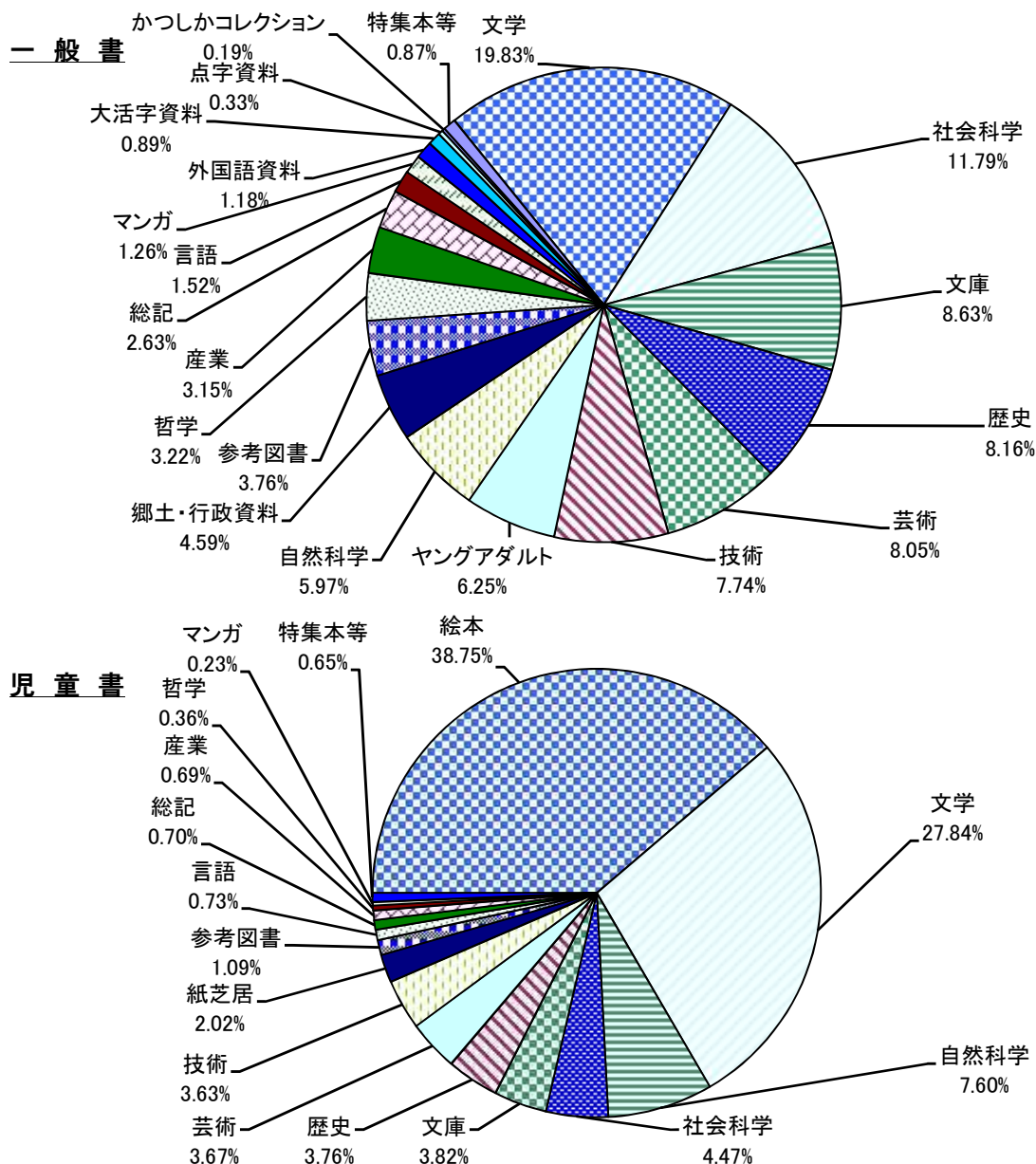
(8)分野別蔵書冊数表

一般書

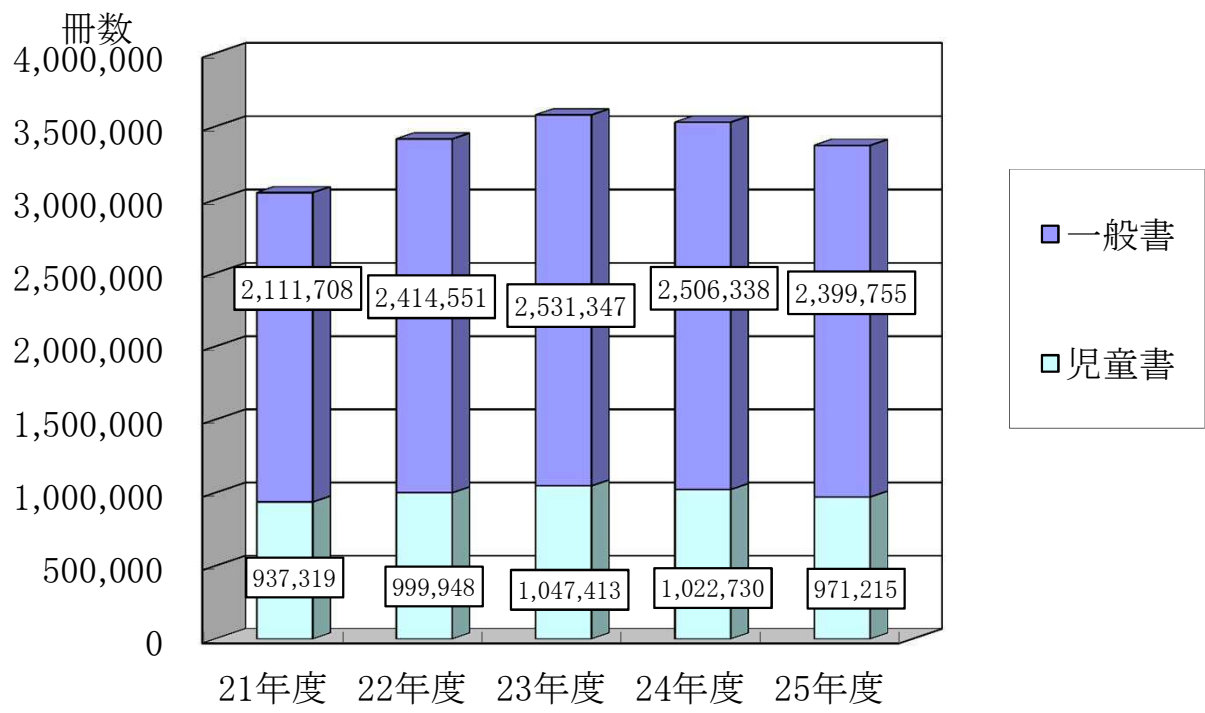
記号	分類	冊数	割合
9	文学	180,418	19.83%
3	社会科学	107,304	11.79%
B	文庫	78,528	8.63%
2	歴史	74,247	8.16%
7	芸術	73,214	8.05%
5	技術	70,477	7.74%
Y	ヤングアダルト	56,844	6.25%
4	自然科学	54,311	5.97%
K	郷土・行政資料	41,747	4.59%
R	参考図書	34,252	3.76%
1	哲学	29,267	3.22%
6	産業	28,703	3.15%
0	総記	23,934	2.63%
8	言語	13,863	1.52%
M	マンガ	11,500	1.26%
G	外国語資料	10,739	1.18%
L	大活字資料	8,060	0.89%
X	点字資料	2,959	0.33%
KC	かつしかコレクション	1,706	0.19%
Z	特集本等	7,913	0.87%
合 計		909,986	100.00%

児童書

記号	分類	冊数	割合
E	絵本	123,023	38.75%
9	文学	88,377	27.84%
4	自然科学	24,115	7.60%
3	社会科学	14,183	4.47%
B	文庫	12,113	3.82%
2	歴史	11,936	3.76%
7	芸術	11,640	3.67%
5	技術	11,536	3.63%
P	紙芝居	6,414	2.02%
R	参考図書	3,447	1.09%
8	言語	2,331	0.73%
0	総記	2,208	0.70%
6	産業	2,194	0.69%
1	哲学	1,149	0.36%
M	マンガ	741	0.23%
Z	特集本等	2,061	0.65%
合 計		317,468	100.00%



(9) 図書・雑誌貸出冊数の推移



平成25年度における貸出冊数(図書・雑誌)

	中央	立石	お花 茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	新宿	支援	合計	男女 センター
一般書	740,547	350,244	210,981	174,319	181,254	172,582	221,832	58,819	36,185	109,586	60,062	79,799	3,545	2,399,755	4,476
1日平均 貸出冊数	2,121.9	1,003.6	727.5	599.0	622.9	593.1	762.3	210.8	129.7	392.8	215.3	286.0	-	-	-
児童書	207,257	121,781	77,781	76,774	75,825	78,364	85,245	29,653	23,068	47,464	36,804	40,781	70,418	971,215	1,055
1日平均 貸出冊数	593.9	348.9	268.2	263.8	260.6	269.3	292.9	106.3	82.7	170.1	131.9	146.2	-	-	-
開館日数	349	349	290	291	291	291	291	279	279	279	279	279	-	-	-
合計	947,804	472,025	288,762	251,093	257,079	250,946	307,077	88,472	59,253	157,050	96,866	120,580	73,963	3,370,970	5,531

注: 団体・協力貸出等を含む。

(10) 分野別図書・雑誌貸出冊数表

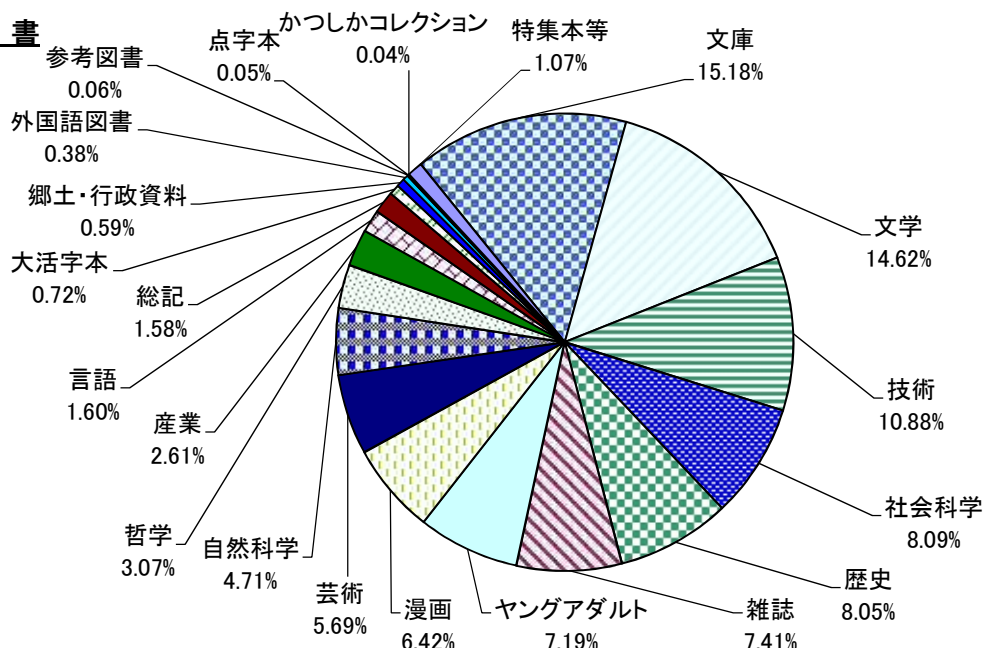
一般書

記号	分類	冊数	割合
B	文庫	364,179	15.18%
9	文学	350,854	14.62%
5	技術	261,012	10.88%
3	社会科学	194,142	8.09%
2	歴史	193,138	8.05%
	雑誌	177,929	7.41%
Y	ヤングアダルト	172,595	7.19%
M	漫画	153,948	6.42%
7	芸術	136,515	5.69%
4	自然科学	113,133	4.71%
1	哲学	73,693	3.07%
6	産業	62,553	2.61%
8	言語	38,377	1.60%
0	総記	37,912	1.58%
L	大活字本	17,189	0.72%
K	郷土・行政資料	14,201	0.59%
G	外国語図書	9,202	0.38%
R	参考図書	1,383	0.06%
X	点字本	1,190	0.05%
KC	かつしかコレクション	921	0.04%
Z	特集本等	25,689	1.07%
	合 計	2,399,755	100.00%

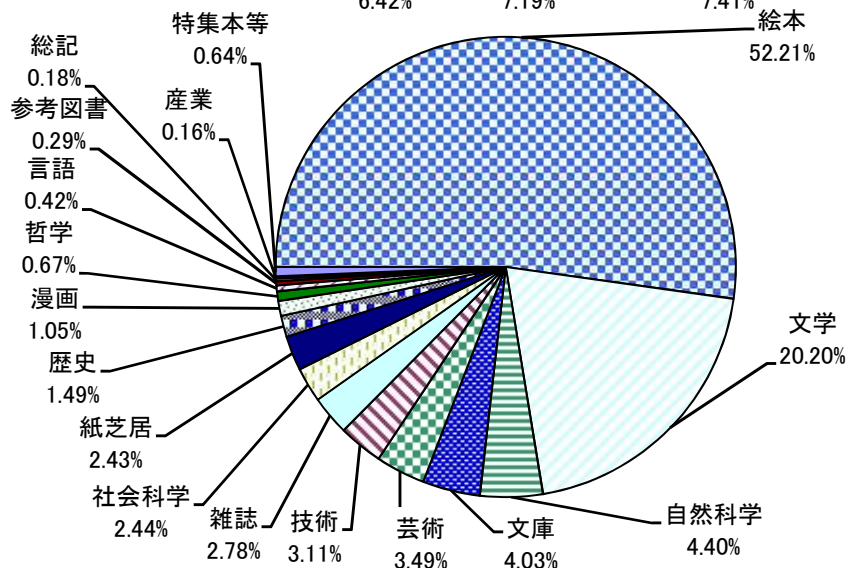
児童書

記号	分類	冊数	割合
E	絵本	507,029	52.21%
9	文学	196,193	20.20%
4	自然科学	42,741	4.40%
B	文庫	39,102	4.03%
7	芸術	33,910	3.49%
5	技術	30,249	3.11%
	雑誌	27,027	2.78%
3	社会科学	23,704	2.44%
P	紙芝居	23,584	2.43%
2	歴史	14,495	1.49%
M	漫画	10,204	1.05%
1	哲学	6,488	0.67%
8	言語	4,058	0.42%
R	参考図書	2,847	0.29%
0	総記	1,747	0.18%
6	産業	1,598	0.16%
Z	特集本等	6,239	0.64%
	合 計	971,215	100.00%

一般書



児童書



(11)AV(視聴覚)資料利用状況

AV資料貸出数

	中 央	立 石	お 花 茶 屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥 戸	新 宿	合 計	男 女 センター
C D	79,307	31,215	13,431	14,448	14,194	9,557	15,477	4,108	2,333	7,007	4,892	4,296	200,265	270
カセット	158	58	385	587	424	779	104	146	62	19	11	15	2,748	10
ビ デ オ	10	0	1	2	1	2	1	0	0	0	2	0	19	1
D V D	27,793	1,621	988	693	852	384	792	171	117	262	157	272	34,102	10
その他	22	3	3	0	0	1	0	0	0	2	0	2	33	0
合 計	107,290	32,897	14,808	15,730	15,471	10,723	16,374	4,425	2,512	7,290	5,062	4,585	237,167	291

(12)外国語図書 館別言語別図書蔵書数

	中 央	立 石	お花茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥 戸	新 宿	支 援	合 計
中国語	551	11	130	208	176	185	106	1	1	0	0	0	0	1,369
アジア言語	69	3	6	10	11	6	8	0	0	0	0	0	0	113
ハングル語	609	15	77	155	180	143	101	1	0	0	0	0	0	1,281
英語	4,217	123	330	679	882	540	530	29	62	0	5	0	3	7,400
ドイツ語	90	3	13	7	19	5	11	0	0	0	0	0	0	148
フランス語	113	4	7	4	12	7	8	0	0	0	0	0	0	155
スペイン語	24	2	2	3	10	9	3	0	0	0	0	0	0	53
イタリア語	20	0	3	0	2	0	5	0	0	0	0	0	0	30
ロシア語	23	1	1	1	1	1	0	0	1	0	0	0	0	29
その他言語	71	15	11	19	17	16	12	0	0	0	0	0	0	161
合計	5,787	177	580	1,086	1,310	912	784	31	64	0	5	0	3	10,739

(13)レファレンス受付数

	中 央	立 石	お花茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥 戸	新 宿	合 計
一般	1,827	673	541	935	453	514	586	1,203	245	865	405	954	9,201
児童	633	1,006	298	1,292	784	624	431	864	299	438	312	421	7,402
合 計	2,460	1,679	839	2,227	1,237	1,138	1,017	2,067	544	1,303	717	1,375	16,603

(14) 予約・リクエスト統計

一般図書・雑誌

館名 内訳	中 央	立 石	お花 茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥 戸	新 宿	合 計	男女 センター
予約受付	221,869	108,723	74,579	62,384	59,247	41,349	68,508	18,645	10,883	44,246	15,555	27,229	753,217	2,401
内 借用	3,107	1,879	1,586	948	1,106	777	913	274	102	861	220	462	12,235	51
数 提供不能	127	55	34	62	59	20	49	8	8	53	5	22	502	
選定落ち	0	28	2	0	0	1	126	0	0	0	2	0	159	

児童図書・雑誌

館名 内訳	中 央	立 石	お花 茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥 戸	新 宿	合 計	男女 センター
予約受付	19,647	10,705	9,323	7,788	6,302	8,225	7,942	2,750	1,671	6,700	3,296	4,094	88,443	748
内 提供不能	0	7	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	9	
数 選定落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

A V

館名 内数	中 央	立 石	お花 茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥 戸	新 宿	合 計	男女 センター
予約受付	21,667	10,364	7,383	7,832	6,554	3,747	7,875	1,786	955	2,652	1,633	2,145	74,593	260
内 提供不能	0	6	6	0	0	1	0	1	0	1	1	0	16	
数 選定落ち	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

予約受付 →インターネット・館内端末からの利用者による予約を含む。

借用 →当該資料が区内未所蔵等のため、区外の図書館からの取り寄せたもの。

(他の自治体所蔵の資料のため、一般書・児童書の区別ができず、一般書にまとめて記載した。)

提供不能 →区内・区外ともに資料がなく、絶版等で購入もできなかったもの。

選定落ち →区内・区外ともに資料がなく購入選定を行ったが、区立図書館の蔵書として不適当と判断したもの。

予約方法別受付件数(再掲)

予約方法	合 計	割合
図書館カウンター	87,486	9.44%
インターネット	688,758	74.34%
館内端末	150,303	16.22%
合計	926,547	100%

* 男女平等推進センター分を含む。また、団体及び協力を含む。

図書館カウンター →予約・リクエストカードを図書館カウンターに提出し、図書館職員が予約入力する。

インターネット →インターネットによる予約。(平成16年1月28日より受付開始。)

館内端末 →館内利用者端末から、利用者が直接予約入力。(平成15年1月17日より受付開始。)

(15)蔵書点検

蔵書資料点検の実施時期及び3年にわたって不明だった資料数

館名	蔵書点検実施時期	一般書	児童書	雑誌	図書・雑誌の計	CD	カセット	ビデオ	DVD
中央図書館	9月9日～9月12日	124	11	10	145	5	0	0	75
中央図書館 (保存庫部分)	5月14日～5月16日	11	0	1	12	0	0	1	0
立石図書館	6月10日～6月13日	363	59	109	531	21	3	0	2
お花茶屋図書館	12月14日～12月19日	65	11	13	89	1	2	0	0
上小松図書館	5月28日～5月31日	37	11	3	51	4	0	0	0
亀有図書館	6月4日～6月7日	90	6	15	111	6	0	0	0
水元図書館	10月8日～10月11日	87	12	3	102	5	0	0	0
鎌倉図書館	10月1日～10月4日	41	12	6	59	5	0	0	0
四つ木地区図書館	11月19日～11月20日	9	11	2	22	0	0	0	0
西水元地区図書館	9月3日～9月4日	8	5	1	14	0	0	0	0
青戸地区図書館	7月2日～7月3日	14	4	1	19	2	0	0	0
奥戸地区図書館	12月3日～12月4日	2	1	1	4	0	0	0	0
新宿図書センター	6月18日～6月19日	45	11	5	61	1	0	0	0
合 計		896	154	170	1,220	50	5	1	77

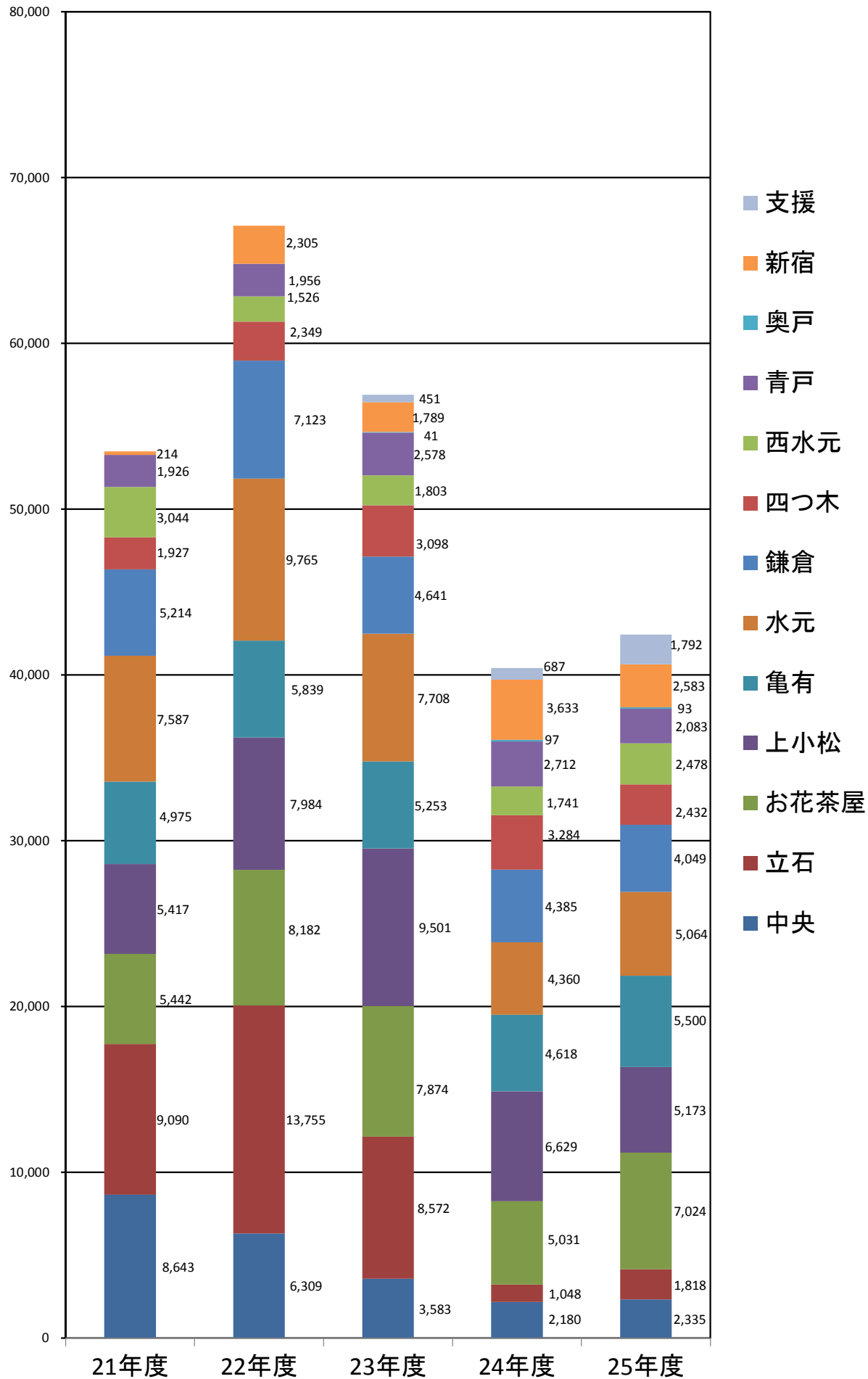
図書資料の除籍冊数推移

(平成26年4月1日現在)

館 名	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
中央図書館	8,643	6,309	3,583	2,180	2,335
立石図書館	9,090	13,755	8,572	1,048	1,818
お花茶屋図書館	5,442	8,182	7,874	5,031	7,024
上小松図書館	5,417	7,984	9,501	6,629	5,173
亀有図書館	4,975	5,839	5,253	4,618	5,500
水元図書館	7,587	9,765	7,708	4,360	5,064
鎌倉図書館	5,214	7,123	4,641	4,385	4,049
四つ木地区図書館	1,927	2,349	3,098	3,284	2,432
西水元地区図書館	3,044	1,526	1,803	1,741	2,478
青戸地区図書館	1,926	1,956	2,578	2,712	2,083
奥戸地区図書館	—	—	41	97	93
新宿図書センター	214	2,305	1,789	3,633	2,583
学校図書館支援コーナー	—	—	451	687	1,792
合 計	53,479	67,093	56,892	40,405	42,424

注:平成21年度の中央図書館の除籍冊数には、葛飾図書館の除籍冊数を含む。

図書資料の除籍冊数推移



(16) 図書受入・除籍数

図書受入数

		中央	立石	お花 茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	新宿	支援	合計
一般	購入	6,835	3,377	3,072	2,989	3,124	3,224	2,993	1,597	1,488	1,481	1,821	1,564	0	33,565
	寄贈	2,086	915	528	676	656	766	577	458	133	319	155	236	37	7,542
	合計	8,921	4,292	3,600	3,665	3,780	3,990	3,570	2,055	1,621	1,800	1,976	1,800	37	41,107
児童	購入	4,176	1,342	1,182	1,169	1,108	1,141	1,233	585	577	596	632	648	390	14,779
	寄贈	62	73	86	16	52	88	20	19	29	6	9	15	30	505
	合計	4,238	1,415	1,268	1,185	1,160	1,229	1,253	604	606	602	641	663	420	15,284
合計	購入	11,011	4,719	4,254	4,158	4,232	4,365	4,226	2,182	2,065	2,077	2,453	2,212	390	48,344
	寄贈	2,148	988	614	692	708	854	597	477	162	325	164	251	67	8,047
	合計	13,159	5,707	4,868	4,850	4,940	5,219	4,823	2,659	2,227	2,402	2,617	2,463	457	56,391

雑誌受入数

		中央	立石	お花 茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	新宿	合計
購入		4,406	2,273	2,407	2,163	2,275	2,285	2,093	980	1,043	1,003	1,061	1,070	23,059
寄贈		888	46	96	88	124	112	41	13	12	0	0	0	1,420
合計		5,294	2,319	2,503	2,251	2,399	2,397	2,134	993	1,055	1,003	1,061	1,070	24,479

図書除籍数

		中央 (葛飾 舎)	立石	お花 茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	新宿	支援	合計
一般	廃棄	1,526	1,268	5,989	3,955	3,923	3,615	3,146	1,793	1,752	1,761	60	1,629	40	30,457
	亡失	199	397	82	44	108	105	67	15	12	19	7	49	0	1,104
	合計	1,725	1,665	6,071	3,999	4,031	3,720	3,213	1,808	1,764	1,780	67	1,678	40	31,561
児童	廃棄	593	89	945	1,163	1,461	1,331	822	612	709	298	25	894	1,752	10,694
	亡失	17	64	8	11	8	13	14	12	5	5	1	11	0	169
	合計	610	153	953	1,174	1,469	1,344	836	624	714	303	26	905	1,752	10,863
合計	廃棄	2,119	1,357	6,934	5,118	5,384	4,946	3,968	2,405	2,461	2,059	85	2,523	1,792	41,151
	亡失	216	461	90	55	116	118	81	27	17	24	8	60	0	1,273
	合計	2,335	1,818	7,024	5,173	5,500	5,064	4,049	2,432	2,478	2,083	93	2,583	1,792	42,424

(17)AV受入数

	中 央	立 石	お花 茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥 戸	新 宿	合 計
C D	245	114	94	97	109	97	94	52	43	53	56	56	1,110
カセット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ビ デ オ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D V D	292	23	1	1	3	1	1	2	0	1	1	0	326

(18)団体貸出の利用状況

	中 央	立 石	お花 茶屋	上小松	亀 有	水 元	鎌 倉	四つ木	西水元	青 戸	奥 戸	新 宿	支 援	合 計
登録 団体数	440	181	307	288	232	332	237	32	41	14	9	47	0	2,160
貸出 冊数	5,662	3,865	4,389	5,122	3,800	7,156	4,460	3,850	990	2,413	3,058	1,211	73,963	119,939

注:支援の登録団体数は新宿に含める。

(19)ハンディキャップサービスの利用状況

登録数

登録数 (人)	内 訳			
	視 覚	肢 体	その他	高齢者
842	82	138	420	202

* 25年度より、登録分類を変更

資料数

種 別	タイトル数	冊 数
点字図書	2,480	2,959
録音図書	86	160
大活字本	3,608	8,060
文芸カセット	—	1,601
文芸CD	—	1,318
デージー図書	193	311
デージー再生機	8台	—
マルチメディア デージー図書	69	113
点訳絵本	225	302
布絵本	64	135

(単位:文芸カセット:巻、デージー・
マルチメディアデージー:枚)

* 点字図書は中央図書館、その他は全館分

郵送分タイトル数及び冊数

種 別	タイトル数	冊 数
点字図書	23	23
録音図書	135	203
デージー	395	395

総郵送回数:571回
(単位:デージー:枚)

宅配分タイトル数及び冊数

種 別	タイトル数	冊 数
墨字本	689	996
CD	—	216
DVD	—	14

総宅配回数:215回
(単位:CD・DVD:枚)

対面朗読サービス利用者数

ボランティア利用分(自宅含む)	
利用者数(人)	延時間(H)
185	384

対面朗読室利用者数

(ボランティア利用分を除く)

利用者数(人)	延時間(H)
9	32

(20)図書館別 自動貸出機利用者数

一般室

(貸出者数:人)

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	合 計
就学前	2,548	824	77	190	76	123	427	4,265
小学生	9,382	3,323	533	1,718	685	823	4,128	20,592
中学生	7,403	4,296	519	522	562	545	1,202	15,049
高校生	6,402	3,611	531	128	275	297	274	11,518
一般	178,956	113,513	14,204	7,910	11,251	12,624	11,432	349,890
高齢者	51,681	25,464	4,254	1,195	2,696	3,559	1,690	90,539
その他	8	4	3	1	0	0	5	21
団体	84	0	0	0	0	0	3	87
合 計	256,464	151,035	20,121	11,664	15,545	17,971	19,161	491,961

児童室

(貸出者数:人)

	中央	立石	お花茶屋	合 計
就学前	4,003	2,871	1,127	8,001
小学生	9,132	10,361	4,641	24,134
中学生	1,013	1,820	697	3,530
高校生	157	180	20	357
一般	8,840	11,089	3,565	23,494
高齢者	402	461	80	943
その他	7	3	2	12
団体	9	0	1	10
合 計	23,563	26,785	10,133	60,481

予約棚

(貸出者数:人)

	中央
就学前	715
小学生	4,173
中学生	3,522
高校生	3,572
一般	107,675
高齢者	11,111
その他	9
団体	45
合 計	130,822

図書館別合計

(貸出者数:人)

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	合 計
就学前	7,266	3,695	1,204	190	76	123	427	12,981
小学生	22,687	13,684	5,174	1,718	685	823	4,128	48,899
中学生	11,938	6,116	1,216	522	562	545	1,202	22,101
高校生	10,131	3,791	551	128	275	297	274	15,447
一般	295,471	124,602	17,769	7,910	11,251	12,624	11,432	481,059
高齢者	63,194	25,925	4,334	1,195	2,696	3,559	1,690	102,593
その他	24	7	5	1	0	0	5	42
団体	138	0	1	0	0	0	3	142
合 計	410,849	177,820	30,254	11,664	15,545	17,971	19,161	683,264

(21)中央図書館個人閲覧席・利用者用インターネット利用者数

(利用者数:人)

	個人閲覧席 (42席)	ビジネスPC (9台)	児童PC (1台)	検索PC (4台)
4月	4,260	1,411	135	2,976
5月	4,966	1,415	123	3,095
6月	4,679	1,296	154	3,179
7月	5,517	1,504	272	3,317
8月	5,719	1,723	439	3,604
9月	4,215	1,304	141	2,749
10月	4,930	1,518	114	3,221
11月	4,696	1,508	132	3,162
12月	4,598	1,481	126	3,046
1月	5,266	1,517	116	3,233
2月	4,492	1,274	108	2,769
3月	4,381	1,384	155	3,128
合 計	57,719	17,335	2,015	37,479

(22)メール通知サービス登録者数

(登録者数:人)

		25年度新規登録者数	累計登録者数
メールマガジン 送付サービス	PC向け	246	1,824
	携帯向け	117	723
新着図書 お知らせサービス	検索条件指定の 件数	974	3,847
	ジャンル指定	408	2,531
貸出情報お知らせサービス		1,733	10,847
返却期限お知らせサービス		2,339	14,359
合計		5,817	34,131

(23)図書館別来館者数・平均来館者数

(来館者数:人)

	中央	立石	お花茶屋	上小松	亀有	水元	鎌倉	四つ木	西水元	青戸	奥戸	新宿	合計
来館者数	1,185,499	527,593	213,716	252,885	191,478	214,654	262,596	56,288	52,116	101,979	53,699	132,571	3,245,074
開館日数	349	349	290	291	291	291	291	279	279	279	279	279	3,547
平均来館者数	3,397	1,512	737	869	658	738	902	202	187	366	192	475	10,235

(24)利用カードパスワード登録者数

(登録者数:人)

	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	その他	団体	合計
新規登録者数	1,562	2,615	708	656	12,765	1,462	132	160	20,060
累計登録者数	4,578	15,024	9,683	8,451	110,579	14,966	141	1,297	164,719

(25)E-mailアドレス登録者数

(登録者数:人)

	就学前	小学生	中学生	高校生	一般	高齢者	その他	団体	合計
新規登録者数	143	225	172	178	3,544	151	2	1	4,416
累計登録者数	435	1,522	1,215	1,496	39,096	2,057	9	26	45,856

(26)年末年始(12月31日～1月3日)開館実績

来館者数

(来館者数:人)

	23年度	24年度	25年度	合計
中央図書館	8,698	9,047	8,994	26,739
立石図書館	—	3,348	3,520	6,868

貸出数

(図書・雑誌・AV資料の計)

	23年度	24年度	25年度	合計
中央図書館	6,540	6,146	4,933	17,619
立石図書館	—	2,996	2,621	5,617

(27)貸出ベスト 一般図書

対象期間 平成25年4月 ～ 平成26年3月

順位	タイトル	著者	出版社	貸出回数
1	麒麟の翼([加賀恭一郎シリーズ])	東野圭吾	講談社	503
2	謎解きはディナーのあとで [1]	東川篤哉	小学館	458
3	新参者([加賀恭一郎シリーズ])	東野圭吾	講談社	428
4	カッコウの卵は誰のもの	東野圭吾	光文社	424
5	プラチナデータ	東野圭吾	幻冬舎	417
6	マスカレード・ホテル	東野圭吾	集英社	416
7	真夏の方程式([ガリレオ] [6])	東野圭吾	文藝春秋	406
8	舟を編む	三浦しをん	光文社	395
9	1Q84—a novel—BOOK 1 4月—6月	村上春樹	新潮社	387
10	夜行観覧車	湊かなえ	双葉社	378
11	木槿ノ賦—書き下ろし長編時代小説—(双葉文庫 さー19—49 居眠り磐音江戸双紙 42)	佐伯泰英	双葉社	361
12	小暮写真館	宮部みゆき	講談社	351
13	ガリレオの苦悩([ガリレオ] [4])	東野圭吾	文藝春秋	349
14	1Q84—a novel—BOOK 3 10月—12月	村上春樹	新潮社	337
14	春霞ノ乱—書き下ろし長編時代小説—(双葉文庫 さー19—47 居眠り磐音江戸双紙 40)	佐伯泰英	双葉社	337
15	ビブリア古書堂の事件手帖 [1](メディアワークス文庫 み4—1) 栗子さんと奇妙な客人たち	三上延	アスキー・メディアワークス	336
16	聖女の救済([ガリレオ] [5])	東野圭吾	文藝春秋	334
17	散華ノ刻(とき)—書き下ろし長編時代小説—(双葉文庫 さー19—48 居眠り磐音江戸双紙 41)	佐伯泰英	双葉社	333
18	パラドックス13	東野圭吾	毎日新聞社	332
19	1Q84—a novel—BOOK 2 7月—9月	村上春樹	新潮社	330
20	白銀ジャック(実業之日本社文庫 ひ1—1)	東野圭吾	実業之日本社	323

(27)貸出ベスト 児童図書

対象期間 平成25年4月 ～ 平成26年3月

順位	タイトル	著 者	出 版 社	貸出回数
1	ぐりとぐら	中川李枝子作 大村百合子絵	福音館書店	924
2	はらぺこあおむし 改訂版	エリック＝カール	偕成社	882
3	からすのパンやさん	加古里子	偕成社	825
4	しろくまちゃんのほっとけーき	わかやまけん絵 森比左志著 わだよしおみ著	こぐま社	743
5	おつきさまこんばんは	林明子	福音館書店	686
6	かいじゅうたちのいるところ	モーリス・センダック	富山房	676
7	11ぴきのねこ	馬場のぼる	こぐま社	668
8	もこもこもこ	谷川俊太郎作 元永定正絵	文研出版	666
9	はじめてのおつかい	筒井頼子作 林明子絵	福音館書店	624
10	ぐりとぐらのえんそく	なかがわりえこ著 やまわきゆりこ絵	福音館書店	608
11	わたしのワンピース	にしまさかやこ	こぐま社	601
12	そらまめくんのベッド	なかやみわ	福音館書店	586
13	ぼくんちカレーライス	つちだのぶこ	佼成出版社	582
14	めっきらもっきらどおんどん	長谷川摂子作 ふりやなな画	福音館書店	580
15	キャベツくん	長新太	文研出版	574
16	三びきのやぎのがらがらどんーアスビョルンセンとモーの 北欧民話ー(世界傑作絵本シリーズ アメリカの絵本)	マーシャ・ブラウン	福音館書店	573
17	こんとあき	林明子	福音館書店	565
18	じゃあじゃあびりびり 改訂版	まっいのりこ	偕成社	559
19	ねないこだれだ	せなけいこ	福音館書店	555
20	100万回生きたねこ	佐野洋子	講談社	550

(27)貸出ベスト AV(CD)

対象期間 平成25年4月 ～ 平成26年3月

順位	タイトル	著 者	出 版 社	貸出回数
1	ayaka's History 2006-2009	絢香	ワーナーミュージック・ジャパン	148
2	あかちゃんとお母さんのあそびうた	小林衛己子	キング レコーズ	144
3	ARASHI 5×10 All the BEST! 1999-2009	嵐	ジェイ・ストーム	122
4	My song Your song	いきものがかり	ソニー・ミュージックディストリビューション	120
4	愛すべき未来へ	EXILE	エイベックス・マーケティング	120
5	願いの塔	EXILE	エイベックス・マーケティング	118
6	ベスト・フォーク100-青春のFORK&POPS-		東芝EMI	113
7	EXILE CATCHY BEST	EXILE	エイベックス・エンタテインメント	107
8	CYCLE HIT-スピッツ・コンプリート・シングル・コレクション-1991-1997	スピッツ	ユニバーサル・ミュージック	106
8	GAME/パフューム	Perfume	徳間ジャパンコミュニケーションズ	106
9	FUNKY MONKEY BABYS BEST	FUNKY MONKEY BABYS	キングレコード	97
10	いままでのA面、B面ですと！?	GReeeeN	ユニバーサル ミュージック	95
11	Mr.Children 2005-2010〈macro〉	Mr.Children	トイズファクトリー	94
11	スタジオジブリの歌		ファーストディストリビューション	94
12	HEART STATION/宇多田ヒカル	宇多田ヒカル	EMIミュージック・ジャパン	93
12	What's Love?	JUJU	ソニー・ミュージックディストリビューション	93
13	UTADA HIKARU SINGLE COLLECTION VOL.2	宇多田ヒカル	EMIミュージック・ジャパン	92
14	キング・オブ・ポップー・ジャパン・エディションー	マイケル・ジャクソン	ソニー・ミュージックジャパン・インターナショナル	90
14	ザ・ビートルズ アンソロジー2	ザ・ビートルズ	東芝EMI	90
15	嵐/Dream“A”live	嵐	ジェイ・ストーム	89
16	僕が見ている風景	嵐	ソニー・ミュージックディストリビューション	86
17	ALL SINGLES BEST	コブクロ	ワーナーミュージック・ジャパン	84
17	青春歌年鑑：70年代：総集編		ポニー・キャニオン	84
18	夢やぶれて	スーザン・ボイル	ソニー・ミュージックディストリビューション	83
18	VOCALIST/徳永英明	徳永英明	ユニバーサル・ミュージック	83
19	to LOVE	西野カナ	ソニー・ミュージックディストリビューション	82
20	Utada Hikaru SINGLE COLLECTION VOL. 1	宇多田ヒカル	東芝EMI	81
20	Mind Travel	Superfly	ワーナーミュージック・ジャパン	81
20	“THE SOUL”：ドリームズ・カム・トゥルー・グレイテスト・ヒッツ	ドリームズ・カム・トゥルー	ソニー・ミュージックエンターテイメント	81

(27)貸出ベスト AV(カセット)

対象期間 平成25年4月 ～ 平成26年3月

順位	タイトル	著 者	出 版 社	貸出回数
1	EMI演歌全曲集		EMIミュージック ジャパン	36
2	決定版！ デュエット演歌		キングレコード	35
3	イングリッシュジャーナル 2000年12月		アルク	31
4	よいこのどうようベスト60		日本コロムビア	24
5	ピアノ協奏曲5/6/8番	ダニエル・バレン ボイム	Y.J.SOUNDS	19

(27)貸出ベスト AV(DVD)

対象期間 平成25年4月 ～ 平成26年3月

順位	タイトル	著者	出版社	貸出回数
1	男はつらいよ-寅次郎忘れな草-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	98
2	男はつらいよ-寅次郎の休日-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	91
2	男はつらいよ-奮闘篇-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	91
3	男はつらいよ-翔んでる寅次郎-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	87
4	男はつらいよ-寅次郎サラダ記念日-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	86
5	男はつらいよ-知床慕情-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	85
5	男はつらいよ-拝啓 車 寅次郎様-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	85
5	男はつらいよ-葛飾立志篇-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	85
6	男はつらいよ-寅次郎子守唄-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	84
6	男はつらいよ-寅次郎恋やつれ-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	84
7	男はつらいよ-旅と女と寅次郎-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	83
8	男はつらいよ-寅次郎の告白-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	82
9	男はつらいよ-寅次郎相合い傘-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	81
10	男はつらいよ-寅次郎かもめ歌-	山田洋次	松竹株式会社 ビデオ事業室	76

10 葛飾区立図書館関係例規集

○葛飾区立図書館設置条例

昭和 42 年 3 月 20 日
条例第 10 号

(設置)

第 1 条 葛飾区に図書館法(昭和 25 年法律第 118 号)第 10 条の規定に基づき、葛飾区立図書館(以下「館」という。)を設置する。

(名称及び位置)

第 2 条 館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
葛飾区立中央図書館	東京都葛飾区金町六丁目 2 番 1 号
葛飾区立立石図書館	東京都葛飾区立石一丁目 9 番 1 号
葛飾区立お花茶屋図書館	東京都葛飾区お花茶屋二丁目 1 番 15 号
葛飾区立上小松図書館	東京都葛飾区東新小岩三丁目 12 番 1 号
葛飾区立亀有図書館	東京都葛飾区亀有一丁目 17 番 5 号
葛飾区立水元図書館	東京都葛飾区東水元一丁目 7 番 3 号
葛飾区立鎌倉図書館	東京都葛飾区鎌倉二丁目 4 番 5 号

2 前項の館に次のとおり分館を置く。

名称等	位置
葛飾区立中央図書館分館 葛飾区立四つ木地区図書館	東京都葛飾区四つ木四丁目 8 番 1 号
葛飾区立中央図書館分館 葛飾区立西水元地区図書館	東京都葛飾区西水元二丁目 2 番 8 号
葛飾区立中央図書館分館 葛飾区立青戸地区図書館	東京都葛飾区青戸五丁目 20 番 6 号
葛飾区立中央図書館分館 葛飾区立奥戸地区図書館	東京都葛飾区奥戸三丁目 5 番 1 号
葛飾区立中央図書館分館 葛飾区立新宿図書センター	東京都葛飾区新宿三丁目 7 番 1 号

(昭 42 条例 39・昭 48 条例 9・昭 52 条例 2・昭 52 条例 27・昭 56 条例 52・昭 57 条例 18・昭 62 条例 15・平 8 条例 45・平 10 条例 67・平 15 条例 70・平 21 条例 1・平 22 条例 47・一部改正)

(委任)

第 3 条 この条例の施行について必要な事項は、葛飾区教育委員会が定める。

付 則

- この条例は、昭和 42 年 4 月 1 日から施行する。
- 東京都葛飾区立図書館設置及び管理条例(昭和 23 年 12 月葛飾区条例第 13 号)は、廃止する。
- 葛飾区立立石図書館は、平成 21 年 3 月 23 日から葛飾区教育委員会規則で定める日までの間、休館とする。

(葛飾区教育委員会規則で定める日
=平成 23 年 6 月 29 日)

(平 21 条例 1・追加)

付 則(中間省略)

付 則(平成 10 年 12 月 14 日条例第 67 号)

この条例は、葛飾区教育委員会規則で定める日から施行する。

(平成 11 年教委規則第 8 号で平成 11 年 6 月 1 日から施行)

付 則(平成 15 年 12 月 12 日条例第 70 号)

この条例は、葛飾区教育委員会規則で定める日から施行する。

(平成 16 年教委規則第 6 号で平成 16 年 5 月 12 日から施行)

付 則(平成 21 年 2 月 27 日条例第 1 号)

この条例は、平成 21 年 10 月 17 日から施行する。ただし、付則に 1 項を加える改正規定は、公布の日から施行する。

付 則(平成 22 年 12 月 15 日条例第 47 号)

この条例は、平成 23 年 4 月 2 日から施行する。

○葛飾区立図書館館則

昭和 52 年 4 月 30 日
教委規則第 6 号

東京都葛飾区立図書館館則(昭和 42 年 4 月
東京都葛飾区教育委員会規則第 4 号)の全部
を改正する。

(目的)

第 1 条 この規則は、葛飾区立図書館設置条
例(昭和 42 年葛飾区条例第 10 号。以下「条
例」という。)に規定する図書館(以下「館」
という。)の運営等に関し、必要な事項を
定めることを目的とする。

(平 3 教委規則 6・平 8 教委規則 22・
一部改正)

(館の区分)

第 2 条 葛飾区教育委員会(以下「委員会」と
いう。)は、館を次のとおり区分する。

中央館 葛飾区立中央図書館

地域館 葛飾区立立石図書館

地域館 葛飾区立お花茶屋図書館

地域館 葛飾区立上小松図書館

地域館 葛飾区立亀有図書館

地域館 葛飾区立水元図書館

地域館 葛飾区立鎌倉図書館

2 条例第 2 条第 2 項に規定する分館は、地区館
及び図書センターとし、次に掲げるとおり
とする。

地区館 葛飾区立四つ木地区図書館

(葛飾区立中央図書館分館)

地区館 葛飾区立西水元地区図書館

(葛飾区立中央図書館分館)

地区館 葛飾区立青戸地区図書館(葛
飾区立中央図書館分館)

地区館 葛飾区立奥戸地区図書館(葛
飾区立中央図書館分館)

図書センター 葛飾区立新宿図書セン
ター(葛飾区立中央図書館分館)

(昭 52 教委規則 9・昭 56 教委規則

11・昭 57 教委規則 11・昭 62 教委規

則 7・平 8 教委規則 22・平 11 教委規

則 9・平 16 教委規則 7・平 21 教委規

則 17・平 23 教委規則 2・一部改正)

(事業)

第 3 条 館は、図書館法(昭和 25 年法律第 118
号)第 3 条の規定に基づき、次の事業を行
う。

- (1) 図書資料(図書、記録、官報、公報、
地図、絵画、写真集、新聞、雑誌、パ
ンフレット等をいう。以下同じ。)の
館内利用、館外貸出し及び団体貸出し
- (2) 読書案内及び読書相談

- (3) 読書会、研究会、講演会、講習会、
映写会、鑑賞会等の主催及びこれらの
開催の奨励

- (4) 視聴覚資料(CD、DVD、録音テープ、
紙芝居等をいう。以下同じ。)の館内
利用及び館外貸出し

- (5) 視覚障害者に対する資料の朗読及
び資料の録音

- (6) 郷土資料(郷土に関する文献等をい
う。以下同じ。)及び行政資料の館内
利用及び館外貸出し

- (7) 他の図書館、学校その他の教育機関
との連絡

- (8) その他館の目的達成のため必要な
事業

2 前項の規定にかかわらず、地区館及び図書
センターは次の事業を行う。

- (1) 図書資料、視聴覚資料の館内利用及
び館外貸出し

- (2) その他館の目的達成のため必要な
事業

(昭 61 教委規則 2・昭 63 教委規則 3・
平元教委規則 9・平 2 教委規則 3・平
3 教委規則 6・平 8 教委規則 22・平
21 教委規則 17・一部改正)

(開館時間)

第 4 条 開館時間は別表第 1 のとおりとする。
ただし、中央館の館長(以下「中央館長」
という。)は、事情によりこれを変更する
ことができる。

(平 18 教委規則 5・全改)

(休館日)

第 5 条 館の休館日は、別表第 2 のとおりと
する。ただし、中央館長が必要と認めると
きは、これを変更し、又は臨時に休館日を
定めることができる。

(平 18 教委規則 5・全改)

(読書室等の利用)

第 6 条 館の読書室等の種別及びその利用区
分は、次のとおりとする。ただし、中央館
長及び地域館の館長(以下「館長」という。)
は、事情によりこれを変更し又は制限する
ことができる。

- (1) 一般室 主として社会人、学生及び
生徒

- (2) 児童室 概ね 12 才未満の者及びそ
の付添人

- (3) 対面朗読室 対面朗読で利用する
者

- (4) 録音室 録音を行う者

(昭 61 教委規則 2・平 23 教委規則 2・
一部改正)

(館内秩序)

第7条 館長は、館内の秩序を乱し、又は他の利用者の迷惑になる行為をする者に対し、館の利用を制限し、又は退館させることができる。

(平6教委規則7・全改)

(個人貸出し)

第8条 資料(図書資料、視聴覚資料、郷土資料及び行政資料をいう。以下同じ。)の個人貸出しを受けようとする者は、個人利用カードによらなければならない。

- 2 前項の個人利用カードは、葛飾区に居住し、勤務し、又は通学する者で、その事実を証明する証書類を提出した者、その他館長が特に必要があると認める者に交付する。
- 3 個人利用カードの有効期間は、5年とする。
- 4 貸与され、若しくは譲渡され、又は紛失届の出された個人利用カードは、無効とする。
- 5 個人貸出しのできる資料の数は、中央館長が別に定める。
- 6 資料の個人貸出期間は、14日以内とする。ただし、館長は、利用者から申出があった場合は、7日以内の延長を認めることができる。
- 7 前項の規定にかかわらず、中央館長が特に必要があると認める場合は、別に個人貸出期間を定めることができる。

(昭61教委規則2・昭63教委規則3・一部改正、平2教委規則3・旧第9条繰上・一部改正、平6教委規則7・平12教委規則4・平17教委規則5・一部改正)

(団体貸出し)

第9条 図書資料の団体貸出しを受けようとする者は、団体登録証によらなければならない。

- 2 前項の団体登録証は、葛飾区に在住する読書サークル、文庫、事務所その他団体(以下「団体等」という。)の代表者に交付する。
- 3 団体登録証の有効期間は、5年とする。
- 4 館長は、図書資料の団体貸出しを受けた団体等の代表者に対し、その利用状況について報告を求めることができる。
- 5 団体貸出しは、1口10冊とし5口以内とする。ただし、館長が特に必要があると認める場合は、この限りでない。
- 6 図書資料の団体貸出期間は、1箇月とする。ただし、館長は、あらかじめ申出があった場合は、更に1箇月間の延長を認めることができる。
- 7 前項の規定にかかわらず、館長が特に必要があると認める場合は、別に団体貸出期間を定めることができる。

(昭63教委規則3・平元教委規則9・一部改正、平2教委規則3・旧第10条繰上・一部改正、平23教委規則2・一部改正)

(館外貸出し等を禁ずる資料)

第10条 館長が指定した資料は、館外貸出しを禁ずる。ただし、館長が適当と認めた場合は、10日以内に限り貸出すことができる。

2 館長は、写真等による複写を許さない資料を指定することができる。

(平2教委規則3・旧第11条繰上・一部改正)

(利用中の資料の返却)

第11条 館長は、必要と認めた場合は利用者に対し、利用中の資料を返却させることができる。

(平2教委規則3・旧第14条繰上・一部改正、平3教委規則6・旧第12条繰上、平12教委規則4・一部改正)

(長期未返却者に対する処置)

第12条 館長は、利用者が資料の返却を怠り、督促しても返却しない場合には、以後その者に対し資料の利用を禁ずることができる。

(平2教委規則3・旧第15条繰上、平3教委規則6・旧第13条繰上、平12教委規則4・一部改正)

(損害の賠償)

第13条 館長は、利用者が資料を亡失し、又は著しく汚損し、若しくは棄損した場合には、現品又は金額をもって賠償させることができる。

(平2教委規則3・旧第16条繰上、平3教委規則6・旧第14条繰上)

(委任)

第14条 この規則の施行について必要な事項は、中央館長が定める。

(平2教委規則3・旧第17条繰上、平3教委規則6・旧第15条繰上)

付 則

この規則は、昭和52年6月1日から施行する。

付 則(中間省略)

付 則(平成12年1月26日教委規則第4号)

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

付 則(平成15年2月21日教委規則第2号)

この規則は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。

付 則(平成 16 年 2 月 20 日教委規則第 7 号)

この規則は、平成 16 年 5 月 12 日から施行する。

付 則(平成 17 年 3 月 31 日教委規則第 5 号)

この規則は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。

付 則(平成 18 年 2 月 22 日教委規則第 5 号)

この規則は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

付 則(平成 21 年 9 月 25 日教委規則第 17 号)

この規則は、平成 21 年 10 月 17 日から施行する。

付 則(平成 23 年 3 月 10 日教委規則第 2 号)

この規則は、平成 23 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 2 条第 2 項の改正規定は平成 23 年 4 月 2 日から、別表第 1 及び別表第 2 の改正規定は同年 6 月 30 日から施行する。

別表第 1(第 4 条関係)

(平 18 教委規則 5・追加、平 21 教委規則 17・平 23 教委規則 2・一部改正)

図書館名	曜日等	開館時間
中央図書館 立石図書館	月曜日から土曜日まで(次の項(2)及び(3)に掲げる日を除く。)	午前 9 時から午後 10 時まで
	(1) 日曜日 (2) 国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号。以下「祝日法」という。)に定める休日(以下「休日」という。) (3) 12 月 29 日及び同月 30 日	午前 9 時から午後 8 時まで
お花茶屋図書館 上小松図書館 亀有図書館 水元図書館 鎌倉図書館	火曜日から土曜日まで(休日を除く。)	午前 9 時から午後 8 時まで
	日曜日及び休日	午前 9 時から午後 5 時まで
四つ木地区図書館 西水元地区図書館 青戸地区図書館 奥戸地区図書館 新宿図書センター	日曜日、火曜日から木曜日まで及び土曜日	午前 10 時から午後 5 時まで
	金曜日	午前 10 時から午後 8 時まで

別表第 2(第 5 条関係)

(平 18 教委規則 5・追加、平 21 教委規則 17・平 23 教委規則 2・一部改正)

図書館名	休館日
中央図書館 立石図書館	(1) 館内整理日(毎月第 4 木曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その翌日とする。) (2) 1 月 1 日から同月 3 日まで (3) 12 月 31 日 (4) 特別整理期間 1 年のうち 7 日以内
お花茶屋図書館 上小松図書館 亀有図書館 水元図書館 鎌倉図書館	(1) 月曜日。ただし、その日が休日(1 月 1 日を除く。)に当たるときは、その直後の休日でない日とする。 (2) 館内整理日(毎月第 4 木曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その翌日とする。) (3) 1 月 1 日から同月 3 日まで (4) 12 月 29 日から同月 31 日まで (5) 特別整理期間 1 年のうち 7 日以内
四つ木地区図書館 西水元地区図書館 青戸地区図書館 奥戸地区図書館 新宿図書センター	(1) 月曜日 (2) 休日(1 月 1 日を除く。)。ただし、その日が月曜日に当たるときは、その直後の休日でない日を休館日とし、休日のうち祝日法第 3 条第 2 項で規定する休日が月曜日に当たるときは、その前日を開館日、その直後の休日でない日を休館日とする。 (3) 館内整理日(毎月第 4 木曜日。ただし、その日が休日に当たるときは、その翌日とする。) (4) 1 月 1 日から同月 3 日まで (5) 12 月 29 日から同月 31 日まで (6) 特別整理期間 1 年のうち 7 日以内

○葛飾区立図書館処務規程

昭和 52 年 6 月 1 日

教委訓令甲第 5 号

事務局一般

各図書館

東京都葛飾区立図書館処務規程(昭和 42 年 3 月葛飾区教育委員会訓令甲第 2 号)の全部を次のように改正する。

(目的)

第 1 条 この規程は、葛飾区立図書館(葛飾区立図書館館則(昭和 52 年葛飾区教育委員会規則第 6 号)第 2 条の規定に基づく中央館及び地域館並びに地区館及び図書センターをいう。以下「館」という。)の組織等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(平 8 教委訓令 4・平 21 教委訓令 3・一部改正)

(係の設置)

第 2 条 中央館に次の係を置く。

管理係

事業推進係

(平元教委訓令 2・全改、平 11 教委訓令 4・平 12 教委訓令 1・平 16 教委訓令 10・平 18 教委訓令 6・平 23 教委訓令 1・一部改正)

(分掌事務)

第 3 条 中央館の各係の分掌事務は、次のとおりとする。

管理係

- (1) 公印に関する事。
- (2) 職員の給与及び服務に関する事。
- (3) 文書の受発、編集及び保存に関する事。
- (4) 予算及び会計事務に関する事。
- (5) 中央館の施設の維持管理に関する事。
- (6) 地域館、地区館及び図書センターに関する事。
- (7) 区立図書館基本計画に関する事。
- (8) 図書館施設整備計画調査に関する事。
- (9) 区立図書館の改修及び開設に関する事。
- (10) 館内庶務その他他の係に属しない事。

事業推進係

- (1) 情報システムによる図書館資料の管理及び利用に関する事。

- (2) 図書資料及び視聴覚資料の選定、発注、装備及び受入れに関する事。
- (3) 区立図書館事業に係る計画及び調整に関する事。
- (4) 統計に関する事。
- (5) 広報に関する事。
- (6) 研修に関する事。
- (7) 資料の調査相談に関する事。
- (8) 図書資料の収集、整理及び保存に関する事。
- (9) 図書資料の館内利用、館外貸出し及び団体貸出しに関する事。
- (10) 図書資料の相互貸借に関する事。
- (11) 視聴覚資料の収集、整理、保存及び利用に関する事。
- (12) 読書室等の利用に関する事。
- (13) 読書案内及び読書相談に関する事。
- (14) 郷土資料及び行政資料の収集、整理、保存及び利用に関する事。
- (15) 読書会、研究会、映写会等の開催及び奨励に関する事。
- (16) 対面朗読室及び録音室の利用に関する事。
- (17) 地区館及び図書センターの図書資料の貸出し及び運営に関する事。
- (18) 葛飾区男女平等推進センター(以下「男女平等推進センター」という。)の図書資料、視聴覚資料及び行政資料等の貸出しに関する事。

2 地域館の分掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 公印に関する事。
 - (2) 職員の服務に関する事。
 - (3) 文書の受発、編集及び保存に関する事。
 - (4) 図書資料の収集、整理及び保存に関する事。
 - (5) 図書資料の館内利用及び館外貸出しに関する事。
 - (6) 図書資料の相互貸借に関する事。
 - (7) 視聴覚資料の収集、整理、保存及び利用に関する事。
 - (8) 読書室等の利用に関する事。
 - (9) 読書案内及び読書相談に関する事。
 - (10) 読書会、研究会、映写会等の開催及び奨励に関する事。
 - (11) 施設の維持管理に関する事。
 - (12) 男女平等推進センターの図書資料、視聴覚資料及び行政資料等の貸出しに関する事。
- (平元教委訓令 2・全改、平 3 教委訓令 2・平 4 教委訓令 10・平 5 教委訓令 1・平 8 教委訓令 4・平 11 教委訓令 4・平 12 教委訓令 1・平 13 教委

訓令 7・平 16 教委訓令 10・平 18 教委訓令 6・平 21 教委訓令 3・平 23 教委訓令 1・平 24 教委訓令 2・一部改正)

(職員)

第 4 条 中央館に次の職員を置く。

- (1) 館長
- (2) 係長
- (3) 館員

2 地域館に次の職員を置く。

- (1) 館長
- (2) 館員

3 係に主査を置くことができる。

4 地域館に主査を置くことができる。

5 前 4 項に掲げる職員は、葛飾区教育委員会が命ずる。

(昭 56 教委訓令 甲 3・昭 61 教委訓令 2・平 10 教委訓令 7・平 11 教委訓令 4・平 12 教委訓令 1・一部改正)

第 4 条の 2 地区館及び図書センターに館員を置く。

2 前項に定める館員は、前条の職員のうちから中央館の館長(以下「中央館長」という。)が配属する。

(平 8 教委訓令 4・追加、平 21 教委訓令 3・一部改正)

(職責)

第 5 条 中央館長は、課長相当職とし、教育次長の命を受け、館務を掌理し、館の職員を指揮監督する。

2 係長は、上司の命を受け、係の事務を処理する。

3 地域館の館長(以下「地域館長」という。)は、係長相当職とし、上司の命を受け、館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

4 主査は、上司の命を受け、係の事務又は地域館の事務のうち、特定の事務を処理する。

5 前 4 項以外の職員は、上司の命をうけ、館務に従事する。

(昭 56 教委訓令 甲 3・昭 57 教委訓令 甲 6・平 4 教委訓令 9・平 8 教委訓令 4・平 11 教委訓令 4・平 12 教委訓令 1・平 16 教委訓令 10・一部改正)

(館長の専決事項)

第 6 条 中央館長は、別に定めるものを除くほか、次の事項を専決することができる。

- (1) 館務に関し、職名をもって文書を発送すること。

- (2) 中央館の所属職員及び地域館長の旅行、事故欠勤(任命権者が職員の給与の減額を免除することができる場合の基準(昭和 53 年特別区人事委員会規則第 15 号)別表第 1 第 1 号から第 3 号までに規定する原因による欠勤をいう。以下同じ。)、休日、休暇、勤務時間等に関すること(欠勤(事故欠勤を除く。)、病気休暇、介護休暇及び人材育成課が実施する研修に係る旅行を除く。))。
- (3) 職員の事務分掌に関すること。
- (4) その他定例の事務に関すること。

2 地域館長は、別に定めるものを除くほか、次の事項を専決することができる。

- (1) 館務に関し、職名をもって文書を発送すること。

- (2) 所属職員の旅行、事故欠勤、休日、休暇、勤務時間等に関すること(欠勤(事故欠勤を除く。)、病気休暇、介護休暇及び人材育成課が実施する研修に係る旅行を除く。))。
- (3) 所属職員の事務分掌に関すること。
- (4) その他定例軽易な事務に関すること。

(昭 56 教委訓令 甲 3・平 4 教委訓令 9・平 10 教委訓令 7・平 11 教委訓令 4・平 19 教委訓令 7・平 20 教委訓令 10・一部改正)

(事案の代決)

第 7 条 中央館長及び地域館長(以下「館長」という。)が出張又は休暇その他の事故により不在のときは、館長があらかじめ指定する職員がその事案を代決する。

(事務報告)

第 8 条 中央館長は、毎月 5 日までに次の事項を教育次長に報告しなければならない。

- (1) 前月分の職員の勤務状況

- (2) 前月分の事務の処理状況

2 前項に掲げるもののほか特に必要と認める事項は、随時報告しなければならない。

3 地域館長は、毎月 3 日までに前 2 項に規定する事項を中央館長に報告しなければならない。

(昭 57 教委訓令 甲 6・平 4 教委訓令 9・平 16 教委訓令 10・一部改正)

(準用)

第 9 条 この規程に定めるもののほか、館の処務、文書の取扱い、職員の服務その

他必要な事項については、葛飾区教育委員会事務局処務規程(昭和40年葛飾区教育委員会訓令甲第1号)を準用する。

付 則(中間省略)

付 則(平成12年2月15日教委訓令第1号)

この訓令は、平成12年4月1日から施行する。

付 則(平成13年3月30日教委訓令第7号)

この訓令は、平成13年4月1日から施行する。

付 則(平成16年3月9日教委訓令第10号)

この訓令は、平成16年4月1日から施行する。

付 則(平成18年3月10日教委訓令第6号)

この訓令は、平成18年4月1日から施行する。

付 則(平成19年5月31日教委訓令第7号)

この訓令は、平成19年6月1日から施行する。

付 則(平成20年7月10日教委訓令第10号)

改正後の第6条の規定は、平成20年7月1日から適用する。

付 則(平成21年9月25日教委訓令第3号)

この訓令は、平成21年10月17日から施行する。

付 則(平成23年3月10日教委訓令第1号)

この訓令は、平成23年4月1日から施行する。

付 則(平成24年3月9日教委訓令第2号)

この訓令は、平成24年4月1日から施行する。

付 則(平成26年8月8日教委訓令第8号)

この訓令は、平成26年8月8日から施行する。

1 1 葛飾区子ども読書活動推進計画

○葛飾区子ども読書活動推進計画（第二次） （子ども読書活動を推進するための基本的な指針）（抜粋）

第 1 章 子ども読書活動推進計画（第二次）策定の背景

1 子どもの読書活動の背景

平成 19 年度に東京都が実施した「東京都子ども読書活動推進計画実務に伴う児童・生徒の読書の状況及び学校における読書活動などに関する調査」によると、葛飾区（小学生 3,311 人 中学生 1,231 人）においては、1 か月に読む本の数は小学 2 年生の 10.2 冊をピークに、中学 3 年生は、1.2 冊に減る傾向にあります。平成 14 年に実施した同様の調査と比較すると、平均読書冊数はやや増えたものの、学年が進むにつれ読書冊数が減るという傾向は、依然として続いています。都全体を見ても、小学生、中学生、高校生と学年が進むにつれ未読者率が進む傾向にあります。

平成 20 年度の葛飾区読書の現状（教育委員会調査）によると、小学校では全 49 校中 47 校（保田しおさい学校を除く）が、中学校では全 24 校中 18 校が全校一斉の読書活動を行っています。保育園、幼稚園、児童館では、平成 21 年度の「子育ての中の読書に関するアンケート調査」によると、ほぼ全施設で本に親しむ行事を行っています。また、子ども読書に関わる地域ボランティアの活動が行われ、小・中学校においては学校図書館の環境整備が進められています。

国レベルでは、経済協力開発機構（OECD）において、2010 年 12 月 7 日、各国の 15 歳を対象に、2009 年に実施した国際的な学習到達度調査「PISA 調査」の結果が発表されました。「読解力」では、2006 年の 15 位から最も順位が高かった 2000 年と同じ 8 位に回復しています。

一方、高度情報化社会の中で、子ども達を取り巻く現状は、大きく変化しています。情報メディアであるテレビや DVD、インターネット、

携帯電話の普及により、気軽に多くの情報を一度に得ることができるようになりましたが、情報の取捨選択やセキュリティ、情報モラルなどの問題も生じています。また、電子書籍が開発され、早い、安い、省スペース、検索・加工可能など多くの利点から、今後急速に広まる可能性があります。

このため、情報メディアの利便性を生かしつつ、本という印刷物とじっくり向き合うことの出来る環境を整備し、両者の特性を十分活用出来るようにしていかなければなりません。

2 国及び東京都の動向（省略）

3 「葛飾区子ども読書活動推進計画（第一次）」の成果と課題

国や東京都の動向を踏まえ、葛飾区においても平成 17 年度に「葛飾区子ども読書活動推進計画」を策定し、(1) 子どもの読書環境の整備 (2) 地域全体での推進体制 (3) 子どもの読書活動に関わる人材育成の 3 本柱のもとで取組を推進してきました。

(1) 子どもの読書環境の整備

乳児への取組として保健所、保健センター、図書館、ボランティアが協働してブックスタート*事業を開始しました。また、保健所、保健センターでは、育児グループへの支援を行っています。図書館では、「おひざにだっこのおはなし会」（0～3 歳児と保護者への読み聞かせ）を開始し年々参加者が増えています。

幼児への取組としては、保育園や幼稚園などでは日常の中に本を取り入れることに加えて、図書館やボランティアと協力し、絵本の時間を設けるなど充実させています。

児童への取組としては、図書館からの学校訪問・学級招待の実施、おはなし会、絵本の時間など各種行事を充実させてきました。

生徒への取組としては、図書館からの中学校訪問に際してのブックトーク（本の紹介）、ヤングアダルト（中高生）向けリスト「Dog ears」（ドッグイアーズ）」の配布やヤングア

ダルト世代（中高生）が参加できる事業の実施など、読書離れが進む世代への積極的なアプローチに努めました。また、インターネット世代を意識し、特に図書館ホームページを活用したPRの充実を図りました。

学校においては、学校図書館支援指導員の全校配置による人的整備や指導員研修の実施、図書資料の充実やデータベース化など、学校図書館の環境整備を進めてきました。

課題としては、ブックスタート以降の乳幼児への取組、病院の小児科等の子どもが集まる場所への本の配置、保育園・幼稚園等での取組について検討が求められます。また、中学校では、生徒が勉強、部活動に時間をとられるなどにより、読書から離れる傾向があり働きかけが必要とされています。

＊ブックスタートは、すべての赤ちゃんのまわりで楽しくあたたかいひとときが持たれることを願い、葛飾区では、一人ひとりの赤ちゃんに絵本の読み聞かせの実演などをしながら、絵本を開く楽しい体験といっしょに、絵本を手渡す活動をしています。地域に生まれたすべての赤ちゃんを対象に、乳児健康診査で実施しています。

(2) 地域全体での推進体制

子どもの読書活動推進にあたり、小・中学校、保育園、幼稚園、児童館、保健所、保健センター、図書館が連携した事業はもとより、子ども発達センター（障害者施設課）での読み聞かせの実施や、「わくわくチャレンジ広場」（地域教育課）での学校図書館の開放やおはなし会の実施など、第一次推進計画の策定をきっかけとして、庁内の関係各課との協力体制を強化してきました。

図書館主催の読み聞かせボランティア養成講座を修了したボランティアが、学校や図書館、児童館等で活動するなど、子どもの読書を地域で進めていただいています。協働による成果を踏まえ、今後、子どもの読書活動の意義を広め、さらに多くの区民の参画を促す必要があります。

(3) 子どもに関わる人材育成

平成17年に図書館が主催したボランティア研修を修了したボランティアがブックスタート事業に協力して活動しています。また、高齢者支援課が開催する社会セミナー「シニア紙芝居ボランティア養成講座」を修了した方が紙芝居サークルを結成し、子どものための上演活動を区内の施設で継続して行っています。

生涯学習課では、図書館と連携して、子どもの読書活動に関する講座の実施や生涯学習援助制度などによるボランティア団体の支援を行っており、ボランティア団体が自主的な研修会や講演会を継続的に主催するなど大きな成果が見られます。

ボランティアの自主的組織である学校図書館ボランティア連絡会では、学校図書館での本の修理、装備、読み聞かせや作家の講演会など、様々な研修会を行っています。また、子どもの読書活動推進及びボランティア活動の交流を目的とした「かつしか子どもの本のフォーラム」を毎年開催しています。

課題としては、小学校を中心としたボランティア活動は活発に行われていますが、中学校ではまだ全体に波及していないことがあげられます。今後は、家庭での読書環境を整えるために、中学校の保護者への働きかけを進めていくことが必要です。

また、ボランティアのネットワーク化を進め、読書活動に関わる人材の育成を図ることが必要です。

第2章 計画策定における基本的な考え方

1 計画の性格

本計画は、「子ども読書活動の推進に関する法律」の第9条第2項の規定に基づき、「葛飾区生涯学習振興ビジョン」、「葛飾区教育振興ビジョン（第2次）」や後期「葛飾子育て支援行動計画」、「葛飾区図書館基本計画」を踏まえて作成するものであり、「葛飾区子ども読書活動推進計画」（第一次）の目標を引き継ぎ、平成23年からお

おむね 5 年間を計画期間として、子ども読書活動推進のための基本的な指針や取組を示したものです。

2 計画の目標

(1) 子ども読書環境の充実

子どもが、読書を通じて、読解力や想像力、思考力、表現力等の生きる力を育み、多くの知識を得ることができるように、多様な読書の体験ができる読書環境を整備します。また、それぞれの興味・関心を尊重しながら、発達段階に応じて読書に親しむ機会を多く作ります。

(2) 地域全体での推進

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、保護者や周囲の大人たちを巻き込んだ地域全体での取組が必要です。子どもの読書活動を推進できる体制を作るために、子どもに関わる機関、団体等がこれまで以上に連携・協力を深めます。

(3) 子ども読書活動に関わる人材育成

一人ひとりの区民が、子どもの読書活動の意義や重要性を理解し、関心を持ってもらえるように、広く普及、啓発を図っていきます。

また、子どもの読書活動の推進を行う人材を育成するため、ボランティア、子どもに関わる施設の職員、教員等への研修会や連絡会を開催するとともに、地域団体が行う自主的な学習会などを支援します。

3 計画の数値目標

本計画における、子ども読書活動の推進のための数値目標を設定します。

目標内容		平成 21 年度末	平成 27 年度末
図書館	児童書蔵書数	288, 508 冊	342, 000 冊
	1 人当りの貸出冊数	0～12 歳 19. 78 冊／年 13～15 歳 6. 52 冊／年	24. 5 冊 7. 7 冊
学校図書館	蔵書数	小学校 400, 029 冊 中学校 179, 188 冊	小学校 413, 500 冊 中学校 239, 120 冊
	1 人当りの貸出冊数	小学校 31. 17 冊 中学校 3. 83 冊	小学校 36 冊 中学校 10 冊
図書館と団体との連携 (団体貸出登録累計 数)		小学校	1, 140 件
		中学校	126 件
		保育園・幼稚園・読み聞かせグループ・その他	249 件
図書館と学校との連携 (学級招待・訪問)		53 回 2, 747 人	100 回 6, 000 人
読み聞かせボランティア数 (講座修了者数)		平成 14～21 年度累計 1, 358 人	平成 14～27 年度累計 2, 300 人
学校図書館の 読書活動を支援するボランティア受け入れ校	小学校	47/50 校(平成 22 年)	50/50 校
	中学校	6/24 校(平成 22 年)	14 /24 校

* 小学校・中学校の団体登録は、1 クラスにつき、2 登録（読書用・調べ学習用）が可能。

第3章「葛飾区子ども読書活動推進計画」（第二次）の取組（一部抜粋）

「葛飾区子ども読書活動推進計画（第一次）」における取組を踏まえて、今後、さらに各施策を推進します。

1 乳幼児への取組

事業名	ブックスタート事業の充実	所管	図書館 保健所・保健センター	充実
事業目標	保健所・保健センターの乳児健康診査で保護者に絵本の楽しさや大切さを説明しながら絵本を手渡し、絵本を通して親子、親子と地域がふれあうきっかけをつくる。			
事業内容	平成17年度より開始し、保健所・保健センターにおいて乳児健康診査の際、地域のボランティア等による読み聞かせの実演を行うとともに、絵本の入ったブックスタートパックを配布します。また、外国人向けの案内も用意し一人ひとりに応じた対応をします。			

事業名	「ファーストブック」の配布	所管	図書館 保健所 保健センター	充実
事業目標	乳幼児の時期から絵本の楽しさを伝え、本のある暮らしを定着させる。			
事業内容	図書館が作成する乳幼児向け絵本リストを、ブックスタートパックの中に同封します。保護者と乳幼児が絵本を楽しむための参考として、また、図書館が実施しているお話会への参加のきっかけづくりとして効果を上げています。			

事業名	（仮称）セカンドブックの事業の検討	所管	図書館	新規
事業目標	ブックスタート以降の年齢の子どもに読書の習慣を身に付けさせる。			
事業内容	ブックスタートを契機とした読み聞かせの習慣を継続させるため、ボランティアの協力を得て、絵本の楽しさや大切さを説明しながら絵本を手渡します。			

事業名	育児グループへの支援	所管	保健所・保健センター図書館	充実
事業目標	育児グループの活動の中で、読書の重要性を伝える。			
事業内容	絵本を通して保護者と乳児がふれあえるように、絵本の選び方などのアドバイスや読み聞かせなどを行います。また、親子、親同士の交流の機会をもてるように、継続して乳児の健やかな成長と保護者の子育てを支援します。			

事業名	ブックスタートボランティアの育成とフォローアップ	所管	図書館 ボランティア	充実
事業目標	ブックスタート事業を地域で支えるためのボランティアを養成する。			
事業内容	ボランティア養成講座や説明会を開催し、新規のボランティアを募集しています。ボランティアが意欲的に活動継続するためにフォローアップ研修を実施します。			

事業名	絵本に親しむ場の拡大	所 管	図書館	充実
事業目標	親子で絵本に親しむことができるようにする。			
事業内容	児童館、保健所・保健センターなど、子どもが集まる場所に絵本を設置しています。 今後は、病院の小児科等の各施設と連携し親子で訪れる場に拡大し、いつでもどこでも絵本に親しむことができるようにします。			

2 児童への取組 (小学生)

事業名	年齢別おすすめ絵本リストなどの作成	所 管	図書館	充実
事業目標	子ども達の本選びや保護者が読み聞かせを行うための絵本選びを支援する。			
事業内容	「いちねんせいになったらよんでみよう」「むぎわらぼうし」など、毎年、対象年齢別のお薦め本のリストを作成し、学校を通して全児童に配布します。また、大人向けの「読み聞かせに向く絵本のリスト」を作成し、読み聞かせや子ども達のための本選びに活用してもらい、読書への関心を高めます。さらに、図書館ホームページにも掲載し、いつでも活用できる状態を整えます。			

事業名	児童図書の充実	所 管	図書館	充実
事業目標	子ども達の読書活動を支えるために蔵書を充実する。			
事業内容	児童が読書に対する楽しみや喜びを発見し、児童の持つ想像力、創造性、知的好奇心を豊かに伸ばすことができるように、幅広く収集します。教科書の改訂時には調べ学習ができる蔵書の拡充を図り、学習活動の支援をします。長く読み継がれた本については買い替えをし、基本図書を中心とした蔵書の維持に努めます。			

事業名	児童室行事の充実	所 管	図書館	充実
事業目標	図書館の利用や読書のきっかけとなる各種行事を充実する。			
事業内容	従来より開催している「おはなし会」、「絵本の時間」、第一次計画時以降に開催した「おひざにだっこのおはなし会」（乳児向け）に加え、今後は「外国語のおはなし会」や「ブックトーク*の会」等、幅広く行事を企画します。			

*ブックトーク：ひとつのテーマに沿って、様々なジャンルから本を集め、複数の人に紹介し、本に興味を持たせる読書指導の方法です。

事業名	読書相談・レファレンス*機能の充実	所管	図書館	充実
事業目標	子ども達からの読書相談や調べ学習などの支援、子ども読書活動を推進しているボランティアからのレファレンスに幅広く対応できる体制を整える。			
事業内容	子ども達の調べ学習に対しては、学校との連携を深め、児童、生徒が利用しやすい環境を整えるとともに、レファレンス事例をパスファインダー*にし情報共有を図るなど、素早く的確な対応を目指します。 また、ボランティア活動をする上で必要な情報や資料を提供できる体制を整えます。			

*レファレンス：図書館利用者が学習や調べものをする上で必要となる資料や情報を、効率的に利用できるように、図書館員がお手伝いをするサービスのことです。

*パスファインダー：ある特定のトピック（主題・論題）に関して資料・情報を収集する際に、関連する資料の探し方を提供するツールのことです。リーフレット形式の物やWebのものなどがあります。

事業名	体験型行事の充実	所管	図書館 小学校	充実
事業目標	体験型行事を通して図書館への理解や読書への親しみを深める。			
事業内容	各図書館において、夏休み期間中に一日図書館員を積極的に受け入れ、図書館への理解を深めてもらい、読書に親しむ契機とします。			

事業名	ボランティアとの協働による事業の実施	所管	図書館	充実
事業目標	ボランティアとの協働により図書館事業を拡充する。			
事業内容	図書館主催の読み聞かせボランティア講座修了者に、おはなし会、絵本の時間、おひざにだっこのおはなし会などに積極的に参加していただくとともに、児童館、保育園、保健所にも活動の場が広がるように支援します。			

3 ヤングアダルト世代（中高生）への取組

事業名	中学生の職場体験やボランティアの受入れ	所管	図書館 中学校	充実
事業目標	中学生の職場体験授業を積極的に受入れ、図書館への理解や、読書への親しみを深める。			
事業内容	教育課程に組み込まれている「職場体験」「ボランティア体験」を積極的に受入れ、働く事の厳しさや楽しさを実感してもらうとともに、図書館の仕事の幅広さを知ってもらい、図書館への理解と興味を深め、図書館活動への参加や図書館利用へつなげます。			

事業名	ヤングアダルト（中高生）コーナーの充実	所管	図書館	充実
事業目標	図書館内にヤングアダルト（中高生）世代の居場所をつくる。			
事業内容	各地域図書館にヤングアダルト世代（中高生）向けの図書を集めたコーナーを設け、資料の充実を図るとともに、掲示物や新刊案内などの見せる工夫を凝らし、図書館離れや読書離れの対策とします。中央図書館・立石図書館（平成 23 年 6 月末開館予定）では、中高生の居場所としても活用されるようなコーナーを設けます。			

事業名	ヤングアダルト世代（中高生）向けの参加型企画の充実	所管	図書館	充実
事業目標	ヤングアダルト世代（中高生）が読書活動に積極的に参加できるようにする。			
事業内容	ヤングアダルト（中高生）コーナー内の伝言ノートや中高生向け講演会、ホームページへの「お薦めの本」の投稿掲載などを継続充実させます。 ヤングアダルト世代（中高生）に呼びかけ協働して事業を企画し、また、学校からの要請により学校の行事に参加するなど、若い感性を活かすとともに参加者一人ひとりの成長を促しながら、同世代への共感を広め図書館への来館や読書を促します。			

事業名	ヤングアダルト世代（中高生）向けブックリストの作成	所管	図書館	充実
事業目標	ヤングアダルト世代（中高生）に読書習慣を身につけることを促す。			
事業内容	中学生向けのブックリスト「ドッグイアーズ」に加え、新たに中学一年生向けのブックリスト、図書館の利用案内を配布し、児童書から広く一般書へ世界を広める援助をします。			

4 学校・学校図書館における取組

事業名	読書の時間の全校導入の促進	所管	学校	充実
事業目標	「朝の読書」などにより、読書の習慣化を図る。			
事業内容	全校一斉読書を実施し読書の楽しみを深めるとともに、授業への集中力を養うことにも繋がっていきます。 朝の一斉読書の時間や図書の時間など、学校生活の中で、児童・生徒が本を読むことを習慣化するように努めます。			

事業名	学校図書館と図書館との連絡会の実施	所管	学校・図書館	充実
事業目標	図書館、学校、学校図書館ボランティアとの連携、協力の強化を進める。			
事業内容	各地域の図書館、学校図書館の担当教員や学校図書館支援指導員、学校図書館で活動するボランティアによる連絡会を行い、地域ごとの情報交換や交流を深めます。			

事業名	教員向け研修の実施	所 管	指導室・図書館	充実
事業目標	新任教員研修の中で図書館での読書活動に関する理解を深める。			
事業内容	新任教諭や司書教諭等に対し、図書館での実地研修、ボランティア活動の受け入れなどを行い、おはなし会、団体貸出、レファレンスのほか、様々な体験、実習を通して、読書活動や図書館運営の理解を深めます。			

5 図書館における取組

(1) 図書館施設の整備と充実

事業名	立石図書館の開館	所 管	図書館	新規
事業目標	図書館の整備と充実			
事業内容	平成 23 年 6 月にリニューアルオープン（予定）します。かつしかエコライフプラザとの併設施設であり、子ども達にリサイクル・環境について関心を持ってもらえるよう情報提供するとともに、子ども達の読書活動を推進します。			

事業名	奥戸地区図書館の設置	所 管	図書館	充実
事業目標	図書館の整備と充実			
事業内容	平成 23 年 4 月に南奥戸小学校内に図書館を設置しました。奥戸地区の図書館であることに加え、南奥戸小学校をはじめ、地域の小・中学校の学校図書館支援（資料の提供や読書活動に関するアドバイス）や、絵本の読み聞かせ、お話会、ブックトーク等の事業を行い、地域の子どもの読書活動を推進します。			

事業名	新宿図書センターによる整備・学校図書館の支援	所管	図書館	充実
事業目標	図書館の整備と充実			
事業内容	地区図書館としての機能のほか、学校図書館支援の拠点とします。 学校図書を一層充実させるために、他の図書館と協力し、きめ細やかなサービスを展開します。また、学校や担当教諭では担いきれない部分を積極的にサポートします。 (1) 団体貸出の充実 学校、保育園、幼稚園、児童館等への読書支援のための団体貸出を充実します。 各図書館が個別に行っていた読書支援用団体貸出パックの配送業務を新宿図書センターで一元化します。調べ学習用団体貸出については、各部署との連携を密にするとともに、各図書館で学校の要望を把握し、学校やクラスで利用しやすい学習用パックに内容の充実を行います。 (2) 学校図書館への支援 司書教諭、学校図書館支援指導員、学校図書ボランティアへの支援選書のための参考となる資料の提供書架を新たに設置し、葛飾区採択教科書や「よい絵本」*など、各出版社のカタログ等の収集と情報提供を行います。司書教諭、支援指導員が行う学校図書館の蔵書構成を支援します。 (3) 学校図書館司書教諭、学校図書館支援指導員、学校図書ボランティアへの研修等の支援 司書教諭、支援指導員、ボランティアからの図書の相談業務を行います。また、指導室と連携し各種研修を実施します。 (4) 学校図書館ボランティア連絡会への支援 学校図書館ボランティア連絡会の研修、事業等に側面的な支援や場の提供を行います。ボランティアが自主的に活動範囲を広げ、活発に活動できるように環境を整えます。			

* よい絵本：全国学校図書館協議会が2年毎に選定する推薦図書目録です。

(2) 図書館サービスの充実

事業名	各施設職員やボランティアへの支援の充実	所管	図書館	充実
事業目標	ボランティアや各施設の読書活動推進のための支援を行う。			
事業内容	読み聞かせやおはなし会を実施する際に使用する絵本や紙芝居の貸出し、プログラムの作成、実演方法などの相談に応じます。また、大型紙芝居・大型絵本の収集と貸出に努めます。			

事業名	小・中学生向け図書館利用案内の作成・配布	所管	図書館	充実
事業目標	児童・生徒・教員の図書館利用の促進を図る。			
事業内容	児童・生徒・教員向けにそれぞれにあった利用案内を作成、配布し、あらゆる機会を捉え図書館利用の促進を図ります。			

事業名	読書活動に支援が必要な子どものための資料の整備	所管	図書館	充実
事業目標	子ども達の本への興味を引き出す。			
事業内容	布絵本・点字絵本・点訳絵本などの資料を充実させます。布の絵本ボランティアの養成により布絵本の蔵書数が 92 冊、点訳絵本は点訳ボランティアにより 168 冊の蔵書があります。(平成 21 年度) また、それぞれの子子ども達が必要とする支援内容に応じた図書を選定・作成して揃え、本への興味を引き出します。			

事業名	I C Tを活用した情報収集と提供のための環境整備	所管	図書館	充実
事業目標	インターネットを活用した児童・生徒の調べ学習を支援する。			
事業内容	平成 21 年 10 月から中央図書館児童エリア内に子ども専用インターネットパソコンを設置しています。 図書館ホームページ内の児童・生徒専用のコンテンツの充実を図り、読み聞かせに向くりストのダウンロードや学習に役立つリンク集などを工夫します。児童・生徒にデータベースを利用した調べ学習の支援を図ります。 また、電子書籍の導入・活用について検討します。			

事業名	郷土の歴史や地域文化の伝承	所管	図書館	新規
事業目標	郷土の歴史や地域文化、伝統文化などを伝える。			
事業内容	学校での地域学習の支援が出来るように、葛飾区の歴史や文化に関する情報を収集し、児童・生徒が利用できるように工夫します。図書館ホームページなどを活用して、地域資料の情報提供を検討します。また、ボランティアにより作成された昔話の紙芝居を保存・活用します。			

事業名	ボランティア活動のコーディネート機能の整備	所管	図書館	充実
事業目標	ボランティア活動の活性化を図る。			
事業内容	読み聞かせボランティア養成講座の修了者を保育園、児童館への求めに応じて紹介します。また、子ども達に関わる施設とのコーディネートを実施します。			

事業名	聾学校・盲学校・特別支援学校との連携	所管	図書館	充実
事業目標	各学校との連絡体制をつくり、各学校に応じたサービスを実施する。			
事業内容	児童・生徒が本を利用するための様々なフォローを行います。区内の都立聾学校でのブックトーク、職場体験の受け入れ、都立盲学校生徒の団体利用や点訳絵本の貸出を実施します。			

事業名	図書館職員の資質向上に向けた研修の実施	所管	図書館	充実
事業目標	資質の高い図書館職員を育成する。			
事業内容	新任研修を始め、絵本の読み聞かせ研修、ストーリーテリング*研修、ブックトーク研修、レファレンス研修等を実施するとともに、国や都が実施する研修会に積極的に参加することで、図書館職員の資質を高め、幅広いニーズに対応できるような人材を育成します。また、日ごろの業務を通して、コーディネート能力を高めます。			

*ストーリーテリング：昔話や物語を暗記して、語って聞かせること。「素話」、「語り」、「おはなし」とも言います。子ども達は、耳で聞くことで、物語の楽しさを知り読書へのきっかけとなります。

事業名	子ども読書活動推進のためのボランティアの育成支援	所管	図書館	充実
事業目標	子ども読書活動推進のためのボランティアを育成する。			
事業内容	平成 14 年度から読み聞かせボランティア養成講座を、平成 18 年度からはパソコンを使った親子で作る絵本講座を、平成 19 年度から布の絵本ボランティア養成講座を実施しました。 子ども読書活動推進のためのボランティアグループの立ち上げに協力し、活動の支援をします。また、各グループの研修・情報交換の場を設けます。			

事業名	多文化サービスの取組	所管	図書館	新規
事業目標	言語や文化を超えた子ども達の交流の場を提供することで、相互理解を進める。			
事業内容	外国人児童・生徒、帰国子女の子ども達の読書活動や、区の子どもの国際理解教育を進めるため、様々な「外国語の本」を揃え、貸出を進めます。また、外国語でのおたよりの作成や、絵本の読み聞かせの行事を行い、様々な国々の子ども達の交流の場を提供します。			

事業名	大学との連携	所 管	図書館 区内大学	新規
事業目標	区内各大学の特色を生かした事業など図書館と大学との連携協力体制を強化する。			
事業内容	区内の大学と相互利用を進める中で、夏休みボランティアや自由研究のアドバイス、留学生による外国語の読み聞かせなど、各大学の特色を生かした事業について検討します。			

6 保育園・幼稚園における取組

事業名	保育園・幼稚園における図書の充実	所 管	保育園・幼稚園 図書館	充実
事業目標	幼児期から絵本に親しめる環境をつくる。			
事業内容	区内の保育園、幼稚園の園単位での利用が広がるよう配送車を利用した団体貸出について検討します。また、図書館の除籍資料を譲渡します。			

7 各施設における取組（省略）

8 地域・ボランティアにおける取組

事業名	「子ども読書の日」*記念行事の実施	所 管	図書館	充実
事業目標	家庭や地域への子ども読書活動の普及と啓発を進める。			
事業内容	これまでは、子ども達から絵を募集し、優秀作品を表彰し各図書館で巡回展示を行ってきました。今後は、子ども読書の日の前後に、子ども読書に関わるイベントの実施を各団体に呼びかけ、内容を広報等を通じてPRをします。将来的には関係者、関係団体による実行委員会組織を育成し、子ども読書の啓発を図っていきます。			

*子ども読書の日：4月23日。2001（平成13）年12月に制定。

子どもの読書活動についての関心と理解を深め、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めることを目的としています。

事業名	子ども読書活動推進のためのボランティア組織の整備	所 管	図書館	充実
事業目標	各ボランティア団体の活動の継続と発展を図る。			
事業内容	子どもの読書に関連した様々な分野で活動するボランティアが、グループを立ち上げ、情報交換や学びあいを通して、ボランティア活動を継続していくための意識を高め、子ども達の読書活動を区内全域の様々な施設へと広がっていきます。			

第4章 基本計画推進のための体制

本計画の実現に向けて、各機関・団体・区民一人ひとりがそれぞれの目標に合わせて子どもの読書活動に携わると同時に、連絡や連携を密にして、本計画の実現を目指す体制をつくります。

1 関係機関の連携

子どもに関わる関係機関が一丸となって、子どもの読書活動を推進していきます。

(1) 学校と図書館の連携

① 新宿図書センターの支援機能を強化して、学校との連携を深めます。

② 学校と図書館とが将来を見据えた検討を行うための連絡・調整体制を整えます。

(2) 保健所・保健センター、児童館、保育園と図書館等の連携

① 子どもの読書活動を子育て支援施策の一つとして位置づけていくため、子どもの健全育成に関わる各部課の連携、協力のための連絡会を開催します。

② 子どもの健全育成に関わる読書の効果や活用方法について、各部課との実践の中で研究を重ねます。

(3) 関係職員への啓発や人材育成

図書館で実施している職員研修やボランティア向けの講座などに関係部課の職員にも参加を促したり、乳幼児期の特性などについて保健所職員から学ぶなど、職員相互の情報交換や資質向上を図ります。

2 地域団体との協働

子どもの読書に関連した様々な分野で活動するボランティア団体が集う場を企画し、情報交換を通して相互理解を深めることで、これらのボランティアグループが地域での力として、積極的に活動できるように支援していきます。

また、地域団体がボランティア活動する上で、

各団体が協力して自主的な研修会やイベントの実施など活動の幅が広がることを援助します。

(1) 地域で活動しているボランティア団体との連携

読み聞かせボランティア、学校図書館ボランティア、葛飾図書館友の会、布絵本サークルなど、子どもの読書に関連する様々な活動をしている団体と協働し、子ども読書活動推進計画に関わる様々な取組を進めます。

(2) ボランティア団体の組織づくり

各団体が仲間を増やし、団体間の横のつながりを深めることで、活動の継続・発展が出来るように、図書館会議室利用などの会場確保、講師の紹介、連絡会の開催など、ボランティア団体が活発な活動ができるための組織づくりを支援します。

(3) ボランティアの育成

子ども読書活動推進に関連するボランティアに興味がある方に対して、図書館等の区が実施している各種講座や研修会への参加を促し、自分達でも学べる場を提供することで、ボランティア活動への意欲を高め、子ども達の読書活動を推進するための地域のボランティアを育成します。

3 計画の進行管理

本計画の掲げる取組を効果的に進めていくために、図書館が事務局となって各機関・団体等との連絡会等を開催し、子ども読書活動に関わる相互に情報を交換し、随時、進捗状況を確認するとともに、葛飾区生涯学習振興ビジョン推進委員会にも報告をし、進行管理と必要な見直しを行っていきます。

葛 飾 の 図 書 館

平成 2 5 年度 事業年報

平成 2 6 年 9 月発行

編集発行 葛飾区立中央図書館

〒125-0042 葛飾区金町 6-2-1

ヴィナシス金町ブライトコート 3 階

電 話 0 3 - 3 6 0 7 - 9 2 0 1